

図面リスト (上駅)			
建築(総合)設計図			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A000	図面リスト	A051	雑詳細図(1) 建具
A001	計画概要表・敷地案内図	A052	雑詳細図(2) 建具
A002	特記仕様書(1)	A053	雑詳細図(3) 建具
A003	特記仕様書(2)	A054	雑詳細図(4) 建具・他
A004	特記仕様書(3)	A055	雑詳細図(5) 階段
A005	特記仕様書(4)	A056	雑詳細図(6) 陸屋根
A006	特記仕様書(5)	A057	雑詳細図(7) 展望テラス
A007	特記仕様書(6)	A058	雑詳細図(8) 展望室天井
A008	特記仕様書(7)	A059	雑詳細図(9) 水廻り
A009	工事区分表	A060	雑詳細図(10) 水廻り
A010	敷地図	A061	雑詳細図(11) 鋼板屋根・軒天
A011	建築面積積算図	A062	雑詳細図(12) 鋼板屋根・軒天
A012	床面積積算図(1)	A063	雑詳細図(13) 鋼板屋根・軒天
A013	床面積積算図(2)	A064	雑詳細図(14) エレベーター
A014	床面積積算図(3)	A065	雑詳細図(15) エレベーター
A015	平均地盤面算定図	A066	雑詳細図(16) エレベーター
A016	平均天井高算定図	A067	雑詳細図(17) エレベーター
A017	外部仕上表	A068	防水範囲図
A018	内部仕上表	A069	断熱・遮熱範囲図
A019	配置図(1)	A070	雨水排水計画図
A019-1	配置図(2)	A071	雑金物プロット図
A020	平面図(ピット・1階)	A072	外構図
A021	平面図(2階)	A073	厨房図
A022	平面図(3階)	A074	サイン計画図(1)
A023	屋根伏図	A075	サイン計画図(2)
A024	立面図	A076	
A025	断面図	A077	
A026	天井伏図(1階・2階)	A078	
A027	天井伏図(3階)	A079	
A028	建具表(1)	A080	
A029	建具表(2)	A081	現況図(着工予定時)
A030		A082	仮設計画図
A031	矩計図(1)	A083	
A032	矩計図(2)	A084	
A033	矩計図(3)	A085	
A034	矩計図(4)	A086	
A035	矩計図(5)	A088	
A036	矩計図(6)	A089	
A037	1階平面詳細図	A090	a lvs表
A038	2階平面詳細図	A091	
A039	3階平面詳細図(1)	A092	
A040	3階平面詳細図(2)	A093	
A041	3階平面詳細図(3)	A094	
A042	3階平面詳細図(4)	A095	
A043	展開図(1)	A096	
A044	展開図(2)	A097	
A045	展開図(3)	A098	
A046	展開図(4)	A099	
A047	展開図(5)	A100	
A048	展開図(6)		
A049	標準詳細図		
A050			

特記なき限り、原図サイズはA3とする

PROJECT TITLE (仮称) 火の山屋内展望施設新築建築主体工事 HOKU PLANNING & DESIGN ARCH 有限責任建築設計事務所	一級建築士事務所 東京都建設局登録第32752号 一級建築士登録第359055号 坂本英史			DRAWING TITLE 図面リスト SCALE -	DRAWING No. A000
---	--	--	--	--------------------------------------	---------------------

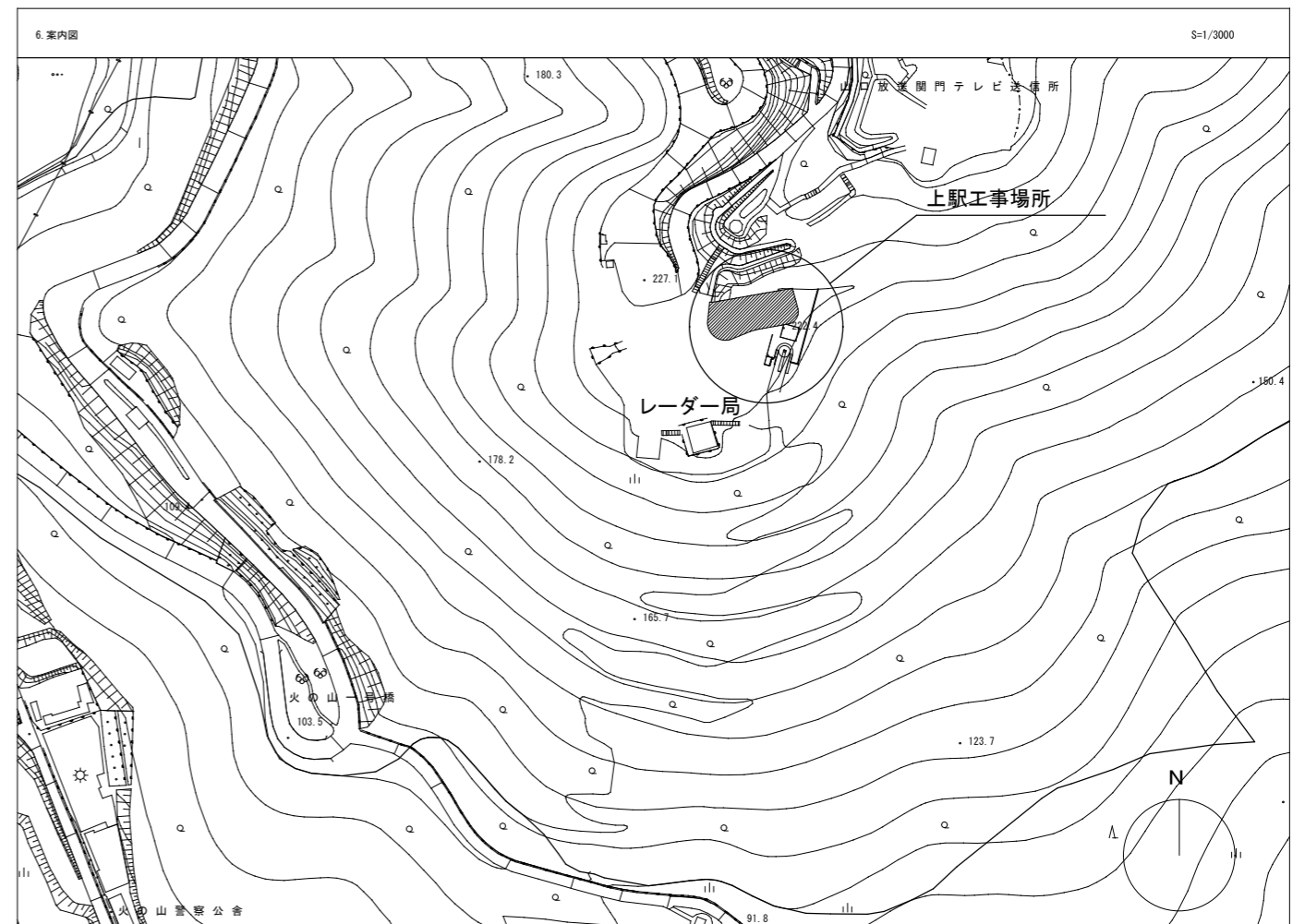
1. 工事名称	工事名称	(仮称) 火の山屋内展望施設新築建築主体工事	建築主 下関市長
	建設地	(住居表示) 山口県下関市みすみ三川町 (地名地番) -	
	主要用途	カフェ・事務所	
	工事種別	新築(増築)別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・室内装飾 用途変更(大規模の模様替)・仮設建築・解体・移設・移転	

2. 敷地状況	敷地面積	公簿 366,916.12 m ² (= 110992.12坪)	建ぺい率 基準建ぺい率 70%
	用途地域	住居専用(第2種中高層住居専用地域)・住居()・近隣商業・商業・準工業 工業・工業専用地域・指定なし	容積率 基準容積率 200%
	防火地域	防火・準防火・指定なし・特定行政庁の指定地域・22条地域	日影規制 指定なし
	その他の地域区域	都市計画区域内(市街化区域・市街化調整区域(都市計画)建設(都市公園)) 都市計画区域外・区域区分非設定区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区 特定街区・再開発事業地区・改良地区・文教地区・風致地区・高度地区・鳥獣保護区 土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園(瀬戸内海国立公園)・国定公園	道路 北面 幅員 m 東面 幅員 - m 南面 幅員 - m 西面 幅員 6 m 道路に接する部分の総長 8 m

3. 構造・規模	構造	SRC造・RC造・RC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB造・木造・その他(一部鉄骨造)	階数
	構造形式	ラーメン壁・立体トラス・シェル・折板・その他() ※構造図による	(B -) (F -) 3(P)
	基礎	ベタ・布杭・C杭・PC杭・鋼管杭 其他() ※構造図による	最高高さ 11.60 m(※平均地盤面算定後調整)
	耐火建築物等	耐火建築物(準耐火建築物(イ-1)・準耐火建築物(イ-2)・準耐火建築物(ロ-1)) 準耐火建築物(ロ-2)・耐火構造建築物・特定避難時間倒壊等防止建築物・その他()	最高軒高 10.35 m(※平均地盤面算定後調整)
建築面積	533.63 m ² (=161.36坪)	許容	備考
容積対象延床面積	769.70 m ² (= 232.83坪)	許容	

5. 床面積	1階	M 2	172.09					
		坪	52.05					
	2階	M 2	142.46					
		坪	43.09					
	3階	M 2	455.15					
		坪	137.68					
	合計	M 2	769.70					
		坪	232.83					

4. 工事範囲	種別	工事有		備考	種別	工事有		備考
		含む	別途			含む	別途	
敷地造成	地盤改良	○		造成工事と調整	付属品	館名板・表札	○	
	整地	○		造成工事と調整		案内表示板	○	
	排水	○		造成工事と調整		室名表示板	○	
撤去工事	在来基礎	○				サイン	○	
	埋設物	○				造作家具	○	
	工作物	○				カーテン	○	防火性能があるものとする
	アスファルト舗装	○				可動家具	○	
						可動椅子	○	
移設工事						消火器	○	
						掲示板	○	
解体工事					敷物・マット	○	アルミ製風除室マットは含む	
	外構				定礎板	○		
	植樹造園	○		造成工事と調整	昇降機	○		
	舗装	○		造成工事と調整				
	路面駐車場	○		造成工事と調整				
	門・塀	○		造成工事と調整				
	盛土/切土	○		造成工事と調整				
	外灯	○		造成工事と調整				
手すり	○		造成工事と調整					
補償					日照影響	○		
					騒音	○		
					風害	○		
					近隣工作物	○		
					隣家補償	○		
					私道補償	○		



建築工事特記仕様書

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という）及び「建築工事監理指針 令和7年版」による。

2. 特記仕様書の適用方法

(1) 項目の番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項に○印の付いたものを適用する。

(3) 項目に記載の表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。

特記事項について、() は標準仕様書の記載内容を示す。

章	項目	特記事項
共通事項	① ① 適用基準等	建築工事標準詳細図（令和7年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「標準詳細図」という。） 分類番号（〇-〇-〇）は図示する。
	② ② 一般事項 (1.1.1)	設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（ア）から（オ）までの順番のとおりとし、これにより難い場合は、標準仕様書1.1.8（疑義に対する協議等）による。 （ア）質問回答書（イ）から（オ）までに對するもの （イ）現場説明書 （ウ）特記仕様書 （エ）図面 （オ）標準仕様書
	③ ③ 着工時の提出図書	契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 工事用製本図面（工事用A2版） () 部 (監督職員 部、施設管理者 部、事業課 部、その他 部) (縮小版A3版) (4) 部 (監督職員1部、施設管理者 部、事業課 部、その他3部) (設計事務所により押印されたものを製本すること)
	④ ④ 施工計画書 総合図・施工図 (1.2.2~1.2.3)	施工計画書について、工事着手に先立ち総合施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。 工種別施工計画書については、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議し、作成し提出すること。 総合図について、建築及び別契約の関連工事と協議、調整を行い、統合した図面を作成し、監督職員に提出して承諾を受ける。なお、作成の主導は本工事で行う。 施工図について、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議する。作成した図面は監督職員の承諾を受ける。
	⑤ ⑤ 工期の変更に係る資料の提出 (1.1.10)	契約書に基づく工期の変更についての発注者との協議に当たり、協議の対象となる事項について、必要とする変更日数の算定根拠、変更工程表その他の協議に必要な資料を、あらかじめ監督職員に提出する。
	⑥ ⑥ 埋蔵文化財その他の物件 (1.1.12)	重機による掘削調査等について協力すること。
	⑦ ⑦ 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する
	⑧ ⑧ 施工条件 (1.3.5)	施工日時 ○ 指定なし（「行政機関の休日に関する法律」に定める行政機関の休日は施工しない。） 指定有り () 工事用車両の駐車場 ○ 指定有り（図示による） () 資機材置場 ○ 指定有り（図示による） ()
	⑨ ⑨ 安全衛生管理体制 (1.3.7)	「労働安全衛生法第30条第2項」に基づき、同条第1項に規定する安全措置を講ずべき者として指名する。
	⑩ ⑩ 発生材の処理等 (1.3.11)	・ 発注者（施設管理者）に引渡しを要する品目 () 引渡し場所 ()、引渡し時期 () ○ 特別管理型産業廃棄物及び処理方法 ○ PCB（施設管理者へ引き渡し） ○ 廃石綿（市内で収集運搬） ○ PH12.5以上の廃アルカリ処理方法 (市内で収集運搬) ○ 再利用、再生資源化を図るもの（「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」における特定建設資材以外のもの） ・ がれき類 ・ 汚泥 ○ 木くず ・ 廃プラスチック類 ○ ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず ・ 金属くず ・ 発生材の品目及び処理方法 ()
	⑬ ⑬ 環境への配慮 (1.4.1)	「山口県グリーン購入の推進方針」及び「グリーン購入ガイド」（以下「グリーン購入」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 使用する材料等は、設計図書で定める性能等を有するとともに、次のことを満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリヤ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。 2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか放散が極めて少ないもの。

1②	建築材料等 (1.4.1~6)	3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 4) 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。 1) 使用する材料の選定は、設計図書に指定されたもの、JIS、JAS、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）による。 2) 製材等、フローリング又は再生木質ボード、コンクリートに使用するせき板の材料は、グリーン購入法の基本方針の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁作成）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。 3) 「山口県ふるさと産業振興条例」の趣旨を踏まえ、施工する工事に要する資材の調達に当たり、指定主要資材については、県内産資材（県内工場等で製造した資材）を購入すること。 （「入札条件及び指示事項」による） 技能士の適用は下記による。																																								
1③	技能士 (1.5.2)	技能士の適用は下記による。																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>適用種別</th> <th>工事種目</th> <th>適用種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>○ とび</td> <td>屋根及びとい</td> <td>○ 建築板金（内外装板金作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>○ 鉄筋施工</td> <td>屋根及びとい</td> <td>・ かわらぶき</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>○ 型枠施工 ○ コンクリート圧送施工</td> <td>金属</td> <td>○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄骨</td> <td>・ とび</td> <td>左官</td> <td>○ 左官</td> </tr> <tr> <td>防水</td> <td>○ アクリル防水 ○ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シリコン防水</td> <td>建具</td> <td>○ 硝子施工 ○ ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>石</td> <td>・ 石材施工</td> <td>カーテンホル</td> <td>○ カーテンホル施工</td> </tr> <tr> <td>タイル</td> <td>・ タイル張り</td> <td>塗装</td> <td>○ 塗装（建築塗装作業）</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>・ 建築大工</td> <td>内装</td> <td>○ 内装仕上げ施工の各仕上工事作業 ・ アクリル系床 ○ ボード仕上げ ・ 表装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補葺</td> <td>・ 造園</td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	適用種別	工事種目	適用種別	仮設	○ とび	屋根及びとい	○ 建築板金（内外装板金作業）	鉄筋	○ 鉄筋施工	屋根及びとい	・ かわらぶき	コンクリート	○ 型枠施工 ○ コンクリート圧送施工	金属	○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）	鉄骨	・ とび	左官	○ 左官	防水	○ アクリル防水 ○ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シリコン防水	建具	○ 硝子施工 ○ ガラス施工	石	・ 石材施工	カーテンホル	○ カーテンホル施工	タイル	・ タイル張り	塗装	○ 塗装（建築塗装作業）	木	・ 建築大工	内装	○ 内装仕上げ施工の各仕上工事作業 ・ アクリル系床 ○ ボード仕上げ ・ 表装			補葺	・ 造園
工事種目	適用種別	工事種目	適用種別																																							
仮設	○ とび	屋根及びとい	○ 建築板金（内外装板金作業）																																							
鉄筋	○ 鉄筋施工	屋根及びとい	・ かわらぶき																																							
コンクリート	○ 型枠施工 ○ コンクリート圧送施工	金属	○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）																																							
鉄骨	・ とび	左官	○ 左官																																							
防水	○ アクリル防水 ○ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シリコン防水	建具	○ 硝子施工 ○ ガラス施工																																							
石	・ 石材施工	カーテンホル	○ カーテンホル施工																																							
タイル	・ タイル張り	塗装	○ 塗装（建築塗装作業）																																							
木	・ 建築大工	内装	○ 内装仕上げ施工の各仕上工事作業 ・ アクリル系床 ○ ボード仕上げ ・ 表装																																							
		補葺	・ 造園																																							
1④	施工の検査等 (1.5.5)	見本施工を行うもの（展望室天井、屋根+軒裏納まり）																																								
1⑤	化学物質の濃度測定 (1.5.10)	測定対象物の揮発性有機化合物の室内濃度を測定する。 (提出部数 1部) 測定対象室及び測定箇所数 ○ 展望室 (1箇所) ()箇所 ・ ()箇所 ()箇所 測定方法及び測定対象化学物質 ・ 予備濃度測定 測定方法 (・ 検知管法) 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン ○ 濃度測定（引渡し前） 測定方法 () 測定に要する資機材は受注者が準備する。 学校施設の場合 ・ 厚生労働省の標準測定法 学校施設以外の場合 ○ パッシブ型採取機器 測定対象化学物質 ○ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定																																								
1⑥	技術検査 (1.6.2)	技術検査に必要な資機材等は以下による。 バケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材 下記ものを監督職員に提出する。																																								
1⑦	工事写真	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影時期</th> <th>撮影場所</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラー サービス版(L版)</td> <td>着工前、施工中、完成</td> <td>適宜</td> <td>1部</td> <td>電子データ共</td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データの提出方法については「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領（最新版）」及び「デジタル工事写真の小黒板情報電子化基準」による。 下記ものを監督職員に提出する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格等</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 電子データ（CD-R）</td> <td>箇所</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table> <p>写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様） 電子データの提出方法については「下関市電子納品ガイドライン」による。 作成方法は「下関市営繕工事書類作成マニュアル（建築工事編）」及び「下関市電子納品ガイドライン」による。</p>	分類・規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考	カラー サービス版(L版)	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共	分類・規格等	撮影箇所	部数	○ 電子データ（CD-R）	箇所	1部																								
分類・規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考																																						
カラー サービス版(L版)	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共																																						
分類・規格等	撮影箇所	部数																																								
○ 電子データ（CD-R）	箇所	1部																																								
1⑧	完成写真	次に記載されていない事項は、監督職員の指示による。																																								
1⑨	完成時の提出図書等 (1.7.1~3) (23.3.4)																																									

2②	著作権	
2①	設備工事との取り合い	

完成図は、以下による。		表1.7.1			
種類	記入内容				
○ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽				
○ 各階平面図	室名、室面積、耐震壁				
○ 各立面図	外壁仕上げ				
○ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面以上作成				
○ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等				
○ 施工図					
○ 施工計画書					
完成図の作成、提出					
黒表紙付きA4版（年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入）に下記図面を製本したもの。 ・ 完成図（確認済証、検査済証、施工体系図、保証書（以下参照）、VOC測定結果（合格）の写し共） 作成部数：学校施設の場合2部、学校施設以外の場合1部 製本図面A3版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。 ○ 完成図 作成部数（2）部					
保全に関する資料（取扱説明書、性能試験成績書、その他監督職員が指示するもの） 提出部数 ・ 1部 ○ 2部 ・ ()部 ・ 不要					
保証書 ○ 防水 保証期間（○ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 年） ○ 屋根 保証期間（○ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 塗膜15年、原板25年） ・ 住宅建設かし保証責任保険契約を証する書類 保証期間（ ・ 工事引渡日から10年 ・ 年） ・ 新植樹木の枯保証 保証期間（引渡日から1年）					
提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図及び総合図を提出して、監督職員の承諾を受ける。					
設備工事との取り合い					
		建築	電気	機械	
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込盤、ブルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	○	・	・	
	電気のスリーブ等	・	○	・	
	機械のスリーブ等	・	・	○	
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	○	・	・	
	電気屋出し	・	○	・	
	機械屋出し	・	・	○	
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット	○	・	・	
	電気屋出し	・	○	・	
天井点検口		○	・	・	
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・	○	・	
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	○	・	
	機械設備	・	・	○	
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	○	・	
	機械設備	・	・	○	
コンクリート基礎（外灯設備）		・	○	・	
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置	○	・	・	
	屋内設置	・	・	・	
	屋外設置	・	・	・	
オイルサービスタンク防油堤		○	・	・	
自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び防火、防音		○	・	・	
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強		○	・	・	
OAフロア・フリーアクセスフロア上材の切込み及び補強		・	○	・	
外壁取付けガラリ		○	・	・	
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）		○	・	・	
建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の	1次側	・	○	・	
配管・配線	2次側（盤含む）	○	・	・	
機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤	1次側	・	○	・	
盤の配管・配線	2次側（盤含む）	・	・	○	
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続		・	○	・	
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管		・	○	・	
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線		・	・	○	
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付		・	・	○	
エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）		・	・	○	
換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）		・	○	・	
換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付		・	○	・	
機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線		・	○	・	
機械設備工事に含む電極の配管・配線		・	○	・	
擬音装置の埋込ボックス		・	・	○	
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線		・	○	・	
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配管		・	○	・	
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線		・	・	○	
ガス給湯器のアース配線		・	・	○	
屋内、屋外雨水管		○	・	・	

<p>2.3 工事の一時中止に係る計画の作成 (1.1.9)</p>	<p>④ 耐荷重及び耐力</p> <p>「建築基準法」に基づき定められた区分等 風速 (m/s) 3.4 地表面粗度区分 (㊟ 2 ・ III) 垂直積雪量 (30) cm</p> <p>工事契約書に基づく工事の一時中止の通知を受けた場合、中止期間中の工事現場の維持・管理に関する計画 (以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書において、中止時点における工事の出来高、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること、工事現場の維持・管理に関する基本的事項、工事再開に向けた方策及び基本計画に変更が生じた場合の手続きを記載すること。</p>	<p>③ 地盤の載荷試験 (4.2.4)</p> <p>・ 平板載荷試験 試験位置、載荷荷重及び試験の方法は、工事管理者と協議の上決定。 地盤の載荷試験の報告書の記載事項</p> <p>・ JGS 1521-2003と部分的に異なる方法を用いた場合のその方法</p> <p>・ 試験方法</p> <p>・ 試験結果の図及び表</p> <p>・ 地盤反力係数</p> <p>・ 極限支持力</p> <p>・ 試験地盤の観察結果と地下水の状況</p>	<p>④ 基礎梁主筋の継手</p> <p>・ 機械式定着工法 適用箇所 () 種類 ()</p> <p>・ 構造図 (構造関係共通事項5.1(b))による</p> <p>○ 構造図 (構造関係共通事項5.1(c))による</p> <p>○ 構造図 (構造関係共通事項5.1(d))による</p> <p>○ 表5.3.6による</p> <p>軽量コンクリートのかぶり厚さ () 塩害を受けるおそれのある部分等の耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ () 主筋にD29以上を使用する場合の主筋の最小かぶり厚さは径の1.5倍以上とする。</p> <p>⑥ 各部配筋</p> <p>⑦ 帯筋</p> <p>⑧ 壁開口部の補強</p> <p>⑨ 梁貫通孔の補強</p> <p>貫通孔の位置及び径を変更する場合、監督職員に協議すること</p> <p>⑩ 構造耐震スリット</p> <p>⑪ 圧接部・継手</p> <p>⑫ 試験</p> <p>(5.4.10) 行う ・ 行わない</p> <p>(5.5.5) (5.6.5) 超音波探傷試験 ○ 引張試験</p> <p>⑬ ガス圧接部</p> <p>引張試験 (5.4.10)</p> <p>延べ面積が概ね1,000㎡以上または3階建て以上の新築工事については、超音波探傷試験に加え、引張試験も併せて行うこととし、内容は以下による。 試験体は1セット3本とし、各種ごとに (・ 3セット ・ セット)とする。 抜取箇所は監督職員と協議の上、決定する。 試験は公的機関において行うこととする。 ・その他 構造特記 第6節 検査 による。</p>																																																		
	<p>② ① ベンチマーク (2.2.2)</p> <p>② 監督職員事務所 (2.3.1)</p> <p>位置及び高さ 図示による。 養生 (㊟ 要 ・ 不要) 監督職員事務所の規模 (図示による。) 監督職員事務所の標準仕様は下表とし、下表によらない場合は監督職員との協議による。</p> <table border="1"> <tr> <td>部位等</td> <td>仕上げ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁、天井</td> <td>合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> <p>設置する設備・備品等 (机、いす、冷暖房機、消火器、保護帽、ゴム長靴、雨合羽、他)の種類及び数量は監督職員との協議による。</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる (㊟ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない</p> <p>表示内容について監督職員の確認を受けること</p>			部位等	仕上げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り	屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	<p>4 既製コンクリート杭地業 (4.3.1~9)</p> <p>5 鋼杭地業 (4.4.1~7)</p> <p>6 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1~8)</p> <p>⑦ 砂利及び砂地業 (4.6.2~3)</p> <p>・ 砂利地業 砂利 (㊟ 再生クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ</th> <th>使用範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 60 mm</td> <td>○ 基礎下 ○ 地中梁下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 砂地業</td> <td></td> </tr> <tr> <th>厚さ</th> <th>使用範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 60 mm</td> <td>・ 基礎下 ・ 地中梁下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	厚さ	使用範囲	・ 60 mm	○ 基礎下 ○ 地中梁下	・		・ 砂地業		厚さ	使用範囲	・ 60 mm	・ 基礎下 ・ 地中梁下	・		<p>⑥ ① 一般事項</p> <p>生コンクリートの配合計画書を事前に監督職員に提出すること。 施工時期 (適用時期)は当該工事場所における生コンクリート組合の適合表による。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>30</td> <td>2.3</td> <td>15又は18</td> <td>基礎~2F床</td> </tr> <tr> <td></td> <td>27</td> <td>2.3</td> <td>15又は18</td> <td>2F~3F床</td> </tr> <tr> <td></td> <td>24</td> <td>2.3</td> <td>15又は18</td> <td>3F~</td> </tr> </table> <p>② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度 (6.2.1~4)</p> <p>③ コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>○ 1類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ 2類 (1類を除くJIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>工場の選定</p> <p>JISマーク表示認証製品を製造している工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場 (全国生コンクリート品質管理協議会の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場)から選定し、JIS A 5308 (レディーミクスコンクリート)に適合するものを用いること</p> <p>④ 合板せき板を用いた打放し仕上げの種別 ○ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>⑤ コンクリート仕上りの平たんさ ○ a種 ・ b種 ・ c種</p> <p>⑥ セメントの種類</p> <p>・ 普通ポルトランドセメント</p> <p>⑦ 混和材料 (6.3.1)</p> <p>⑧ 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)</p> <p>⑨ セメントの種類</p> <p>・ 普通ポルトランドセメント</p> <p>⑩ 構造図による</p> <p>⑪ 調査管理強度 (6.3.2)</p> <p>調査管理強度は、設計基準強度 (F_c)に表6.3.2の構造体強度補正值 (S)を加えた値以上、かつ、品質が「標準仕様書」のコンクリート工事 10節以降の関係を満たすものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工時期</th> <th>構造体補正值 (S) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>2/6~7/5, 9/12~12/20</td> <td>・ +9 ・ +6 ○ +3</td> </tr> <tr> <td>12/21~2/5, 7/6~9/11</td> <td>・ +9 ○ +6 ・ +3</td> </tr> </table> <p>⑫ 打継ぎ (6.6.4)</p> <p>打継ぎの位置 ・ 標準仕様書6.6.4(1)による ○ 構造図特記4.22 打ち継ぎ計画による</p> <p>打継ぎ目地の寸法 ・ 15mm ○ 20mm</p> <p>⑬ ひび割れ誘発目地 (6.8.1)</p> <p>目地寸法 ○ 標準仕様書9.7.3(1)による</p> <p>⑭ 間隔、位置 ・ 図示による</p> <p>⑮ 形状 ・ 図示による</p> <p>ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する。</p> <p>⑯ 型枠 (6.8.1)</p> <p>・ 外部に面するコンクリート打増し厚さ (20) mm</p> <p>型枠のせき板</p> <p>材料 (合法木材)</p> <p>・ 合板 ○ 合板 (表面加工品) ・</p> <p>区分 (・ A ○ B ・ C)</p> <p>⑰ 厚さ ○ 12mm ・ () mm</p> <p>⑱ 材料 (その他)</p> <p>・ 床型特用鋼製デッキプレート (評価名簿による)</p> <p>スリーブに用いる材料 (材種、規格) 図示による</p>	コンクリートの種類	設計基準強度F _c (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ (cm)	適用箇所	普通コンクリート	30	2.3	15又は18	基礎~2F床		27	2.3	15又は18	2F~3F床		24	2.3	15又は18	3F~	施工時期	構造体補正值 (S) (N/mm ²)	2/6~7/5, 9/12~12/20	・ +9 ・ +6 ○ +3	12/21~2/5, 7/6~9/11	・ +9 ○ +6 ・ +3
	部位等			仕上げ																																																	
	床			合板張り又はビニル床シート張り																																																	
	内壁、天井			合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り																																																	
	屋根			塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																	
	厚さ			使用範囲																																																	
・ 60 mm	○ 基礎下 ○ 地中梁下																																																				
・																																																					
・ 砂地業																																																					
厚さ	使用範囲																																																				
・ 60 mm	・ 基礎下 ・ 地中梁下																																																				
・																																																					
コンクリートの種類	設計基準強度F _c (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ (cm)	適用箇所																																																	
普通コンクリート	30	2.3	15又は18	基礎~2F床																																																	
	27	2.3	15又は18	2F~3F床																																																	
	24	2.3	15又は18	3F~																																																	
施工時期	構造体補正值 (S) (N/mm ²)																																																				
2/6~7/5, 9/12~12/20	・ +9 ・ +6 ○ +3																																																				
12/21~2/5, 7/6~9/11	・ +9 ○ +6 ・ +3																																																				
<p>③ ③ 工事用水</p> <p>④ 工事用電力</p> <p>⑤ 工事表示板</p>	<p>⑧ ⑧ 工事現場における掲示物等</p> <p>「建設業法」及び「公共工事の入札及び契約の適正化に関する法律」等に基づき、必要な掲示物を工事現場に掲示すること。</p> <p>(例)建設業の許可票 (元請業者のみ)、労災保険関係立票、建設業退職金共済制度加入現場ステッカー、施工体系図、石綿調査結果 (改修又は解体工事が含まれる場合)、再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書 (石綿調査結果記載例 ※A3以上とすること)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</th> </tr> <tr> <td> <p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>1. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>2. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>3. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>4. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>5. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>6. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>7. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>8. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>9. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>10. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> </td> <td> <p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>1. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>2. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>3. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>4. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>5. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>6. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>7. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>8. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>9. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>10. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> </td> </tr> </table>	建築物等の解体等の作業に関するお知らせ		<p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>1. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>2. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>3. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>4. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>5. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>6. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>7. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>8. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>9. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>10. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p>	<p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>1. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>2. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>3. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>4. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>5. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>6. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>7. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>8. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>9. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>10. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p>	<p>⑧ ⑧ 捨コンクリート地業 (4.6.4)</p> <p>⑨ ⑨ 床下防湿層 (4.6.2.5)</p> <p>⑩ ⑩ 地盤改良 (深層混合処理工法) (4.7.1~4)</p> <p>材料と厚さ ○ ポリエチレンフィルム0.15mm以上</p> <p>施工箇所 ○ 建物内土間スラブ及び土間コンクリート直下 (ピット下を除く)</p> <p>適用及び範囲・位置 図示による。</p> <p>⑪ ⑪ 固化材の種類 ・ 図示による</p> <p>⑫ ⑫ 方式 ・ 機械攪拌方式</p> <p>⑬ ⑬ 改良体</p> <table border="1"> <tr> <th>改良体の設計基準強度 (F_c)</th> <th>改良体の長さ</th> <th>改良率</th> <th>改良体幅</th> </tr> <tr> <td>1200kN/m²</td> <td>2.17m/3.97m</td> <td>図示による</td> <td>φ1000mm</td> </tr> </table> <p>⑭ ⑭ 室内配合試験</p> <p>供試体数・対象地層 ○ 図示による</p> <p>⑮ ⑮ 六価クロム溶出試験を行うこと。</p> <p>⑯ ⑯ 試験施工 ○ 行う ・ 行わない</p> <p>⑰ ⑰ 改良工事完了後の試験</p> <p>⑱ ⑱ 一軸圧縮試験 ○ 図示による</p> <p>⑳ ⑳ 六価クロムの溶出試験 ○ 行う ・ 行わない</p>	改良体の設計基準強度 (F _c)	改良体の長さ	改良率	改良体幅	1200kN/m ²	2.17m/3.97m	図示による	φ1000mm	<p>⑥ ⑥ 鉄筋工事</p> <p>① ① 鉄筋 (5.2.1)</p> <p>鉄筋の種類 表5.2.1</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類の記号</th> <th>規格名称</th> <th>径</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>○ S D 2 9 5</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>D 1 0、D 1 3、D 1 6</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>○ S D 3 4 5</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>D 1 9、D 2 2、D 2 5、D 2 9</td> </tr> </table> <p>② ② 溶接金網 (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>網目の形状</th> <th>寸法及び鉄線の径</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td></td> <td>○ 100×100×φ6.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>③ ③ 継手及び定着 (5.3.4)</p> <p>④ ④ ガス圧接は、原則D19以上を対象とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>径</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋 ()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤ ⑤ 鉄筋の継手の位置 ・ 構造図 (構造関係共通事項)による ○ 構造図による</p> <p>⑥ ⑥ 鉄筋の継手長さ ○ 表5.3.2の重ね長さの値 ・ 40d</p> <p>⑦ ⑦ 鉄筋の定着長さ ○ 表5.3.4の重ね長さの値 ・ 40d</p>	規格番号	種類の記号	規格名称	径	JIS G 3112	○ S D 2 9 5	鉄筋コンクリート用棒鋼	D 1 0、D 1 3、D 1 6	JIS G 3112	○ S D 3 4 5	鉄筋コンクリート用棒鋼	D 1 9、D 2 2、D 2 5、D 2 9	規格番号	網目の形状	寸法及び鉄線の径	施工箇所	JIS G 3551		○ 100×100×φ6.0		部位	継手方法	径	柱、梁の主筋	・ ガス圧接継手		その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手										
建築物等の解体等の作業に関するお知らせ																																																					
<p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>1. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>2. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>3. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>4. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>5. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>6. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>7. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>8. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>9. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>10. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p>	<p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>1. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>2. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>3. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>4. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>5. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>6. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>7. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>8. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>9. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>10. 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p>																																																				
改良体の設計基準強度 (F _c)	改良体の長さ	改良率	改良体幅																																																		
1200kN/m ²	2.17m/3.97m	図示による	φ1000mm																																																		
規格番号	種類の記号	規格名称	径																																																		
JIS G 3112	○ S D 2 9 5	鉄筋コンクリート用棒鋼	D 1 0、D 1 3、D 1 6																																																		
JIS G 3112	○ S D 3 4 5	鉄筋コンクリート用棒鋼	D 1 9、D 2 2、D 2 5、D 2 9																																																		
規格番号	網目の形状	寸法及び鉄線の径	施工箇所																																																		
JIS G 3551		○ 100×100×φ6.0																																																			
部位	継手方法	径																																																			
柱、梁の主筋	・ ガス圧接継手																																																				
その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手																																																				
<p>② ① ②</p>	<p>③ ③ 指定仮設物等</p> <p>適用は以下のとおりとし、仕様は図示による</p> <p>○ 仮囲い ○ ゲート ○ 敷き鉄板 ○ 交通誘導員 A (1人) ・ 交通誘導員 B (人) ・ その他 ()</p>	<p>⑤ ⑤ 鉄筋工事</p> <p>① ① 根切り (3.2.1)</p> <p>根切り底の状態、土質及び深さを確認のうえ、監督職員に報告し、検査を受けること。</p> <p>② ② 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>種類 ○ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 表3.2.1</p> <p>・ 建設汚泥から再生した処理土または土工用砕砕スラグ</p> <p>③ ③ 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>○ 構外指示の場所に処分 (公共残土処理場 (下関市))</p>	<p>⑥ ⑥ 土工事</p> <p>① ① 根切り (3.2.1)</p> <p>根切り底の状態、土質及び深さを確認のうえ、監督職員に報告し、検査を受けること。</p> <p>② ② 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>種類 ○ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 表3.2.1</p> <p>・ 建設汚泥から再生した処理土または土工用砕砕スラグ</p> <p>③ ③ 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>○ 構外指示の場所に処分 (公共残土処理場 (下関市))</p>																																																		
<p>④ ④ 地業工事</p>	<p>④ ④ 地業工事</p> <p>① ① 試験杭 (4.2.2)</p> <p>位置、本数及び寸法は、基礎伏図による。</p> <p>② ② 杭の載荷試験 (4.2.3)</p> <p>・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重等及び試験の方法・報告書の記載事項は、図示による。</p>	<p>⑤ ⑤ 鉄筋工事</p> <p>③ ③ 継手及び定着 (5.3.4)</p> <p>④ ④ ガス圧接は、原則D19以上を対象とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>径</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋 ()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤ ⑤ 鉄筋の継手の位置 ・ 構造図 (構造関係共通事項)による ○ 構造図による</p> <p>⑥ ⑥ 鉄筋の継手長さ ○ 表5.3.2の重ね長さの値 ・ 40d</p> <p>⑦ ⑦ 鉄筋の定着長さ ○ 表5.3.4の重ね長さの値 ・ 40d</p>	部位	継手方法	径	柱、梁の主筋	・ ガス圧接継手		その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手		<p>⑥ ⑥ 土工事</p> <p>③ ③ 指定仮設物等</p> <p>適用は以下のとおりとし、仕様は図示による</p> <p>○ 仮囲い ○ ゲート ○ 敷き鉄板 ○ 交通誘導員 A (1人) ・ 交通誘導員 B (人) ・ その他 ()</p>																																									
部位	継手方法	径																																																			
柱、梁の主筋	・ ガス圧接継手																																																				
その他の鉄筋 ()	・ 重ね継手																																																				

鉄骨工事	①	コンクリートの強度試験 (6.9.3)	材齢28日の構造体コンクリートの圧縮強度推定用試験については、第3者機関にて行うこと。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 ①その他 構造特記 第6節 検査 による。	鉄骨工事	①	摩擦面の性能及び処理 (7.4.2)	・ すべり試験の実施(自然発錆・プラスト処理の場合不要) 試験方法 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験	④	押出成形セメント板 (8.5.2~5)	種別 ・ C種 ・ D種 ・ E種 表8.4.3 パネル幅の最小限度 ・ 300mm ・ () mm (300mm未満の場合) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びに他部材との取合い部の伸縮目地の幅 ・ 10~20mm 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない 耐火目地材 ・ アルカリアースシリケートウール 屋根及び床パネル構法 種別 F種 表8.4.4 パネル幅の最小限度 ・ 300mm ・ () mm (300mm未満の場合) 材料 表8.5.1~2 パネル材料はJIS A 5441による																								
	12	軽量コンクリート (6.10.1)	%%K図示による		②	溶接の準備 (7.6.4)	開先の形状 構造図による 鋼製エンドタブの切断 ・ 切断箇所 (・ 構造図による ・) ・ 切断断面 (・ 構造図による ・) ・ 切断面の仕上げ (・ 標準仕様書7.6.7(1)(h)(b)②による ・)				⑤	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	防水層の下地 含水率8%以下 屋根保護防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 25mm ・ 50mm 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 25mm ・ 50mm 保護層等の材料 成形伸縮目地材 (製造所：評価名簿による) 表9.2.1 防水層の種類 表9.2.3~9																					
	13	マスコンクリート (6.13.1~2)	%%K図示による		③	溶接部の外観試験 (7.6.12)	完全溶込み溶接 低応力高サイクル疲労を受ける部位 () スカルップの形状 構造図による 溶接部の外観試験の方法 ①「突合せ接手の食い違い仕口ずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による ・ JASS6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)による 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 () 実施する ・ 実施しない) 工場溶接の場合の試験における品質の保証 (AQL(平均出検品質限界))の値 ()4.0% ・ 2.5%) 工場溶接の場合の試験における検査水準 (抜取率の大小) () 第6水準 ・) 表7.6.2 ②その他 構造特記 第6節 検査 による。							⑥	3 改質アスファルト シート防水 (9.3.2~3)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3																		
	④	無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 設計基準強度 (Fc) (N/mm2) スラブ (cm) 適用箇所 普通コンクリート ① 18 ② 15 ・ 18 ・ ・街きよ、縁石、側溝類のコンクリート及びこれらの基礎コンクリート ・間知石積みの基礎及び裏込めコンクリート ・捨てコンクリート ・機械室等で用いる配管埋設用コンクリート ・防水層の保護コンクリート		④	デッキプレートの溶接 (7.7.8)	デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 (・ 図示(構造図) ・ 焼抜き柱溶接) デッキプレートの数込みと同時にを行う仮留めの方法 (・ アークスポット溶接 ・ 隅肉溶接) 溶接技術者 (・ 配置する ・ 配置しない) 溶接止め塗装範囲 図示 塗料の種類 (特記なき鉄鋼面は、標準仕様書「18章塗装工事」による) ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 (・ A種 ・) 表18.3.1 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 図示による										⑦	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3															
	⑤	コンクリート単位水量測定	「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営技第71号)に基づき実施する。 なお、測定方法は「レディーミクストコンクリート単位水量測定要領(案)」による。 測定の対象は、延床面積1.500㎡以上の新築工事とする。		⑤	錆止め塗料 (7.8.2~4)	塗料の種類 (特記なき鉄鋼面は、標準仕様書「18章塗装工事」による) ・ 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 () 構造図による ・) ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 () 標準仕様書7.8.2(1)(7)~(4)以外の範囲 ・) ・ 耐火被覆材の接着する面の塗料の種類 図示による													⑧	3 改質アスファルト シート防水 (9.3.2~3)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3												
	⑥	鉄骨製作工場 (7.1.3~4)	加工能力等 「建築基準法第77条の56第1項」の規定に基づく指定性能評価機関 (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構)による評価を受けて国土交通大臣が指定した工場の加工能力等とする。 工場の加工能力等のグレード (・ S ・ H () M ・ R ・ J) 以上 配置する		⑥	アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)	アンカーボルト等の設置等 (7.10.3) 軽量形鋼 (7.11.2) 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)																⑨	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3									
	⑦	施工管理技術者 (1.3.2) (7.1.4)	配置する		⑦	軽量形鋼 (7.11.2)	軽量形鋼 (7.11.2) 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)																			⑩	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3						
	⑧	鋼材 (7.2.1)	主な鋼材の品質、種類の記号等は次による。材質、形状及び寸法は図示による。 表7.2.1		⑧	溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)	溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)																						⑪	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3			
	⑨	高力ボルト (7.2.2) (7.3.2)	・ トルシア形高力ボルト セットの種類 (・ 2種(S10T) ・) (「建築基準法」に基づき認定を受けたもの) ・ JIS形高力ボルト セットの種類 (・ 2種(F10T) ・) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 (・ 1種(F8T)相当 ・) (「建築基準法」に基づき認定を受けたもの) ねじの呼び 構造図による 縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造図による ボルト及びナットの材料等 ・ 表7.2.3による ねじの呼び 構造図による 縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造図による 母屋又は鋼線の取付に使用するボルトの孔径 ・ ねじの呼び径+1.0mm ・ 構造図による 構造用アンカーボルト (JIS B 1220) () ABR400 ・ ABR490 建方用アンカーボルト (JIS G 3101) () SS400 公差域クラス及び仕上げの程度 ・ 表7.2.3による 縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造図による		⑨	補強コンクリートブロック造 (8.2.2~5) (8.2.7~8)	補強コンクリートブロック造 (8.2.2~5) (8.2.7~8) コンクリートブロック構造及び壁 (8.3.2) (8.3.4) ALCパネル (8.4.2~5)																									⑫	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3
	⑩	溶接材料 (7.2.5)	⑩ 表7.2.4による		⑩	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による																											
⑪	ターンバックル (7.2.6)	種類、ねじの呼び等 構造図による	⑪	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による	図示による	⑭	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3																									
⑫	床構造用のデッキプレート (7.2.7)	材質、形状及び寸法 構造図による	⑫	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による	図示による				⑮	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3																						
⑬	スタッド (7.2.8)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ D16 ・ D19 100 鉄骨柱頭 ・ D22	⑬	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による	図示による							⑯	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3																			
⑭	柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3)	材料 ・ モルタル ① 無収縮モルタル (製造所：評価名簿による) 表7.2.5 工法の種別 () A種 ・ B種 表7.10.2 厚さ () ・ 内部品質確認が必要とされる鋼材の使用 (・ SM材 ・ SS材 ・) ・ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験はJIS G 0901による	⑭	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による	図示による										⑰	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3																
⑮	材料試験等 (7.2.10)	・ 内部品質確認が必要とされる鋼材の使用 (・ SM材 ・ SS材 ・) ・ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験はJIS G 0901による	⑮	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による	図示による													⑱	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3													
⑯	仮組 (7.3.10)	仮組の実施 部位 ()	⑯	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	図示による	図示による																⑳	1 防水層の施工 2 アスファルト防水 (9.2.2~5)	脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による 保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 30mm ・ 50mm 防水層の種類 表9.3.1~3										

4	合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4)	可塑剤移行防止シート 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鉄板(厚さ0.4mm以上) ステンレス鋼板(厚さ0.4mm以上) 断熱材 材質 標準仕様書9.4.2(3)(エ)による 厚さ()	4	有機系接着剤による タイル張り (11.3.2~5)	材料 タイル(製造所:評価名簿による) タイルの形状、寸法等(JIS A 5209)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1類</th> <th>2類</th> <th>Ⅲ類</th> <th>ぬゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>あり</th> <th>なし</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>あり</th> <th>なし</th> <th>あり</th> <th>なし</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状	寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性		備考	1類	2類	Ⅲ類	ぬゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	あり	なし	あり	なし																		3	粘土瓦葺 (13.4.2~3) とい (13.5.2~3)	断熱張り 行う 行わない	耐火性能 耐火性能に対応した工法 適用する(図示) 適用しない 図示による 材料 配管用鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(カラー) ステンレス管 アルミスパンドレル ルーフトレン(評価名簿による) 表13.5.1 とい受金物及び足金物の材質及び取付け間隔 表13.5.2による(熔融亜鉛めっきを行ったもの) 鋼管製といの防露巻き 行う 表13.5.4による 図示による 行わない ルーフトレン 取合い 標準詳細図5- による 図示による	防火性能
		施工箇所								形状	寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性			耐滑り性		備考																																
							1類	2類	Ⅲ類			ぬゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	あり	なし	あり	なし																																					
		表9.4.1~3					表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																														
		表9.4.1~3					表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																														
		表9.4.1~3					表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																														
		表9.4.1~3					表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																														
		表9.4.1~3					表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																														
		表9.4.1~3					表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																														
表9.4.1~3	表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																																				
表9.4.1~3	表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																																				
表9.4.1~3	表9.5.1~2	表14.2.1	表14.2.2	表14.4.1	表14.5.1	表14.7.1																																																				

左官工事	①	モルタル塗り (15.3.2.5)	材料 ○ 吸水調整材(製造所:評価名簿による) 表15.3.2 ○ 防水剤(製造所:評価名簿による) ○ 既製目地材の適用及び形状は図示による 工法 床の目地 ○ 設ける 目地割り ○ 2m2程度、最大目地間隔3m程度 ○ 3.6m程度の割付け間隔 目地の種類 ○ 押し目地 ・ 設けない
	②	仕上塗材仕上げ (15.6.2)	○ 薄付け仕上塗材 表15.6.1 呼び名 仕上げの形状 工法 ○ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ○ サンドセラミック調装飾仕上塗材 ○ こて ・ 外装薄塗材S ・ 砂壁状 吹付け 塗り回数仕上塗材製造所の指定による 吸放湿性を有する内装薄塗材 ・ 使用する ・ 使用しない ・ 厚付け仕上塗材 表15.6.1 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗材 ・ 外装厚塗材C スタッコ状 ・ 吹かし 吹付け ・ 行う ・ 外装厚塗材E ・ 凸部処理 ・ 行わない ・ ひき起し ・ こて ・ 行う ・ 凸部処理 ・ 行わない 塗り回数仕上塗材製造所の指定による 吸放湿性を有する内装厚塗材 ・ 使用する ・ 使用しない ・ 複層仕上塗材 表15.6.1~2 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗材(耐候性 耐候形・1種・2種・3種) 溶媒 樹脂 外観 ・ 複層塗材CE ・ 凸部処理 吹付け ・ 溶剤系 ・ アクリル系 ・ つやあり ・ 複層塗材RE ・ 凹凸状 ・ 弱溶剤系 ・ シリコン系 ・ つやなし ・ 複層塗材Si ・ ゆず肌状 ローラー塗り ・ 水系 ・ ポリウレタン系 ・ マリカ ・ 複層塗材E ・ ふっ素系 軽量骨材仕上塗材 表15.6.1 種類 仕上げの形状 工法 ・ 吹付け用軽量塗材 砂壁状 吹付け ・ こて塗用軽量塗材 平たん状 こて 防火材料の指定 ・ あり(適用箇所:)

鋼製軽量建具	(16.5.2~4)	鋼製軽量建具	図示による
	(16.7.2~4)	木製建具	材料 図示による 形状及び仕上げ フラッシュ戸 表16.7.6 空気穴を2箇所以上に設けること 表面板の厚さ 普通合板 ・ 2.5mm以上 天然木化粧合板 ・ 3.2mm以上 特殊加工化粧合板 ・ 2.4mm以上 かまち戸、ふすま、戸ぶすま、紙張り障子の見込み寸法 図示による 工法 引き戸の引合せかまち(・いんろう付き) ・ 取合い ・ 標準詳細図4. - による ・ 図示による
建具用金物	(16.8.2~4)	建具用金物	材質、形状及び寸法 図示による 評価名簿によるもの シリンダー箱錠、シリンダー本締り錠 ドアローザ (・ パラレル型 ○ 図示による) ヒンジローザ (・ 丁番形 ・ 持出し吊り込み型 ・ 中心吊り込み型 ○ 図示による) フロアヒンジ (・ 中心吊り込み(両自由) ○ 図示による) ・ マスターキー ○ 有(1)組 ・ 無
	(16.11.2~3)	重量シャッター	形式及び機構 種類 図示による 安全装置の設置箇所 図示による 防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置とし、連動制御装置及び煙感知器は別途とする。 耐風圧強度(管理用シャッター、外壁用防火シャッター) 図示による 開閉機能による種類 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 表16.11.1 危害防止装置 標準仕様書16.11.2(4)(イ)による シャッターケース(防火・防煙以外) ・ 設ける ・ 設けない
軽量シャッター	(16.12.2~4)	軽量シャッター	材料(製造所:評価名簿による) スラット及びシャッターケース用鋼板 種類() めっきの付着量 ・ Z12又はF12を満足するもの
	(16.13.2~3)	オーバーヘッドドア	形式及び機構 セクション材料による区分 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラストタイプ 耐風圧性能JIS A 4715による 強さの区分 (・ 500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa)に耐えるもの 開閉形式による区分 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形
ガラス	(16.14.2~4)	ガラス	材料(製造所:評価名簿による) スラットの材質 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) めっきの付着量 ・ Z06又はF06を満足するもの
	(16.14.2~4)	ガラス	板ガラス(標準仕様書の規定による材料又は評価名簿による) 下記以外(品種・厚さの呼び等)は建具表による。 ○ フロート板ガラス(JIS R 3202による) ・ 型板ガラス(JIS R 3203による) ○ 網入板ガラス(JIS R 3204による) ・ 線入板ガラス(JIS R 3204による) ○ 合わせガラス(JIS R 3205による) ○ 強化ガラス(JIS R 3206による) ・ 熱線吸収板ガラス(JIS R 3208による) ○ 複層ガラス(JIS R 3209による) ・ 熱線反射ガラス(JIS R 3221による) ・ 倍強度ガラス(JIS R 3222による)

左官工事	①	付属電気設備	ガラス留め材 建具の種類 材種 鋼製 ○ シーリング材 ・ アルミニウム製 ○ シーリング材 ・ ガスケット (・ グレイジングチャンネル形 ・) ステンレス製 ○ シーリング材 ・ 木製 ○ シーリング材 上記建具のFIXの場合 ○ シーリング材 防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。 電動シャッター、自動扉の施工範囲は下記による。 制御盤以降の2次側は本工事とする。 防煙シャッターの連動制御盤及び煙感知器は本工事に含まない。
	②	素地ごしらえ (18.2.2~7)	・ 木部 表18.2.1 ・ 不透明塗料塗り (・ A種 ・ B種) ・ 透明塗料塗り (・ A種 ・ B種) ○ 鉄鋼面 表18.2.2 種別 (・ A種 ・ B種 ○ C種) 耐候性塗料塗り(DP)の場合 種別 B種 ・ 亜鉛めっき鋼面 表18.2.3 鋼製建具等 種別 (・ A種 ・ B種) 鋼製建具等以外 種別 (・ A種 ・ B種) ・ モルタル面及びせつこうプラスター面 表18.2.4 種別 (・ A種 ・ B種) ○ コンクリート面(耐候性塗料塗り(DP)の場合は除く)、ALCパネル面 表18.2.5 種別 (・ A種 ○ B種) ○ 押出成形セメント板面、コンクリート板面(耐候性塗料塗り(DP)の場合) 表18.2.6 種別 (・ A種 ○ B種) ○ せつこうボード面及びその他ボード面 表18.2.7 目地 ○ 難目処理工法 (○ A種 ・ B種) ・ その他 (・ A種 ・ B種)
塗装工事	③	錆止め塗料塗り (18.3.2~3)	下地面等 工程の種別 塗料の種別 ○ 鉄鋼面 見え隠れ部分 ・ A種 ○ B種 SOPの場合 A s種 ○ 耐火塗料 見え隠れ部分 ・ A種 ・ B種 DPの場合 1回目C s種 2、3回目D s種 EP-Gの場合 ・ A s種 ・ B s種 ・ 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具等 ○ A種 ・ B種 SOPの場合 ○ A z種 ・ B z種 鋼面 鋼製建具等 ・ A種 ・ B種 DPの場合 B z種 EP-Gの場合 C z種 (表18.4.1~表18.12.1)
	④	塗料 (18.4.2~18.12.2)	塗装 適用箇所 種別 塗料の種類 ○ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ・ A種 ・ B種 ・ 1種 ・ 2種 木部屋内 ・ A種 ・ B種 ・ 1種 ・ 2種 鉄鋼面 ○ A種 ・ B種 ○ 1種 ・ 2種 亜鉛めっき鋼面 - ○ 1種 ・ 2種 ・ クリヤラッカー塗り(DL) ・ A種 ・ B種 ・ 透明 ・ 不透明 ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(MAD) ・ A種 ・ B種 - ○ 耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 - 上塗り等級()級 亜鉛めっき鋼面 - 上塗り等級()級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A種 ○ B種 上塗り等級(2)級 ・ C種 ・ つや有合成樹脂エマルジョン 脂エマルジョン 鋼製建具等 ・ A種 ・ B種 - ンペイント塗り 屋内の木部 - り(EP-G) 屋内の鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 - 屋内の亜鉛めっき鋼面 - ○ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ・ A種 ○ B種 - ・ ウレタン樹脂系ワニス塗り(UC) ・ A種 - 透明 ・ 不透明 ・ スティン塗り ・ ビンタスリ 塗り ・ オキシリン 塗り(OS) ・ 木材保護塗料塗り(WP) ・ A種 ・ B種 - ○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(OP) -

建具工事	①	アルミニウム製建具 (16.2.2~5)	性能値等 アルミニウム製建具の性能等級等 ・ A種 ○ B種 ○ C種 ・ D種 ・ E種 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ○ H-1 ○ H-2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 材料(製造所:評価名簿による) 網戸等 防虫網の材質 材質 線径 網目 ・ ステンレス製(SUS316) ・ 0.25mm以上 ・ 16~18メッシュ ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 防虫網の材質 ・ ステンレス製(SUS304)径1.5mmピッチ15mm
	②	鋼製建具 (16.1.3) (16.4.2~4) (16.6.3)	簡易気密ドアセット ・ 適用する ・ 適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ○ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 材料(製造所:評価名簿による) ○ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 形鋼 鋼板類 鋼板 めっきの付着量 ○ Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板 種類 ○ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS430J1

Y3 内装工事	①	ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り (19.2.2~3)	材料 ○ ビニル床シート (構成 標準詳細図1-01- による ○ 図示による)			
		種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法
		○ 発泡層のないもの	○ FS	○ 無地	○ 2.0 ・ 2.5	○ 突付け ○ 熱溶接
		○ 発泡層のあるもの	○ 複層シート	○ 柄物	・ 2.0 ○ 2.8	○ 突付け ○ 熱溶接
		接着剤の種類 表19.2.11による ・ ビニル床タイル (構成 標準詳細図1-01- による ○ 図示による)				
		種類	記号	厚さ(mm)	寸法(mm)	色柄
		・ 複層ビニル床タイル	FT	・ 2.0	・ 300×300	・ プレーン
		・ 置敷きビニル床タイル	FOA	・ 4.0以上	・ 450×450	・ マーブル
		・ コンポジション	KT	・ 2.0	・ 500×500	・ 特殊柄
		接着剤の種類 表19.2.11による ・ 特殊機能床材 (帯電防止)				
種類	記号	厚さ (mm)	寸法(mm)	備考		
・ 帯電防止床シート	FS	・ 2.0	—	帯電防止性能評価値 (JISA1455) 1. 2以上~3. 2未満		
・ 帯電防止床タイル (置敷きビニル床タイル)	FOA	・ 4.0以上		又は体積電気抵抗値 (JISA1454) 7 10 1×10 ⁹ ~10 ¹⁰ Ω程度		
目地処理する場合の工法 熱溶接工法						
材料及び工法						
・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床 仕上りの種類 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 表19.4.4						
・ エポキシ樹脂系塗床材 仕上りの種類 薄膜流しのべ仕上げ 厚膜流しのべ仕上げ 表19.4.5~7						
○ 薄膜型塗床材 仕上りの種類 平滑仕上げ 表19.4.8						
② 合成樹脂塗床 (19.4.2~3)						
③ フローリング張り (一般用) (19.5.2~5)						
材料、工法等						
品名		工法				
・ 単層フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による		・ フローリングボード1等 ・ フローリングブロック1等 ・ 釘留め工法 ・ 根張り工法 ・ 直張り工法				
・ 複合フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による		・ 釘留め工法 ・ 根張り工法 (・ A種・B種・C種) ・ 直張り工法 (・ A種・B種・C種) ・ 接着工法 (・ A種・B種・C種) フローリングブロックの樹種、厚 さ及び大きさは図示による。 緩衝材 合成樹脂発泡シート				
構成 標準詳細図1-02- による ○ 図示による		種類 表19.6.1 A種 B種 C種 D種 D種の場合の畳床記号 KT-1 KT-2 KT-Ⅲ KT-K KT-N				
構成 標準詳細図1-02- による ○ 図示による		表19.7.1 種類及び厚さは図示による。 「建築基準法」に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものを使用する箇所 図示による				
④ 畳敷き (19.6.2)						
⑤ セッコウボード、 その他ボード及び 合板張り (19.7.2~3)						
合板						
・ 普通合板						
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理		
		・ 生地のまま ・ ラワン ・ しな		・ する ・ しない		
				・ する ・ しない		

Y3 内装工事	⑥	壁紙張り (19.8.2~3)		
		⑦ 断熱材打込み工法 (19.9.3)		
		⑧ 断熱材現場発泡工法 (19.9.4)		
		Y3 内装工事	⑨	⑩ フリーアクセスフロア (20.2.2)
				⑪ 可動間仕切 (20.2.3)
				⑫ 移動間仕切 (20.2.4)

・ 天然木化粧合板			
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	防虫処理
			・ する ・ しない
			・ する ・ しない
合板類の張付けの種類 表19.7.3 A種 B種			
セッコウボードの目地工法の種類 表19.7.5			
○ 継目処理工法 (○ 標準詳細図2-03- による ○ 図示による)			
・ 突付け工法 (標準詳細図2-03- による ○ 図示による)			
・ 目透し工法 (標準詳細図2-03- による ○ 図示による)			
「建築基準法」に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものを使用する箇所 ○ 図示による			
施工箇所	種類	防火性能の級別	備考
モルタル面及びセッコウプラスター面の素地ごしらえ 表18.2.4 A種 ○ B種			
コンクリート面の素地ごしらえの種類 表18.2.5 A種 ○ B種			
セッコウボード面及びびけい酸カルシウム板面の素地ごしらえの種類 表18.2.7 A種 ○ B種			
断熱材の種類			
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材			
○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)			
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材			
・ フェノールフォーム断熱材			
断熱補修材 ○ 断熱材と同材			
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (オゾン層を破壊する物質を使用しないこと。)			
断熱材 種類 ○ A種1又はA種1H (難燃性を有するもの)			
吹付け厚さ (25mm)			
施工箇所	工法	支柱調整式	置敷式
耐震性能	・ 0.6G	・ 1.0G	・ 0.6G
所定荷重			
耐荷重性能	・ 3000N	・ 5000N	・ 3000N
寸法			
高さ(mm)	・		・
表面仕上げ材の材質	・ タイルカーペット (・ 第一種 ・ 第二種)	・ タイルカーペット (・ 第一種 ・ 第二種)	
表面仕上げ材の寸法			
帯電防止機能			
漏えい抵抗			
ボーダー部及びスロープ	・ メーカー仕様	・ 図示	・ メーカー仕様
製造所 評価名簿による			
床表面仕上げ材の品質・性能等は「19章内装工事」による。			
JIS A 6512によるほか、下記による。			
材料等			
構造形式による種類 表19.6.1 スタッ式 (・ 露出 ・ 内蔵) ・ スタッパネル式			
構成材の種類 図示による			
遮音性 ()			
表面材質及び厚さ(mm) 表19.6.1 鋼板0.6 鋼板0.8			
パネル表面仕上げ 表19.6.1 メラミン樹脂焼付 アクリル樹脂焼付			
パネル表面色 表19.6.1 常備色 指定色			
パネル厚さ 表19.6.1 mm程度			
パネル内に取り付ける建具 表19.6.1 寸法 () 形状 ()			
製造所：評価名簿による			
材料等			
パネルの操作方法による種類 表19.6.1 製造所の仕様による ○ 図示による			
表面材質及び厚さ(mm) 表19.6.1 鋼板0.6 鋼板0.8			
パネル表面仕上げ 表19.6.1 メラミン樹脂焼付 アクリル樹脂焼付			
パネル表面色 表19.6.1 常備色 指定色			
パネル総厚さ 表19.6.1 mm程度			
性能等			
パネル圧接装置の操作方法 表19.6.1 製造所の仕様による ○ 図示による			
遮音性 (dB/500Hz) の区分 表19.6.1 36未満 36以上			
ハンガーレール取付け下地の補強 表19.6.1 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない 耐力及び変形量となるように補強する。			

Y3 内装工事	④	トイレブース (20.2.5)
		⑤ 手すり (20.2.6)
		⑥ 階段滑り止め (20.2.7)
		⑦ 黒板及びホワイト ボード (20.2.9)
		⑧ 表示 (20.2.11)
		⑨ タラップ (20.2.12)
		10 ブラインド (20.2.14)
		11 カーテン及び カーテンレール (20.2.16)
		12 ブレキャストコン クリート工事 (20.3.2~4)
		13 間知石等 (20.4.2~4)

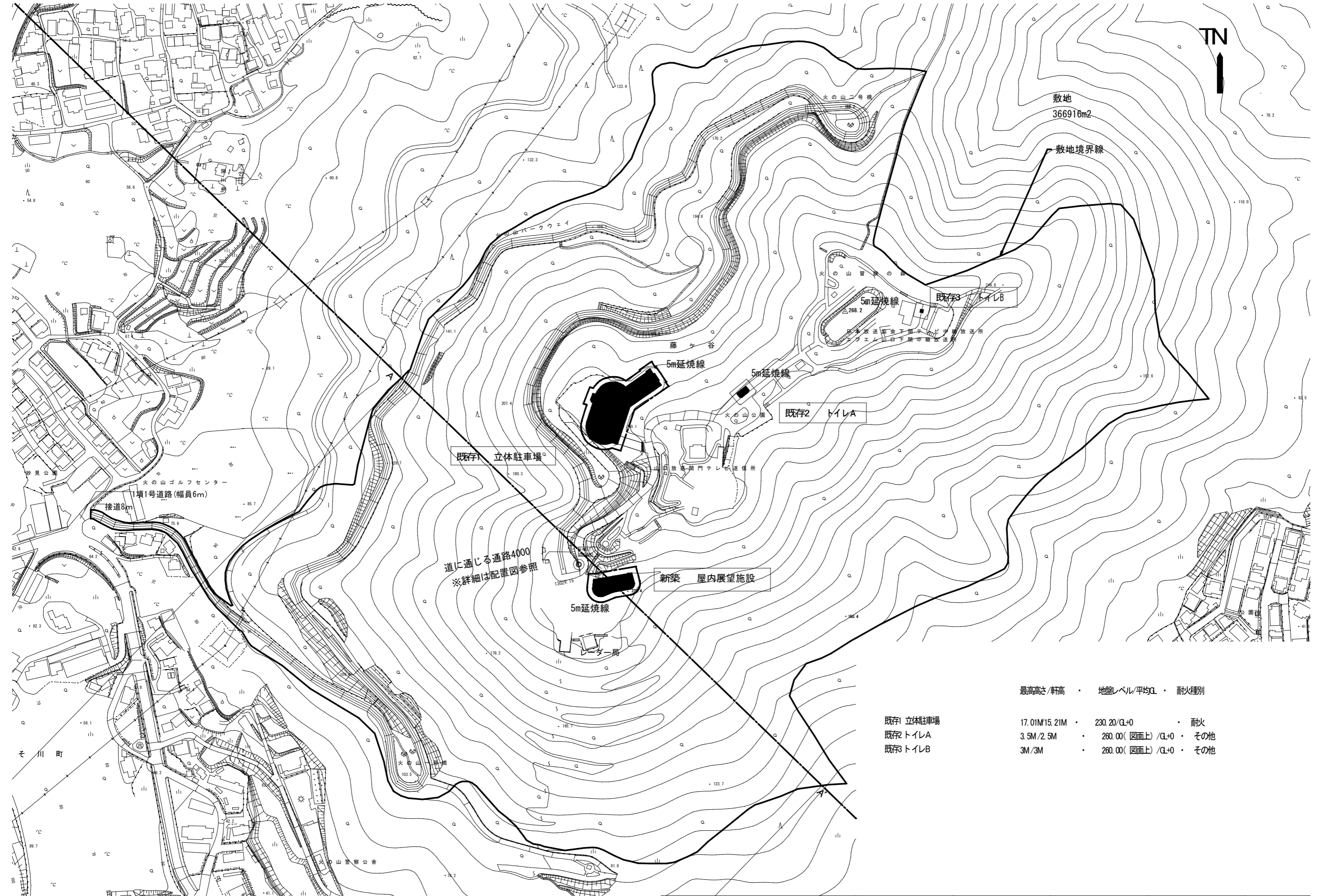
工法	あと施工アンカー	材質 ()	寸法 ()		
形状及び寸法	標準詳細図6- による ○ 図示による				
パネル表面材	○ メラミン樹脂系化粧板				
エッジ材質形状	・ アルミエッジ ○ パネル同材				
脚部材質形状	○ 幅木 (○ SUS304)				
	・ 脚具 (・ SUS304)				
製造所：評価名簿による					
材料の種類 ○ 鋼 ・ ステンレス ・ アルミニウム					
仕上げ ○ 図示による					
材質 ステンレス製 (○ 接着工法 ・ 埋込工法)					
形状 (ストライプ)					
寸法 (図示)					
フラットエンド ○ 有り (○ タイヤと同材 ・ ステンレス鋼) ・ 無					
型式 ○ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り					
幅 ○ 約35mm					
・ 黒板					
種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板					
○ ホワイトボード					
種類 ○ ほうろう					
○ 対人衝突防止表示 ○ 図示による					
・ 非常用出入口 ○ 図示による					
○ 案内板 ○ 施設案内板 (○ 図示による)					
○ 各階案内板 (・ 標準詳細図8- による ○ 図示による)					
○ 視覚障害者用案内板 (○ 図示による)					
○ 室名札 ○ 図示による					
・ 市販品 (製造所、品番)					
○ ピクトグラフ ・ 標準詳細図8- による					
○ 図示による					
・ 市販品 (製造所、品番)					
○ 館名文字 ○ 切抜文字 (○ スリット製 ・ 黄銅製) ・ 箱文字 (・ スリット製 ・ 黄銅製)					
文字 () 文字の大きさ (×)					
・ 標準詳細図8-31- による ○ 図示による					
防火性能を有するものは図示による					
・ カーテンレール及び付属金物					
施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物
	・ 10-90	・ アルミニウム及びアルミ ニウム合金の押出し成形板	・ アルマイト	・ 角型	・ 鋼製 ・ 樹脂製
カーテンレール幅は原則として、開口幅より両端それぞれ100mm程度延長する					
材料					
補強鉄線					
種類	径	網目寸法			
・ JIS G 3532 (鉄線)	・ 3.2mm以上	・			
・ 普通鉄線	・ 3.2mm以上	・			
・ JIS G 3551 (溶接金網及び鉄筋格子)	・ 3.2mm以上	・			
製作					
コンクリートの設計基準強度 (Fc) () N/mm					
鉄筋の組み立て					
配筋 ・ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。					
養生その他					
取付け方法 ()					
材料					
間知石 材質 ()					
間知ブロック (JIS A 5371) 種類 ()					
JISによる質量区分 ・ ブロックA ・ ブロックB					
工法					
間知石積み					
積み方 ・ 谷積み					
・ 布積み					
目塗り ()					
伸縮調整目地 目地の材質 ()					
厚さ ()					

<p>④ 点検口</p>	<p>・ 屋上 材種 ・ ステンレス製 寸法(mm) ・ 径550 ・ 径600 ・ 500×500 ・ 鋼製 寸法(mm) ・ 径550 ・ 500×500</p> <p>錠 ・ 有 ・ 無</p> <p>○ 天井 材種 ○ アルミニウム製 寸法(mm) ○ 450×450 ○ 600×600</p> <table border="1" data-bbox="356 189 934 346"> <tr> <th>用途区分</th> <th>目地形状による区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">○ 一般形</td> <td>○ 外枠・内枠とも顔縁タイプ</td> </tr> <tr> <td>・ 外枠顔縁・内枠目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>・ 外枠目地・内枠顔縁タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 外枠・内枠とも目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>・ 密閉形</td> <td>・ 内枠のみ顔縁タイプ</td> </tr> </table> <p>製造所：評価名簿による</p> <p>錠 ・ 有 ○ 無</p> <p>○ 床 材種 ・ アルミニウム製 寸法(mm) ・ 450×450 ・ 600×600 ○ ステンレス製 寸法(mm) () ・ 鋼製 寸法(mm) ()</p> <p>用途区分 ・ 一般形 ○ 密閉型 ○ 結露防止形</p> <p>使用箇所による区分 ・ 屋内外用 ○ 屋内用</p> <p>仕上げ材による区分 ・ 貼物用 ・ 充填用 ○ 貼物・充填用</p> <p>目地形状による区分 ・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 黄銅製</p> <p>錠 ・ 有 ○ 無</p> <p>製造所：評価名簿による</p> <p>15 完成年月版 材質 黒御影石（文字形込共）（施工箇所： ） 寸法 H=100×W=300×t=30</p>	用途区分	目地形状による区分	○ 一般形	○ 外枠・内枠とも顔縁タイプ	・ 外枠顔縁・内枠目地タイプ	・ 外枠目地・内枠顔縁タイプ		○ 外枠・内枠とも目地タイプ	・ 密閉形	・ 内枠のみ顔縁タイプ	<p>3 路盤 (22.3.2~5)</p> <p>4 アスファルト舗装 (22.4.2~6)</p>	<p>試験</p> <p>六価クロム溶出試験 ・ 行う（配合設計段階 検体 施工後 検体） ・ 行わない</p> <p>路床土の支持力比（CBR）試験（JIS A 1211による） ・ 行う（目標CBR： ） ・ 行わない</p> <p>路床締固め度の試験 ・ 行う（ ・ 3ヶ所 ・ ） ・ 行わない</p> <p>現場CBR試験 ・ 行う（目標CBR： ） ・ 行わない</p> <p>砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路床仕上面及び高さの測定は500m²ごと及びその端数につき1箇所</p> <p>材料等</p> <p>路盤の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>路盤の厚さ（ ）</p> <p>試験</p> <p>路盤厚さ：500m²ごと及びその端数につき1箇所</p> <p>締固め試験：1000m²以下3箇所、1000m²以上さらに1000m²ごと及びその端数につき1箇所加算する。</p> <p>材料等</p> <p>舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>厚さ（ ）</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 表22.4.4 ・ 密粒度777μm混合物(13) ・ 細粒度777μm混合物(13)</p> <p>試験</p> <p>平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認</p> <p>アスファルトコアの採取切取試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>供試体は2000m²以下ごとに3個及びその端数ごとに1個採取すること。</p> <p>採取位置は監督職員との協議による。</p> <p>締固め度は、現場密度が基準密度（3個の平均値）の94%以上とする。</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>材料等</p> <p>舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ○ 図示による</p> <p>厚さ ・ 70mm（歩行者用通路）</p> <table border="1" data-bbox="1246 819 1647 924"> <tr> <th>種類</th> <th>Fc</th> <th>スランプ</th> <th>粗骨材</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注入目地材料 種類 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ ・ 表22.5.2</p> <p>コンクリート版の目地 種類 ・ 突合せ目地 ・ 収縮目地 ・ 表22.5.3 間隔 ・ 3m ・ 4m ・ 5m ・ 図示 深さ 車両及び駐車場は40mm、歩行者用通路は30mmとする。</p> <p>試験</p> <p>平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認</p> <p>コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>測定箇所数は500m²ごと及びその端数につき1箇所</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>7 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.8.2~3) 材料等 ・ コンクリート平板 ・ インターロッキングブロック</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、寸法、舗装の構成等は図示による。</p> <p>9 砂利敷き (22.9.2) 種類 ・ A種（通路） ・ B種（建物周囲その他） ・ 図示 表22.9.1</p> <p>⑤ コンクリート舗装 (22.5.2~6)</p> <p>6 カラー舗装 (22.6.2~6) 舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>7 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.8.2~3) 材料等 ・ コンクリート平板 ・ インターロッキングブロック</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、寸法、舗装の構成等は図示による。</p> <p>9 砂利敷き (22.9.2) 種類 ・ A種（通路） ・ B種（建物周囲その他） ・ 図示 表22.9.1</p> <p>⑥ 既存舗装面との取合い部の処理</p> <p>11 区画線 路面表示用塗料（JIS K 5665（路面表示用塗料）による） ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</p> <p>施工方法 ・ 溶融式 ・ ベイント式（ ・ 溶剤型 ・ 水性型 ） 幅 ・ 100 ・ 150 色、形状等は図示による</p> <p>12 車止め ・ 標準詳細図（9- - ） ・ ベイント</p> <p>取付位置、固定方法は図示による。</p> <p>13 舗装版切断 切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。</p> <p>回収した排水を現場から撤出する場合は、撤出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理型産業廃棄物となることに留意すること。</p> <p>pHの測定方法（ ・ 携帯式簡易測定器 ・ ）</p> <p>処理施設、処理方法、運搬方法等は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては山口県環境生活部及び下関市環境部（下関市内のみ）の取扱いに準ずること。</p> <p>監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。</p>	種類	Fc	スランプ	粗骨材																							
用途区分	目地形状による区分																																							
○ 一般形	○ 外枠・内枠とも顔縁タイプ																																							
	・ 外枠顔縁・内枠目地タイプ																																							
	・ 外枠目地・内枠顔縁タイプ																																							
	○ 外枠・内枠とも目地タイプ																																							
・ 密閉形	・ 内枠のみ顔縁タイプ																																							
種類	Fc	スランプ	粗骨材																																					
<p>排水工事</p> <p>① 一般事項</p> <p>② 屋外雨水排水 (21.2.1~3)</p> <p>④ 街きよ、縁石及び側溝 (21.3.1~2)</p>	<p>屋外排水の系統図、勾配、配管の出入り高さ等は図示によるが、施工図にて検討し、監督職員に提出すること</p> <p>排水管用材料等 表21.2.1</p> <table border="1" data-bbox="356 745 934 871"> <tr> <th>材料の規格名称</th> <th>規格番号</th> <th>種類、記号</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・ 遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>JIS A 5372</td> <td>・ A型 ・ B型 ・ NB型 ・ NC型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>JIS K 6741</td> <td>○ VP ・ VU</td> <td></td> </tr> </table> <p>管きよの勾配は図示なき限り1/100以上とする。</p> <p>土かぶりは図示なき限り600mm以上とする。</p> <p>排水樹の種類 ○ プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ・ 浸透樹 ・) ・ 標準詳細図（ ・ 9 - - ） ○ 図示による</p> <p>樹の泥だめは図示なき限り150mm以上とする。</p> <p>樹ふたの種類（適用荷重： ） ・ 鋳鉄製 製造所：評価名簿による ○ 鋼製 ○ ステンレス製 ・ コンクリート製</p> <p>試験</p> <p>配管埋戻しに先立ち漏れがないことを確認すること。</p> <p>さらに、全ての系統完了後、通水試験を行うこと。</p> <p>・ 満水試験の実施 ・ 注水試験（浸透樹）の実施</p> <p>グレーチング</p> <table border="1" data-bbox="356 1228 934 1354"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 鋳鉄製</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>製造所</td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス製</td> <td>歩行用</td> <td></td> <td>図示</td> <td>評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>埋め戻し及び建設発生土の処理は「3. 土工事」による。</p> <p>硬質ポリ塩化ビニル管継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪 ・ 材料等（ ・ プレキャスト製品 ○ 現場打ちコンクリート ・ ） 縁石（ ・ 標準詳細図9- - による ○ 図示による） 側溝（ ・ 標準詳細図9- - による ○ 図示による） 側溝ふた（ ・ プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ○ グレーチング）</p> <p>埋め戻し及び建設発生土の処理は「3. 土工事」による。</p>	材料の規格名称	規格番号	種類、記号	呼び径	・ 遠心力鉄筋コンクリート管	JIS A 5372	・ A型 ・ B型 ・ NB型 ・ NC型		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	○ VP ・ VU		材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考	・ 鋳鉄製					・ 鋼製				製造所	○ ステンレス製	歩行用		図示	評価名簿による	・					<p>6 カラー舗装 (22.6.2~6)</p> <p>7 透水性アスファルト舗装 (22.7.2~6)</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.8.2~3)</p> <p>9 砂利敷き (22.9.2)</p> <p>⑥ 既存舗装面との取合い部の処理</p> <p>11 区画線</p> <p>12 車止め</p> <p>13 舗装版切断</p>	<p>試験</p> <p>平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認</p> <p>コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>測定箇所数は500m²ごと及びその端数につき1箇所</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>7 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.8.2~3) 材料等 ・ コンクリート平板 ・ インターロッキングブロック</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、寸法、舗装の構成等は図示による。</p> <p>9 砂利敷き (22.9.2) 種類 ・ A種（通路） ・ B種（建物周囲その他） ・ 図示 表22.9.1</p> <p>⑥ 既存舗装面との取合い部の処理</p> <p>11 区画線 路面表示用塗料（JIS K 5665（路面表示用塗料）による） ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</p> <p>施工方法 ・ 溶融式 ・ ベイント式（ ・ 溶剤型 ・ 水性型 ） 幅 ・ 100 ・ 150 色、形状等は図示による</p> <p>12 車止め ・ 標準詳細図（9- - ） ・ ベイント</p> <p>取付位置、固定方法は図示による。</p> <p>13 舗装版切断 切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。</p> <p>回収した排水を現場から撤出する場合は、撤出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理型産業廃棄物となることに留意すること。</p> <p>pHの測定方法（ ・ 携帯式簡易測定器 ・ ）</p> <p>処理施設、処理方法、運搬方法等は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては山口県環境生活部及び下関市環境部（下関市内のみ）の取扱いに準ずること。</p> <p>監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。</p>
材料の規格名称	規格番号	種類、記号	呼び径																																					
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	JIS A 5372	・ A型 ・ B型 ・ NB型 ・ NC型																																						
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	○ VP ・ VU																																						
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																																				
・ 鋳鉄製																																								
・ 鋼製				製造所																																				
○ ステンレス製	歩行用		図示	評価名簿による																																				
・																																								
<p>舗装工事</p> <p>① 一般事項</p> <p>2 路床 (22.2.2~5)</p>	<p>舗装の仕上高さ、横断勾配等は図示によるが、施工図にて検討し、監督職員に提出すること。</p> <p>横断勾配は原則2%以上とする。</p> <p>材料等</p> <p>透水性舗装に用いるフィルター層 ・ 設ける（図示による） ・ 設けない</p> <p>路床安定処理 ・ 行う（ ・ 添加材による安定処理 ・ 置換） ・ 行わない</p> <p>・ 添加材料（ ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント ・ フライアッシュセメント ・ 生石灰 ・ 消石灰）</p> <p>添加量： kg/m³</p>	<p>12 車止め</p> <p>13 舗装版切断</p>	<p>試験</p> <p>平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認</p> <p>コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>測定箇所数は500m²ごと及びその端数につき1箇所</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>7 透水性アスファルト舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、配合、施工、試験等は図示による。</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.8.2~3) 材料等 ・ コンクリート平板 ・ インターロッキングブロック</p> <p>舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による</p> <p>種類、寸法、舗装の構成等は図示による。</p> <p>9 砂利敷き (22.9.2) 種類 ・ A種（通路） ・ B種（建物周囲その他） ・ 図示 表22.9.1</p> <p>⑥ 既存舗装面との取合い部の処理</p> <p>11 区画線 路面表示用塗料（JIS K 5665（路面表示用塗料）による） ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</p> <p>施工方法 ・ 溶融式 ・ ベイント式（ ・ 溶剤型 ・ 水性型 ） 幅 ・ 100 ・ 150 色、形状等は図示による</p> <p>12 車止め ・ 標準詳細図（9- - ） ・ ベイント</p> <p>取付位置、固定方法は図示による。</p> <p>13 舗装版切断 切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。</p> <p>回収した排水を現場から撤出する場合は、撤出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理型産業廃棄物となることに留意すること。</p> <p>pHの測定方法（ ・ 携帯式簡易測定器 ・ ）</p> <p>処理施設、処理方法、運搬方法等は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては山口県環境生活部及び下関市環境部（下関市内のみ）の取扱いに準ずること。</p> <p>監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。</p>																																					

工事内容	建築	電気	空調	衛生	昇降機	備考
仮設関係						
1. 仮囲い・足場・桟橋等の架け、維持補修	○					
2. 監督事務所の架け、備品、維持補修	○					
3. 工事現場の保守要員	○					
4. 工事施工上の各種申請届出費用	○	○	○	○	○	関連工事別
5. 工事前電話・電力・上水・下水・架け使用料 (引込工事及び引込負担金、建物引渡し時までの本設電気の基本料及び使用料を含む)	○	○	○	○	○	使用工事別
6. 本設上水・下水引込工事				○		引込負担金を含む
7. 本設電力引込工事		○				引込負担金を含む
8. 電話本設引込工事		○				引込負担金を含む
9. 既存上下水道の撤去・手続				○		
10. CATV引込工事		○				
11. 工事施工に関する電波障害調査						別途
12. 工事施工に関する電波障害対策工事						別途
躯体関係						
1. 地中梁の入れ・通水管・通気管スリーブ入	○					
2. 即達の梁・壁・床貫通スリーブ及び箱入り	○	○	○	○	○	関連工事別
3. 同上・孔うめ・補修(防火区画貫通を含む)	○	○	○	○	○	関連工事別
4. 構造図による貫通補強	○					
建具関係						
1. 自動扉(2次側配線を含む)	○					
2. 同上 1次側配線及び電源		○				
3. 電気錠・セキュリティ機器用穴開け	○					
4. 同上 防災・防犯盤接続配線・配管及び電源		○				
5. 防火戸・建具・付属金物・自動閉鎖(開放)装置 作動確認スイッチ・操作スイッチ	○					
6. 同上運動制御器・電源・予備電源・検知器 上記機器間防災盤までの電気配管配線		○				
7. 防火区画・排煙区画貫通部処理	○	○	○	○	○	関連工事別
仕上関係						
1. 石・タイル・金属・ガラス・プラスチックの穴開け・補修	○					
2. 防水の補修	○					
3. 天井切込、下地補強	○					
4. 天井付器具の取付用下地・補強	○					
5. 点検口(床・壁・天井)	○					マシンハッチを含む。
6. 電気室・機械室内の吸音、遮音、断熱、防水	○					
7. マンホール	○					点検タラップを含む。
8. 軽鉄天井 壁下地	○					・補強を要するボードの切り込み及び下地の補強 ・補強を要しないボードの切り込み ・開口部の重出し
9. つりボルト及びインサート		○	○	○		
10. サイン						別途
11. ブラインドボックス・カーテンボックス・カーテンレール	○					
12. ブラインド・カーテン・暗幕						別途
電気設備関係						
1. 一般機器・基礎	○					
2. 同上 防振工事		○				
空調設備関係						
1. 一般機器 基礎	○					
2. 同上 防振工事			○			
3. 空調用室内リモコンスイッチの取付				○		
4. 監視盤組込の空調用自動制御用機器及び計器類の取付				○		
5. 機器類の遠方操作用電気工事				○		
6. 機器類の故障警報又はランプ用電気工事				○		
7. 換気扇 取付工事 ㊦				○		
8. 同上 枠工事	○					
9. 送排風機 取付工事 ㊦				○		
10. 同上 基礎工事	○					
11. ㊦電源		○				
12. ベントキャップ				○		

工事内容	建築	電気	空調	衛生	昇降機	備考
衛生設備関係						
1. 一般機器 基礎	○					
2. 同上 防振工事				○		
3. フロートスイッチ電極棒・レベルスイッチの取付				○		
4. ルーフドレイン	○					
5. 堅種(乱造)	○					
6. 雨水排水管(乱以降流末会所迄)	○					
7. 地下2重壁—水抜パイプ—						
8. 大小便器及び給排水管接続				○		
9. 給排水用動力(1次側配管・配線)		○				
10. 同上(2次側配管・配線)		○				付属トグ材は衛生工事
11. 機器の故障警報・ランプ用工事				○		
12. 消火栓給動用押ボタン取付—						
13. インバート汚水会所及び連絡				○		
14. 配管受台、取付用補強材				○		
15. トイレ内のペーパーホルダー・タオル掛け・手摺・フック				○		
16. 消火器及び表示	○					
17. 消火器ボックス	○					
18. 洗面タオル掛け	○					
19. 防水パン						
20. E-Vビッド排水(地下ビッド放流ホド)						
21. 地下ビッド放流						
22. 圧送ポンプ本体						
23. 圧送ポンプの制御盤						
24. 同上用一次側電源供給						
25. 制御盤以降二次側電源ケーブル・制御用配線工事を含む一切						付属トグ材は衛生工事
26. 給水用電磁弁本体						
27. シャワーユニット						・シャワーユニット ・ダクト工事 ・一次側電気配管配線 ・給排水管接続
28. キッチンユニット						・システムキッチン・レンジフード・吊戸棚 ・取付下地の造作工事 ・コーキング工事 ・壁・床・天井との取合い工事 ・キッチンパネル取付用下地の造作取付工事 加熱機器周りは火災予防条例に基づく不燃ボード下地) ・給水・給湯配管工事及び水栓金具との接続工事 ・排水配管及び排水トラップとの接続工事 ・ダクト工事及びレンジフード接続工事 ・レンジフード用電源及びコンセント取付工事 ・照明器具電源 ・クッキングヒーター用電源及びコンセント取付工事
29. 洗面化粧台	○					・洗面化粧台(水栓共)、タオルかけ、鏡 ・給水、給湯、排水、配管接続工事 ・止水栓取付接続工事 ・排水管アダプター、及び取付接続工事 ・100V用電源 ・壁、天井との取合い工事 ・シーリングプレート、及び取付工事 ・取付下地の造作工事 ・コーキング工事
30. ベビーベット・ベビーチェア					○	
31. パントリー	○					
32. 鏡	○					
33. おむつ交換台				○		
34. 多用途手すり(L型)				○		
35. 小便器手すり				○		
36. 洗面器手すり				○		
37. コンパクトキッチン	○					
38. ハンドドライヤー				○		

工事内容	建築	電気	空調	衛生	昇降機	備考
エレベーター設備関係						
1. 各階出入口壁廻りのインジケータ穴開け・補強	○					
2. 各階出入口壁廻りの押印穴開け・補強					○	
3. ビッド点検用タラップ					○	
4. ビッド内防水	○					
5. ビッド内点検用コンセント		○				
6. 各階出入口 三方枠・基板					○	枠枠・継ぎ取合いは図示
7. 非常ベル・インターホンの昇降路外 配管		○				
8. 同上 配線					○	
9. カゴ内 放送設備・ITV設備					○	
10. カゴ内から放送アンプ・ITV監視盤迄の配管・配線		○				
11. 監視盤 パネル及び表示ランプ・スイッチ					○	
12. 同上 電源		○				
13. 同上 平常・非常電源識別リレー接点の信号線引込					○	
14. 機械室の床開口部及び補強	○					
15. 機械室の床配管後のシンダーコンクリート打ち及び床仕上げ	○					
16. 採光用窓、出入口ドア、ガラリ窓、換気扇枠の製作及び取付	○					
17. 機械室天井フックの製作及び取付	○					
18. エレベーター機械室躯体関係の遮音、防音、防振工事	○					
排水工事						
1. 屋内雨水排水工事	○					
2. 敷地内雨水排水工事	○					建築物に付属する部分に限る ※外構別途
3. 敷地外既設側溝への垂掛け						別途
4. 敷地内汚水排水工事					○	外構別途
5. 屋内汚水排水工事					○	外構別途
防災関係						
1. 防火戸の煙感知器連動自閉装置		○				
2. 防火—防煙シャッターの自閉装置—					○	
3. 排煙口 防火ダンパーの自動(開放・閉鎖)装置及び手動開放装置					○	
4. 煙感知器及びリレーまでの配管配線		○				
5. 固定防煙垂壁	○					
6. 消火栓箱(ホース、ノズル)						
7. 消火栓箱の起動押印、表示灯、発信機						
8. 同上の電気配管・配線						
9. 自動火災報知設備		○				
10. 同上の電気配管・配線		○				
11. 消火器						別途工事(備品)
12. 消火器ボックス	○					
その他						
注意事項						
・工事区分表に示された区分は、設計図に記載された本工事に関連するものについてのみ適用する。						
・本工事に含まない別途工事に該当する項目は、備考欄に「別途工事」と明記する。						
・追記項目は、連番にて、記入する。						
・該当しない項目の記述は参考記載とする。						
・本表と設計図との相違は設計図を優先する。						



敷地
366916m²

敷地境界線

5m延焼線
既存3 トイレB

5m延焼線
既存2 トイレA

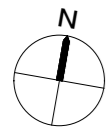
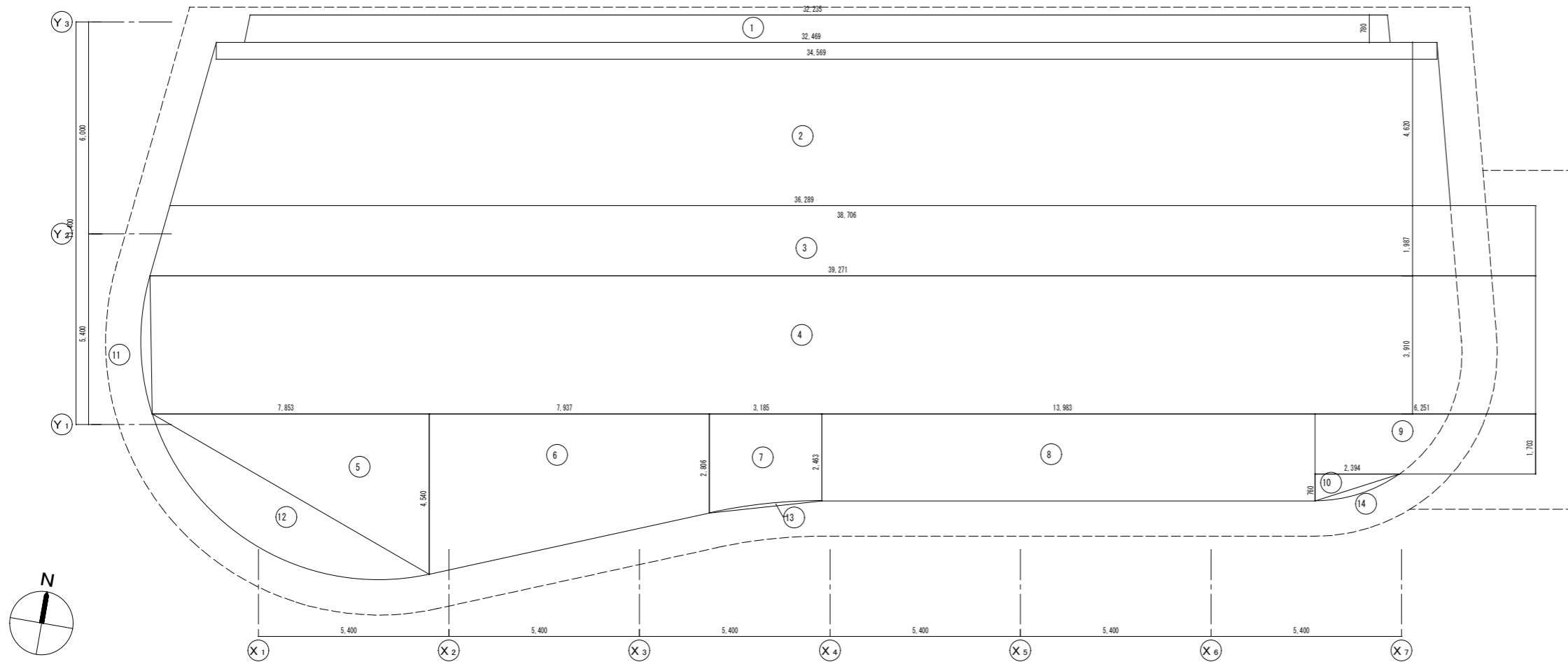
既存1 立体駐車場

新築 屋内展望施設

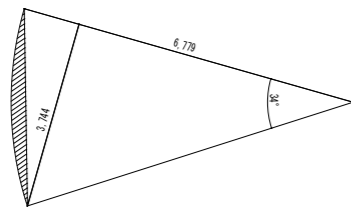
道に通じる通路4000
※詳細は配置図参照

最高高さ/軒高	地盤レベル/平均Q	耐火種別
既存1 立体駐車場 17.01M/15.21M	230.20/Q+0	耐火
既存2 トイレA 3.5M/2.5M	260.00(図面上)/Q+0	その他
既存3 トイレB 3M/3M	260.00(図面上)/Q+0	その他

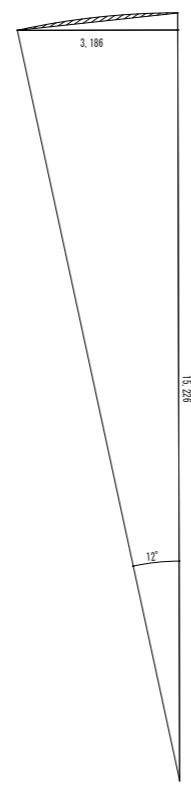
※下関市建築指導課より、敷地求積区の代わりと同封する「下建公委 第 6-4 号」計画通知による敷地図を根拠とする。



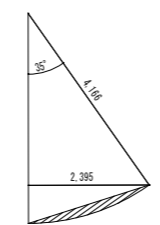
⑪ (円弧範囲) - (三角形範囲)



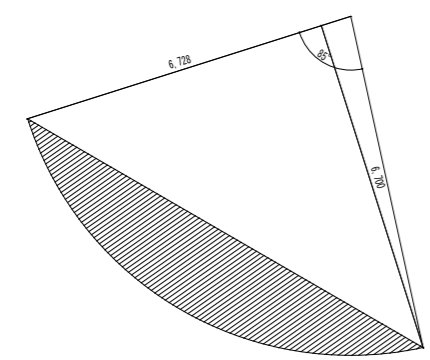
⑬ (円弧範囲) - (三角形範囲)



⑭ (円弧範囲) - (三角形範囲)



⑫ (円弧範囲) - (三角形範囲)



建築面積求積図

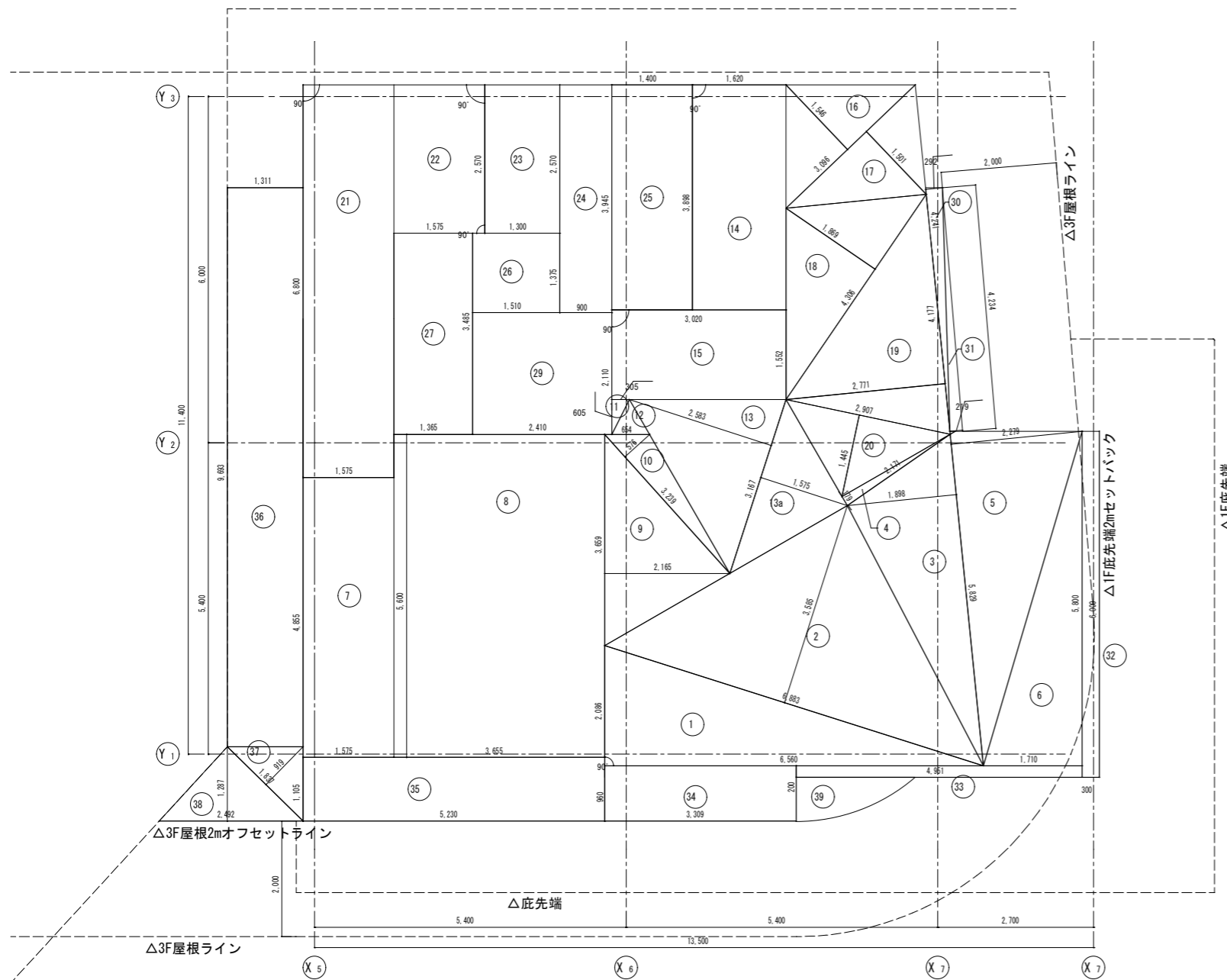
< 建築面積算定表 >

No.	計算式 (m)	建築面積 (m ²)	備考
①	$(32.235 + 32.469) \times 0.78 \times 0.5 = 25.23456$	25.23456	
②	$(34.594 + 36.289) \times 4.62 \times 0.5 = 163.73973$	163.73973	
③	$(38.706 + 39.271) \times 1.987 \times 0.5 = 77.47015$	77.4701495	
④	$39.271 \times 3.91 = 153.54961$	153.54961	
⑤	$7.853 \times 4.54 \times 0.5 = 17.82631$	17.82631	
⑥	$(4.54 + 2.806) \times 7.937 \times 0.5 = 29.152601$	29.152601	
⑦	$(2.806 + 2.463) \times 3.185 \times 0.5 = 8.390825$	8.390825	
⑧	$13.983 \times 2.463 = 34.440129$	34.440129	
⑨	$6.251 \times 1.703 = 10.645453$	10.645453	
⑩	$2.394 \times 0.76 \times 0.5 = 0.90972$	0.90972	
⑪	*円弧面積	0.9447763	0.944776289
⑫	*円弧面積	11.037891	11.03789119
⑬	*円弧面積	0.022255	0.022255002 ⑦から減じる面積
⑭	*円弧面積	0.3121634	0.312163447
建築面積合計		533.63	*小数点 2以下切捨て

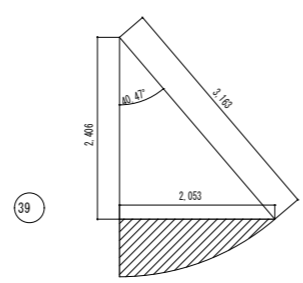
< 円弧部分面積計算 >

No.	円弧半径	円弧角度	計算式	結果
⑪	6.779	34	$6.779 \times 3.744 \times 0.5$	0.94477629
⑫	6.728	85.000	$6.728 \times 6.700 \times 0.5$	11.0378912
⑬	15.226	12.000	$15.226 \times 3.186 \times 0.5$	0.022255
⑭	4.166	35	$4.166 \times 2.395 \times 0.5$	0.31216345

計算式: 円弧半径 x 円弧半径 x 3.14159265 x 円弧角度 / 360



1階平面図



<床面積算定表>1階

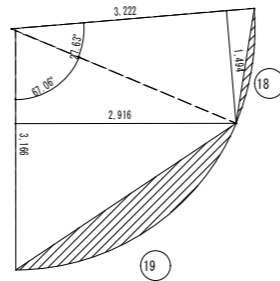
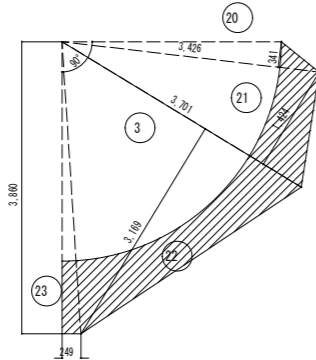
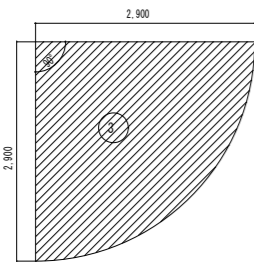
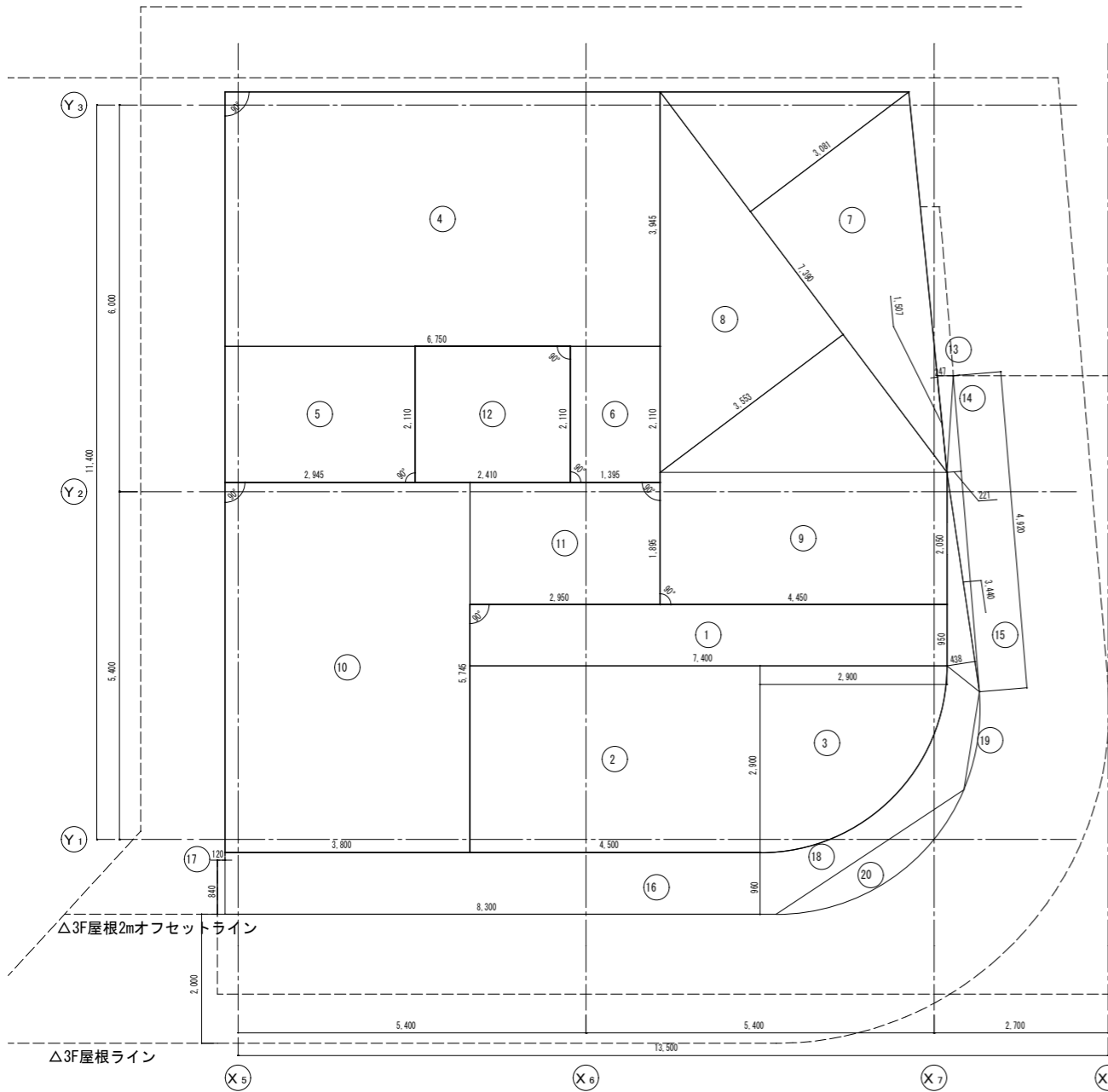
室名	No.	計算式(m)	各室床面積(m ²)	備考
駅控室	①	6.500 x 2.096 x 0.5 =	6.842	36.507
	②	6.883 x 3.585 x 0.5 =	12.338	
	③	5.829 x 1.898 x 0.5 =	5.532	
	④	2.171 x 0.179 x 0.5 =	0.194	
	⑤	5.829 x 2.276 x 0.5 =	6.642	
	⑥	1.710 x 5.800 x 0.5 =	4.959	
待合ロビー	⑦	1.575 x 4.855 =	7.647	39.886
	⑧	3.655 x 5.000 =	20.488	
	⑨	3.659 x 2.545 x 0.5 =	4.656	
	⑩	2.425 x 0.605 x 0.5 =	0.734	
	⑪	2.845 x 0.605 x 0.5 =	0.861	
	⑫	5.194 x 2.064 x 0.5 =	5.300	
	⑬	2.215 x 0.145 x 0.5 =	0.161	
倉庫(1)	⑭	1.620 x 3.896 =	6.315	15.719
	⑮	3.020 x 1.552 =	4.687	
	⑯	3.096 x 1.546 x 0.5 =	2.393	
	⑰	3.096 x 1.501 x 0.5 =	2.324	
階段室	⑱	4.306 x 1.869 x 0.5 =	4.024	11.911
	⑲	4.177 x 2.771 x 0.5 =	5.787	
	⑳	2.907 x 1.445 x 0.5 =	2.100	
男子便所(1)	㉑	1.575 x 6.800 =	10.710	14.708
	㉒	1.575 x 2.570 =	4.048	
女子便所(1)	㉓	1.300 x 2.570 =	3.341	14.425
	㉔	0.900 x 3.945 =	3.551	
	㉕	1.400 x 3.898 =	5.457	
	㉖	1.510 x 1.375 =	2.076	
	㉗	1.365 x 3.485 =	4.757	
廊下(1)	㉘			4.757
	㉙	2.410 x 2.110 =	5.085	
EV			5.085	
アプローチ	㉚	0.292 x 4.241 x 0.5 =	0.619	29.048
	㉛	0.219 x 4.234 x 0.5 =	0.464	
	㉜	6.000 x 0.300 =	1.800	
	㉝	0.200 x 4.951 =	0.990	
	㉞	0.900 x 3.309 =	3.177	
	㉟	1.105 x 5.230 =	5.779	
	㊱	9.683 x 1.311 =	12.708	
	㊲	1.837 x 0.919 x 0.5 =	0.844	
	㊳	2.492 x 1.287 x 0.5 =	1.604	
	㊴	*F形部分面積計算		
合計			172.095	
1階 床面積合計(a) ...			172.09	*小数点 2以下四捨入

<F形部分面積計算>

室名	NO.	F形半径	F形角度	計算式	三角形部分面積
庇	⑳	3.163	40.470	$\frac{1}{2} \times 2.406 \times 2.053 \times \sin(40.47)$	1.064
計算式: ... F形半径 x F形半径 x sin(F形角度) / 200					

<延べ床面積>

階	延べ床面積(m ²)
1階 事務所	172.09
2階 事務所	142.46
3階 事務所+飲食店	455.15
1~3階 延べ床面積合計	769.70



<床面積算定表>2階

室名	Nb	計算式 (m)	各室床面積 (㎡)	備考		
電気室	①	7.400 × 0.950 =	7.03	26.6851955		
	②	4.500 × 2.900 =	13.05			
	③	* 戸別部分面積計算	6.605			
倉庫(2)	④	6.750 × 3.945 =	26.62875	35.78615		
	⑤	2.945 × 2.110 =	6.21995			
	⑥	1.395 × 2.110 =	2.94345			
	⑦	7.390 × 3.081 × 0.5 =	11.384295			
	⑧	7.390 × 3.553 × 0.5 =	13.128335			
階段室	⑨	4.450 × 2.050 =	9.1225	33.63513		
	⑩	3.800 × 5.745 =	21.831			
	⑪	2.950 × 1.895 =	5.59025			
廊下(2)	⑫	2.410 × 2.110 =	5.0851	27.42125		
	⑬	0.247 × 1.507 × 0.5 =	0.186145			
EV	⑭	0.221 × 4.920 × 0.5 =	0.54366	13.85690411		
	⑮	0.438 × 3.440 × 0.5 =	0.75336			
	⑯	8.300 × 0.960 =	7.968			
	⑰	0.120 × 0.840 =	0.1008			
	⑱	* 戸別部分面積計算	0.0962725			
	⑲	* 戸別部分面積計算	1.2498462			
	⑳	3.426 × 0.341 × 0.5 =	0.584133			
	㉑	3.701 × 1.424 × 0.5 =	2.635112			
	㉒	3.701 × 3.169 × 0.5 =	5.8642345			
	㉓	3.860 × 0.249 × 0.5 =	0.48057			
	㉔	* 戸別部分面積計算	6.6051985			
	2階 床面積合計(b) ...				142.46	*小数点 2以下切捨て

<戸別部分面積計算>

室名	NO	戸別半径	戸別角度	計算式	備考
座	③	2.900	90.000	6.605	= 6.6051955
	⑱	3.222	27.630	2.503	= (3.222 × 1.494 × 0.5) = 0.0962725
屋根	⑱	3.166	67.060	5.866	= (3.166 × 2.916 × 0.5) = 1.24984615
	計算式: ... 戸別半径 × 戸別半径 ×3.14159265 × 戸別角度 /360				

室名	Nb	計算式 (m)	各室床面積 (㎡)	備考
展望デッキ	㉔	2.953 × 0.221 × 0.5 =	0.3263065	37.55660381
	㉕	1.440 × 0.254 × 0.5 =	0.18288	
	㉖a	3.334 × 0.150 × 0.5 =	0.25005	
	㉖b	2.014 × 0.378 × 0.5 =	0.380646	
	㉖c	1.440 × 0.644 × 0.5 =	0.46368	
	㉖d	4.142 × 0.414 × 0.5 =	0.857394	
	㉖e	2.969 × 0.300 × 0.5 =	0.44535	
	㉖f	1.440 × 0.986 × 0.5 =	0.70992	
	㉖g	2.093 × 0.618 × 0.5 =	0.646737	
	㉖h	4.142 × 0.647 × 0.5 =	1.339937	
	㉖i	2.246 × 0.609 × 0.5 =	0.683907	
	㉖j	1.440 × 1.041 × 0.5 =	0.74952	
	㉖k	7.970 × 0.885 × 0.5 =	3.526725	
	㉖l	8.126 × 0.891 × 0.5 =	3.620133	
	㉖m	1.350 × 0.881 × 0.5 =	0.594675	
	㉖n	2.574 × 0.501 × 0.5 =	0.644787	
	㉖o	3.833 × 0.398 × 0.5 =	0.762767	
	㉖p	3.833 × 0.740 × 0.5 =	1.41821	
	㉖q	0.882 × 0.227 × 0.5 =	0.101242	
	㉖r	13.700 × 0.860 =	11.782	
	㉖s	0.860 × 0.049 × 0.5 =	0.02107	
	㉖t	1.811 × 0.672 × 0.5 =	0.608496	
	㉖u	3.498 × 0.263 × 0.5 =	0.459987	
㉖v	1.726 × 0.484 × 0.5 =	0.417692		
㉖w	1.539 × 0.577 × 0.5 =	0.4440015		
㉖x	1.462 × 0.422 × 0.5 =	0.308482		
㉖y	3.350 × 0.388 × 0.5 =	0.6499		
㉖z	3.160 × 0.127 × 0.5 =	0.20066		
㉗	4.187 × 0.229 × 0.5 =	0.4794115		
㉘	4.187 × 0.301 × 0.5 =	0.6301435		
㉙	* 戸別部分面積計算	0.546		
㉚	* 戸別部分面積計算	1.076		
㉛	* 戸別部分面積計算	1.076		
㉜	* 戸別部分面積計算	0.195		
㉝	* 戸別部分面積計算	0.096		
㉞	* 戸別部分面積計算	1.250		
3階展望デッキ 床面積合計(c) ...			37.55660381	*小数点 2以下切捨て

<戸別部分面積計算>

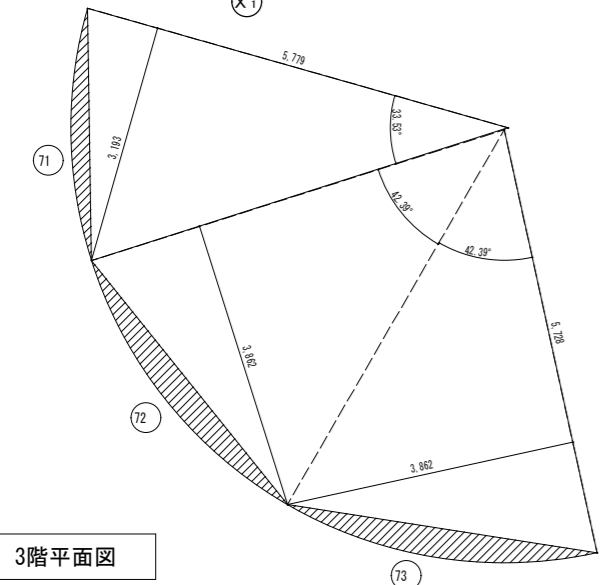
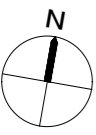
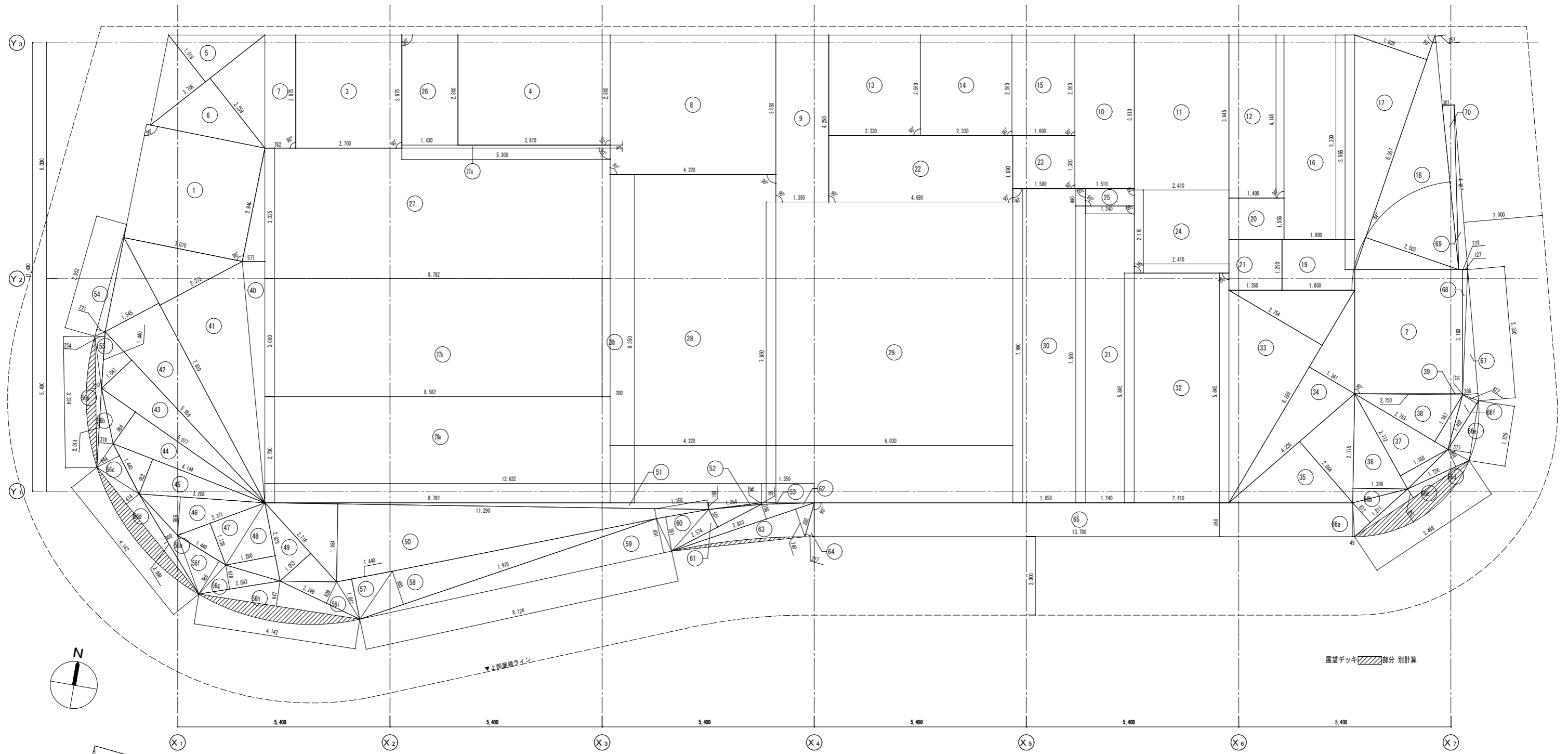
室名	NO	戸別半径	戸別角度	計算式	備考
3階展望デッキ	㉙	5.779	33.530	9.772	= (5.779 × 3.193 × 0.5) = 0.54599075
	㉚	5.728	42.390	12.137	= (5.728 × 3.862 × 0.5) = 1.07638444
	㉛	5.728	42.390	12.137	= (5.728 × 3.862 × 0.5) = 1.07638444
	㉜	16.226	12.080	27.755	= (16.226 × 3.397 × 0.5) = 0.19488448
	㉝	3.222	27.630	2.503	= (3.222 × 1.494 × 0.5) = 0.0962725
	㉞	3.166	67.060	5.866	= (3.166 × 2.916 × 0.5) = 1.24984615
計算式: ... 戸別半径 × 戸別半径 ×3.14159265 × 戸別角度 /360					

<床面積算定表>3階

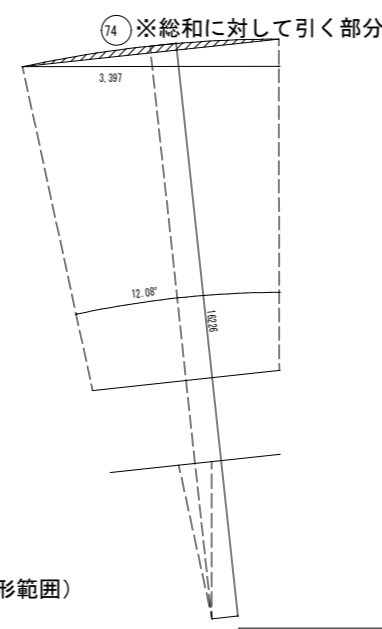
室名	Nb	計算式 (m)	各室床面積 (㎡)	備考
展望室(1)	①	3.070 × 2.940 =	9.0258	9.0258
	②	2.750 × 3.160 =	8.69	
展望室(2)	③	2.700 × 2.875 =	7.7625	7.7625
	④	3.870 × 2.800 =	10.836	
倉庫(3)	⑤	3.706 × 1.518 × 0.5 =	2.812854	9.247031
	⑥	3.706 × 2.259 × 0.5 =	4.185927	
	⑦	0.782 × 2.875 =	2.24825	
	⑧	4.220 × 3.550 =	14.981	
	⑨	1.250 × 4.250 =	5.3125	
男子便所(2)	⑩	1.510 × 3.910 =	5.904	21.21455
	⑪	2.410 × 3.945 =	9.50745	
	⑫	1.400 × 4.145 =	5.803	
女子便所(2)	⑬	2.330 × 2.560 =	5.9648	5.9648
	⑭	2.330 × 2.560 =	5.9648	
多機能便所(1)	⑮	1.800 × 2.560 =	4.096	4.096
	⑯	1.800 × 2.560 =	4.096	
多機能便所(2)	⑰	1.800 × 5.200 =	9.36	25.754347
	⑱	6.307 × 1.939 × 0.5 =	6.1146365	
階段室	⑲	6.307 × 2.503 × 0.5 =	7.8932105	7.8932105
	⑳	1.850 × 1.290 =	2.3885	
倉庫(4)	㉑	1.400 × 1.055 =	1.477	3.2185
	㉒	1.350 × 1.290 =	1.7415	
廊下(3)	㉓	4.680 × 1.690 =	7.9092	10.0422
	㉔	1.580 × 1.350 =	2.133	
EV	㉕	2.410 × 2.110 =	5.0851	5.0851
	㉖	1.240 × 0.440 =	0.5456	
カフエコーナー	㉗	1.430 × 2.800 =	4.004	59.34765
	㉘	9.782 × 3.325 =	29.20015	
展望室	㉙	5.300 × 0.075 =	0.3975	210.0803985
	㉚	8.582 × 3.000 =	25.746	
展望室	㉛	4.200 × 8.350 =	35.237	210.0803985
	㉜	8.782 × 2.700 =	23.7114	
展望室	㉝	3.000 × 0.200 =	0.6	46.1295
	㉞	6.030 × 7.650 =	46.1295	
展望室	㉟	1.850 × 7.990 =	14.7815	14.7815
	㊱	1.240 × 7.550 =	9.362	
展望室	㊲	2.410 × 5.945 =	14.08645	14.08645
	㊳	6.286 × 2.754 × 0.5 =	8.65822	
展望室	㊴	6.286 × 1.341 × 0.5 =	4.214763	4.214763
	㊵	4.236 × 2.064 × 0.5 =	4.371552	
展望室	㊶	2.775 × 1.389 × 0.5 =	1.9272375	1.9272375
	㊷	2.772 × 1.388 × 0.5 =	1.923768	
展望室	㊸	2.783 × 1.387 × 0.5 =	1.9161405	1.9161405
	㊹	2.750 × 0.025 × 0.5 =	0.034375	
展望室	㊺	9.025 × 0.577 × 0.5 =	2.6037125	2.6037125
	㊻	7.639 × 2.375 × 0.5 =	9.0713125	
展望室	㊼	7.639 × 1.545 × 0.5 =	5.9011275	5.9011275
	㊽	5.956 × 1.047 × 0.5 =	3.117966	
展望室	㊾	5.077 × 0.984 × 0.5 =	2.497884	2.497884
	㊿	4.144 × 0.952 × 0.5 =	1.972544	
展望室	㉑	3.208 × 0.905 × 0.5 =	1.57994	1.57994
	㉒	2.371 × 1.138 × 0.5 =	1.349099	
展望室	㉓	2.028 × 1.280 × 0.5 =	1.29792	1.29792
	㉔	2.716 × 1.053 × 0.5 =	1.429974	
展望室	㉕	11.290 × 1.984 × 0.5 =	11.19968	11.19968
	㉖	12.632 × 0.188 × 0.5 =	1.061088	
展望室	㉗	1.354 × 0.034 × 0.5 =	0.023018	0.023018
	㉘	1.350 × 0.035 × 0.5 =	0.023825	
展望デッキ * 別冊計算			37.55660381	
3階 床面積合計(c) ...			455.15	*小数点 2以下切捨て

<戸別部分面積計算>

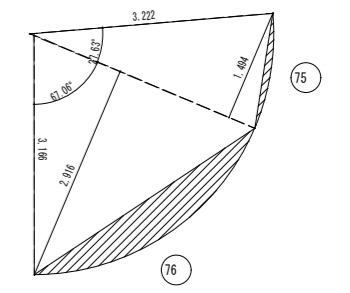
室名	NO	戸別半径	戸別角度	計算式	備考
3階展望デッキ	㉙	5.779	33.530	9.772	= (5.779 × 3.193 × 0.5) = 0.54599075
	㉚	5.728	42.390	12.137	= (5.728 × 3.862 × 0.5) = 1.07638444
	㉛	5.728	42.390	12.137	= (5.728 × 3.862 × 0.5) = 1.07638444
	㉜	16.226	12.080	27.755	= (16.226 × 3.397 × 0.5) = 0.19488448
	㉝	3.222	27.630	2.503	= (3.222 × 1.494 × 0.5) = 0.0962725
	㉞	3.166	67.060	5.866	= (3.166 × 2.916 × 0.5) = 1.24984615
計算式: ... 戸別半径 × 戸別半径 ×3.14159265 × 戸別角度 /360					



(円弧範囲) - (三角形範囲)

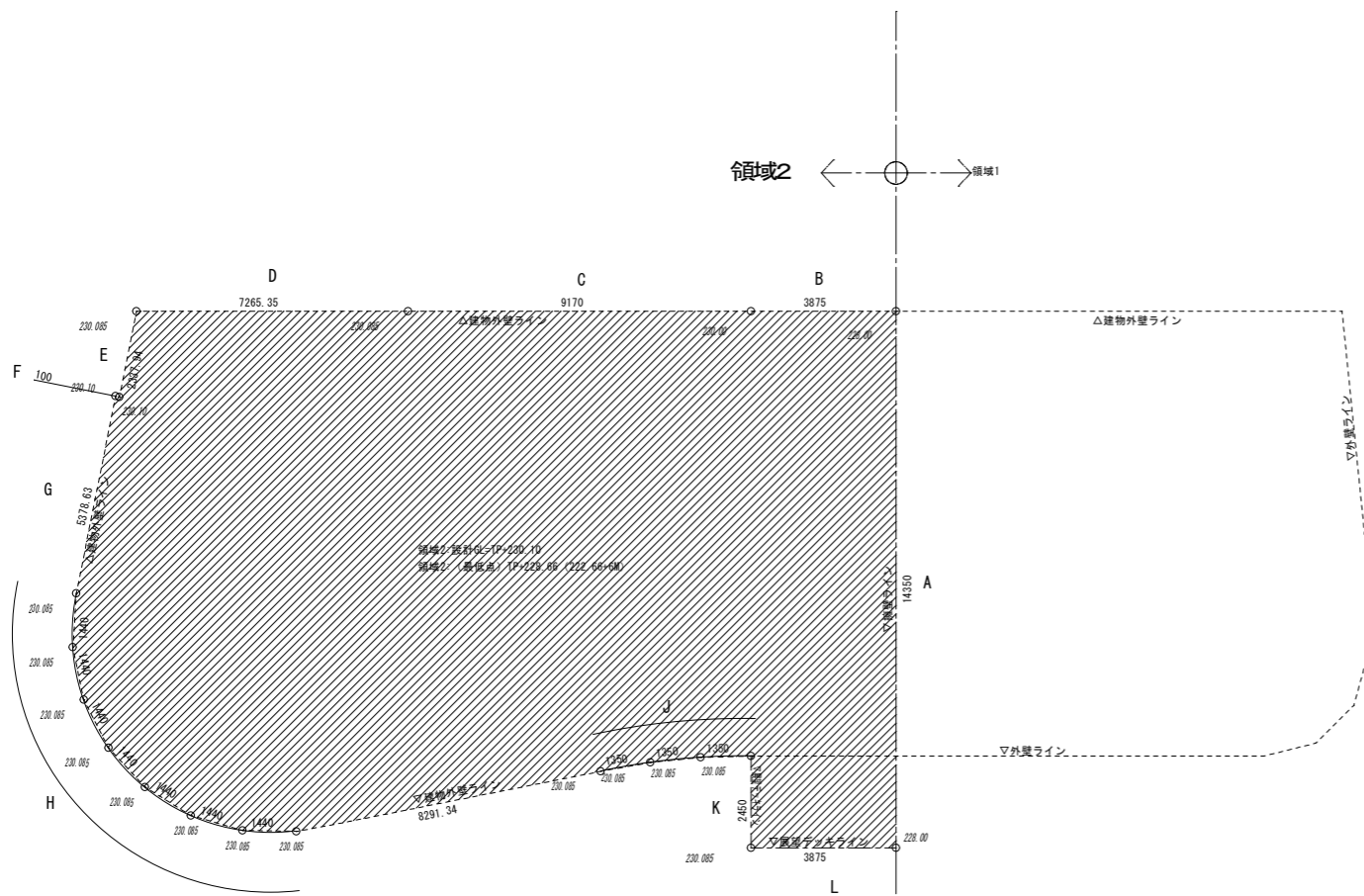


(円弧範囲) - (三角形範囲)



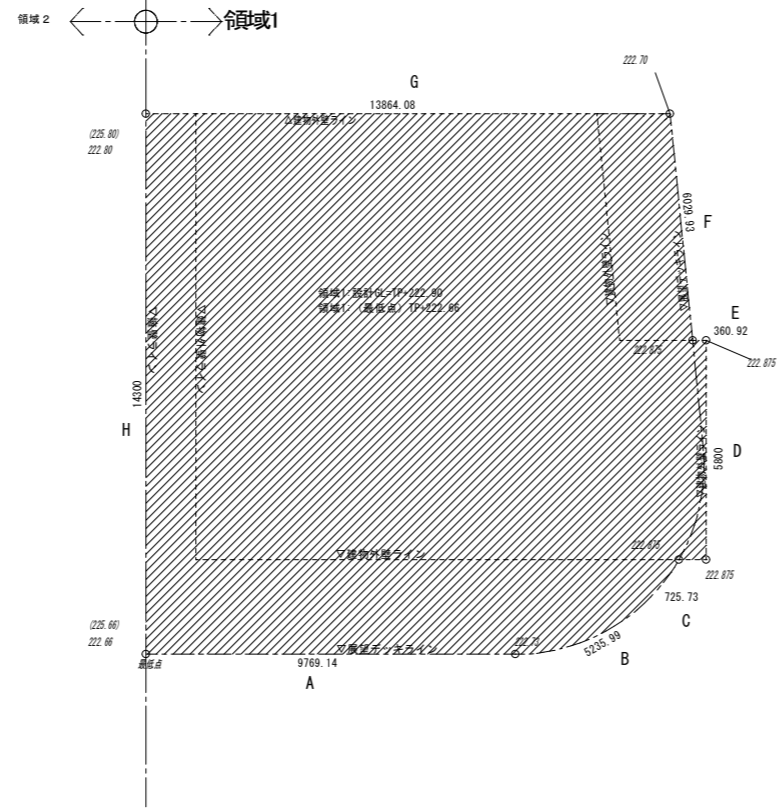
(円弧範囲) - (三角形範囲)

PROJECT TITLE (仮称) 火の山屋内展望施設新築建築主体工事 HOKU KAMA & KAZUO ARCH 隈研習建築設計事務所	一級建築士事務所 東京都建設局登録第32752号 一級建築士登録第359055号 坂本英史	DRAWING TITLE 床面積精算図(3) SCALE 1/100	DRAWING NO. A014
---	--	--	---------------------



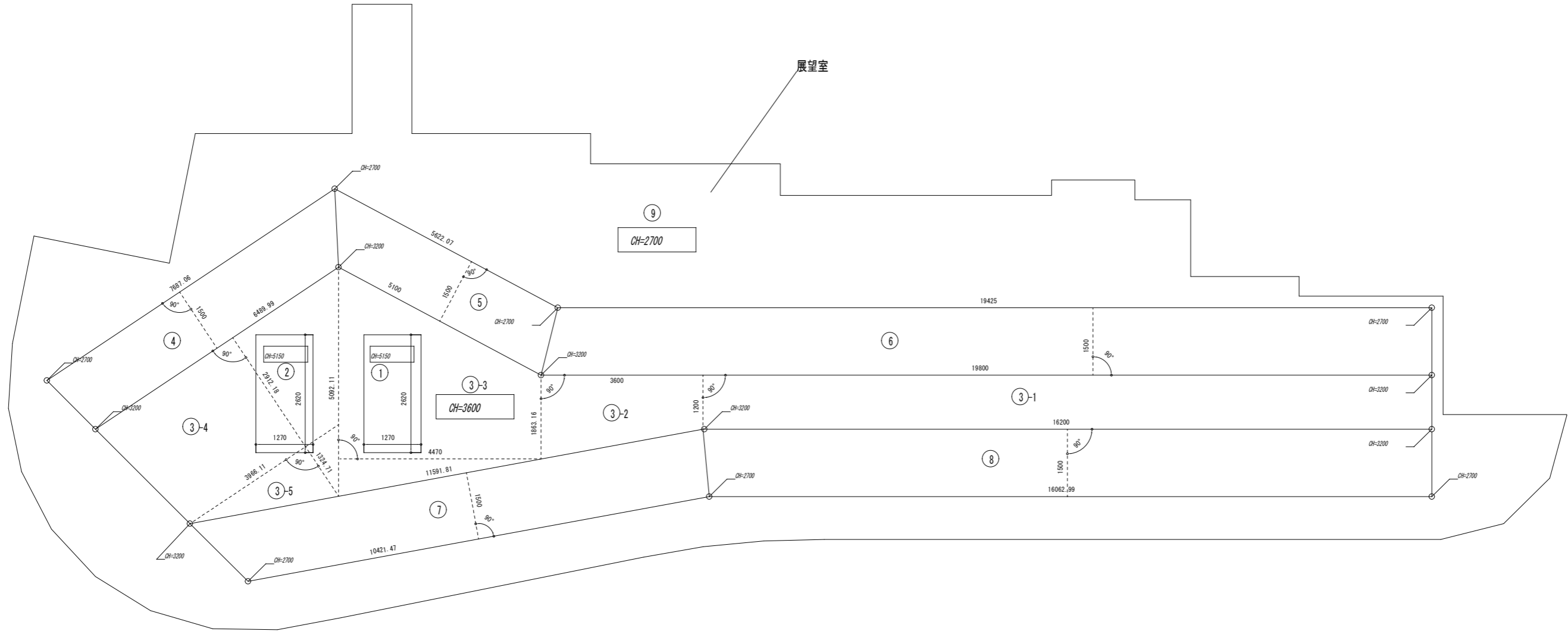
領域2 ※最低点= 228.66

符号	地盤レベル		水平距離	面積(上底+下底) × 高さ / 2
	始点高さ (m)	※最低点からの高さ 終点高さ (m)		
A	-0.66	-0.66	14.35	-9.47
B	-0.66	1.34	3.875	1.317
C	1.34	1.425	9.17	12.677
D	1.425	1.425	7.285	10.352
E	1.425	1.44	2.337	3.347
F	1.44	1.44	0.1	0.144
G	1.44	1.425	5.378	7.703
H	1.425	1.425	10.08	14.364
I	1.425	1.425	8.291	11.814
J	1.425	1.425	4.05	5.771
K	1.425	1.425	2.45	3.491
L	1.425	-0.66	3.875	1.482
合計			71.221	62.992
$\alpha = \text{面積} (m^2) / \text{水平距離} (m) =$				0.884
平均地盤面(平均 G.L.) = $\alpha + \text{最低点} =$				229.544



領域1 ※最低点= 222.66

符号	地盤レベル		水平距離	面積(上底+下底) × 高さ / 2
	始点高さ (m)	※最低点からの高さ 終点高さ (m)		
A	0	0.07	9.769	0.341
B	0.07	0.215	5.225	0.745
C	0.215	0.215	0.725	0.155
D	0.215	0.215	5.8	1.247
E	0.215	0.215	0.36	0.077
F	0.215	0.04	6.029	0.768
G	0.04	0.14	13.864	1.247
H	3.14	4	14.3	51.051
合計			56.082	55.631
$\alpha = \text{面積} (m^2) / \text{水平距離} (m) =$				0.991
平均地盤面(平均 G.L.) = $\alpha + \text{最低点} =$				223.651



平均天井高さ

展望室 α=面積÷床面積×100%より

268.846 m²

NO	FL	容積計算(面積 × CH)		※1 面積 = (上底+下底) × 高さ ÷2 ※2 勾配天井の場合、4点のCH合計 ÷4とする				容積		
		上底	下底	高さ	面積	CH 1	CH 2		CH 3	CH 4
①	0	1.270	1.270	2.620	3.327	5.15			17.136	
②	0	1.270	1.270	2.620	3.327	5.15			17.136	
③-1	0	16.200	16.200	1.200	19.44				196.004	
-2	0	1.200	1.863	3.600	5.513					
-3	0	1.863	5.092	4.470	15.544					
-4	0	6.489	3.966	2.912	15.222					
-5	0	3.966		1.324	2.625					
1~5					58.344					
③		1~5 - ① - ② =			51.69	3.6				
④	0	6.489	7.687	1.500	10.632	3.2	3.2	2.7	2.7	31.964
⑤	0	5.100	5.622	1.500	8.041	3.2	3.2	2.7	2.7	23.722
⑥	0	19.425	19.800	1.500	29.418	3.2	3.2	2.7	2.7	86.785
⑦	0	11.591	10.421	1.500	16.509	3.2	3.2	2.7	2.7	48.701
⑧	0	16.200	16.062	1.500	24.196	3.2	3.2	2.7	2.7	71.379
β		① ~ ⑧ の面積合計			147.14					
⑨	0	α-β=			121.706	2.7				328.002
θ=合計										810.9132
平均天井高さ	=	θ/α								3.016

計画建物

部位	箇所	下地	仕上げ	備考
屋根	3F	ゴムアスルーフィングt1.2 Z型金物：ガルバリウム鋼板生地t1.28455 フェノールフォームt30	カン立平葺ガルバ鋼板t0.5	軒種：同材 立種：アルミバンドレスφ114
	1F	RC補修	アスファルト防水層	立上り：防水層巻上
外壁	全般	RC補修	サンドセラミック調裝飾仕上塗材	RC目地シール処理 (PU-2)
断熱材	ビッド上スラブ	RC	押出法ポリスチレンフォームt=30	
	外壁	RC	ウレタン系現場発泡不燃断熱材 t25	
開口部	外壁		アルミ高耐侯電着 SUS PHL S1製 RD	(1.6mm以上)
軒天	3F	C-100×50×20×t2.3#330 発泡ポリスチレンフォームt15	ガルバ鋼板	
	1F、2F	RC補修	DP	
床	展望デッキ	RC金ゴテの上塗膜防水A	押さえ00N180°100 表面硬化剤	
外部金物	側溝蓋		スチール製グレーチング	
	落下防止		笠木：ST FBt38x9 溶融亜鉛メッキ処理 ローバルマットカバー塗装 縦横：ST FBt38x9#110 溶融亜鉛メッキ処理 ローバルマットカバー塗装	
	笠木 防水見切り		アルミ型材	
	メンテナンス金物		SUS314	

耐火・準耐火構造

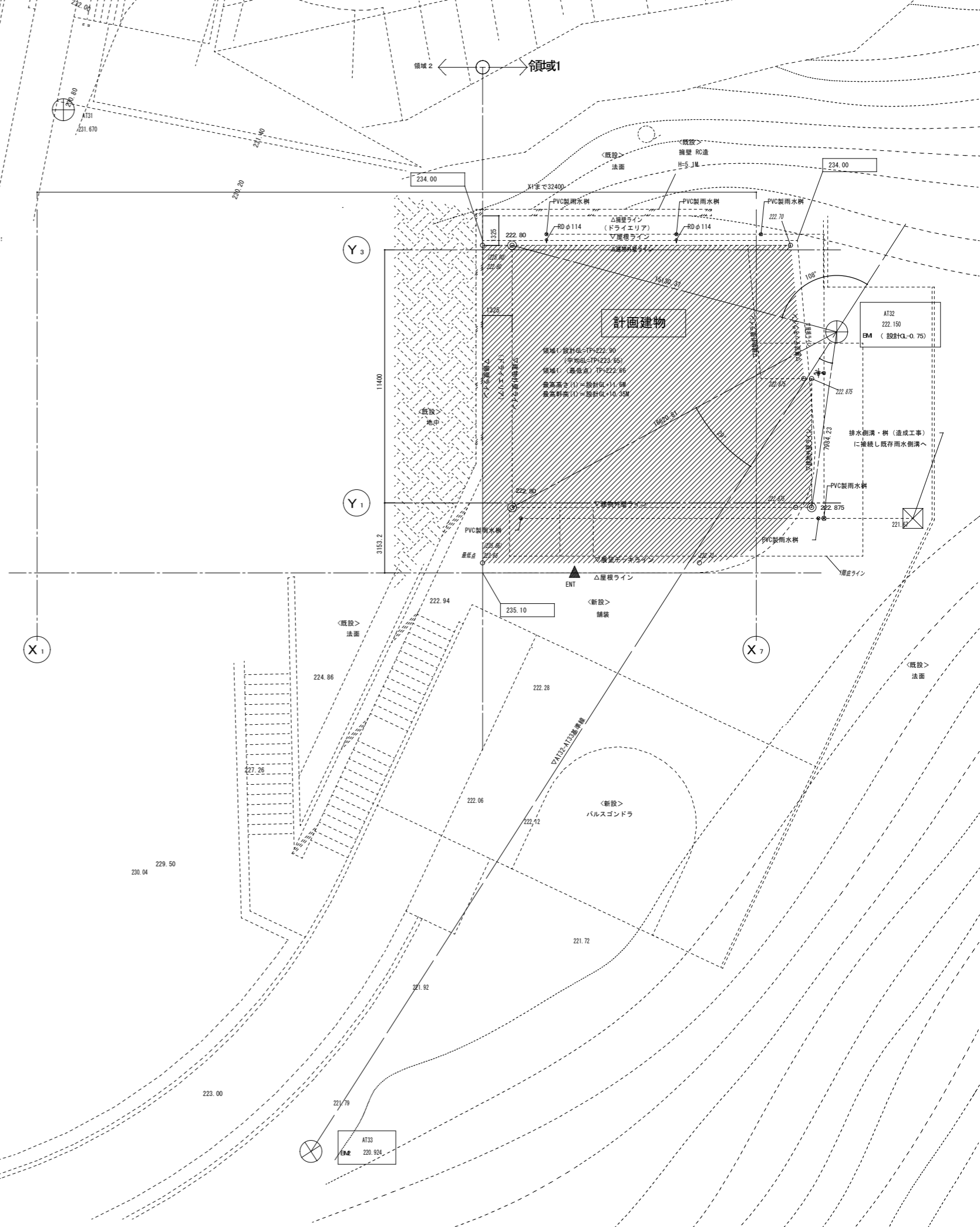
階数	部位	耐火性能	構造方法又は建築材料の名称	品質・規格・寸法等	認定番号等
1階~3階	RC間仕切り壁 RC外壁	60分耐火	R C	t 70mm以上	H12年告示1399号第1
	RC柱	60分耐火	R C	-	H12年告示1399号第2
	St柱	60分耐火	耐火塗料 SKタイカコート	-	FP060CN-9472
	RC床	60分耐火	R C	t 70mm以上	H12年告示1399号第3
	RC梁	60分耐火	R C	-	H12年告示1399号第4
	屋根	30分耐火	R C	-	H12年告示1399号第5
階段	30分耐火	R C	-	H12年告示1399号第6	

使用材料（不燃材料等）

不燃材料	品質・規格・寸法等	認定番号等
(外部)		
ガルバ鋼板	厚膜ウレタン塗装ガルバリウム鋼板	t 0.5mm NW-6697
アルミ型材（笠木）	ライナーコーピングS300 同等	-
アスファルト防水層	田島ルーフィング SK-020工法 (0-1) 同等	-
サンドセラミック調裝飾仕上塗材	エスケー化研 サンドエレガンテ 同等	t 2mm NW-6572
アルミ製窓	YKKAP EX1MA31 同等	-
ステンレス製窓・扉	ナブコ ハイグランドドア 同等	-
塗膜防水A	田島ルーフィング 保護コンクリート密着工法 (X-2H) 同等	-
スチール製グレーチング	カネソウ QSB12519+L-19 同等	-
EP	エスケー化研 水性コンポシリコン 同等	-
飛散防止フィルム	サンゲツ 透明飛散防止キアロ90 品番GF1204 同等	-
ローバルマットカバー塗装	ローバル 低光沢メッキ仕上りマットカバー塗装 同等	-
表面硬化剤	ABC商會 ケイ酸ナトリウム系コンクリート表面強化セラミキュア 同等	-
(内部)		
GB-R	せっこうボード	t 12.5mm NW-8619
GB-RH	硬質せっこうボード	t 9.5mm NW-9645
		t 12.5mm
GB-S	シーリングせっこうボード	t 12.5mm NW-9639
GB-D	不燃積層せっこうボード	t 9.5mm NW-1864
GB-F	強化せっこうボード	t 21mm NW-8615
Feボード	吉野石膏 タイガーFeボード 同等	t 12.5mm NW-4798
ケイカル板	けい酸カルシウム板	t 6mm NW-3522
不燃化粧板	アイカ セラール 同等	t 3mm NW-2183
岩綿吸音板	吉野石膏 ソーラートン平板 同等	t 12mm NW-0680
ウレタン系現場発泡不燃断熱材	エスケー化研 セラミライトエコ6 同等	t 25mm NW-0916
ビニルクロスA	サンゲツ TH32848 同等	-
ビニルクロスB	リリカラ LMT-16164 同等	-
長尺シートA	サンゲツ PM-22116 同等	t 2mm
長尺シートB	サンゲツ PM-22448 同等	t 2mm
長尺シートC	ABC商會 VM-20 同等	t 2mm
塗膜防水B	保土谷バンデックス建材 バンデックスS+P工法 同等	-
防塵塗装	エスケー化研 SKバリアコート 同等	-
人通り	栗本製作所 ワインディングパイプφ600亜鉛メッキ鋼板製 同等	-
研マット	-	24kg/m3
ダイノックシート貼り	住友3M ダイノックフィルムD#1903PVアッシュ/タモ極目 同等	-

上取/階	室名	居室	排煙	内装制限	床				巾木		壁		天井			見切り		備考 (家具・備品・器具など) *木製巾木のtは5mmとする。以下同様。	
					下地	仕上	層レベル (仕上に準じて)	仕上げレベル (Rに準じて)	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	天井高	天井見切り	天井造作種		
上取/1階	待合ロビー	●	告1436-4へ(5)	-	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5) L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)F60-F112.5	ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	建築工事：玄関マット 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) ビニルクロス ビニルクロス ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA	
	駅務室	●	告1436-4へ(5)	不燃	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5) L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)F60-F112.5	ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	建築工事：ミニキッチン 備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	男子便所(1)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートB	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-S12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	不燃化粧板t3 不燃化粧板t3	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	建築工事：トイレブース、流し台 備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	女子便所(1)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートB	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-S12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	不燃化粧板t3 不燃化粧板t3	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	建築工事：トイレブース、流し台 備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	倉庫(1)		告1436-4へ(2)	不燃	0金ゴテ	防塵塗装	-10	0	ソフト巾木	60	L65100-L65-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5 L65-08-R12.5 L65-08-F21-21	素地 素地 素地	RCスラブあらし	素地	既	-	-	備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
廊下(1)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5) L65100-L65-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	ビニルクロスA ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)		
上取/2階	電気室		告1436-4へ(2)	不燃	0金ゴテ	防塵塗装	-10	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5 L65-08-R12.5 L65-08-F21-21	素地 素地 素地	RCスラブあらし	素地	既	-	-	建築工事：設備基礎 壁：一部ウレタン系現場発泡不燃断熱材 t=25 仕上げ	
	倉庫(2)		告1436-4へ(2)	不燃	0金ゴテ	防塵塗装	-10	0	ソフト巾木	60	L65100-L65-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5 L65-08-R12.5 L65-08-F21-21	素地 素地 素地	RCスラブあらし	素地	既	-	-	壁：一部ウレタン系現場発泡不燃断熱材 t=25 仕上げ	
	廊下(2)		告1436-4へ(2)	不燃	0金ゴテ	防塵塗装	-10	0	ソフト巾木	60	L65100-L65-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5 L65-08-R12.5 L65-08-F21-21	素地 素地 素地	RCスラブあらし	素地	既	-	-	建築工事：落下防止 壁：一部和補修仕上げ	
上取/3階	風除室(1)		対象外	-	0金ゴテ	玄関マット	-10	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5)	ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	-	-	建築工事：玄関マット 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	風除室(2)		対象外	-	0金ゴテ	玄関マット	-10	0	ソフト巾木	60	L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5)	ビニルクロスA ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	-	-	建築工事：玄関マット 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	展望室 カフェコーナー	●	自然排煙	-	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5)F60-F112.5 L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5) L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5) L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5) L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5) 既打ち直し補修 モルタルt10	ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA ビニルクロスA	08-R9.5+9.5	270,300 270,300	塩ビ見切 塩ビ見切	間接照明BOX ブラインドBOX	備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700) 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)		
	スタッフルーム	●	告1436-4へ(5)	不燃	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5)	ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	厨房	●	告1436-4へ(5)	不燃	SL材	長尺シートC	1077カシ(20)	0	シート巻き上げ	100	L65-ケイカル板t6	伊達装 伊達装	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	ケイカル板 壁目地工法：突き付け	
	授乳室	●	告1436-4へ(5)	不燃	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5)	ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	備品：椅子 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	廊下(3)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートA	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	通音システム壁 L65-08-R12.5(08-R12.5)(08-R12.5)	ビニルクロスA ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	男子便所(2)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートB	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-S12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	不燃化粧板t3 不燃化粧板t3	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	建築工事：トイレブース、流し台 備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	女子便所(2)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートB	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-S12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	不燃化粧板t3 不燃化粧板t3	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	建築工事：トイレブース、流し台 備品：棚、椅子、机 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	多目的便所(1)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートB	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-S12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	不燃化粧板t3 不燃化粧板t3	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	設備工事：大便器、洗面器、手洗器、オストメイト、紙巻器、手すり、背もたれ、 電温・ダクトボックス、ベビーベット、大人用介助ベッド 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	多目的便所(2)		告1436-4へ(2)	不燃	SL材	長尺シートB	1077カシ(20)	0	ソフト巾木	60	L65-08-S12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	不燃化粧板t3 不燃化粧板t3	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	設備工事：大便器、洗面器、手洗器、オストメイト、紙巻器、手すり、背もたれ、 電温・ダクトボックス、ベビーベット、大人用介助ベッド 塩ビ見切 t=5mm (R+1200→+2,700)	
	倉庫(3)		告1436-4へ(2)	不燃	0金ゴテ	防塵塗装	-10	0	ソフト巾木	60	L65-ケイカル板t6 L65-ケイカル板t6	伊達装 伊達装	08-D19.5	素地	270	塩ビ見切	-	ケイカル板 壁目地工法：突き付け	
	倉庫(4)		告1436-4へ(2)	不燃	0金ゴテ	防塵塗装	-10	0	ソフト巾木	60	L65-08-R12.5 L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	素地 素地	08-D19.5	素地	270	塩ビ見切	-		
	EPS		令126の2-1-1	-	-	0金ゴテ	防塵塗装	-	0	-	-	通音システム壁	素地	-	素地	270	-	-	
	各棟共通	階段室		令126の2-1-3	-	SL材	長尺シートA	-10	0	ソフト巾木	60	L65100-08-R12.5+12.5 L65-08-R12.5+12.5	ビニルクロスA ビニルクロスA	08-R12.5	岩綿吸音板t12	270	塩ビ見切	-	階段裏：RC補修の上EP
EV			令126の2-1-3	-	0金ゴテ	塗膜防水	-	0	-	-	L65100-08-F21-21(08-R12.5)(08-R12.5)	素地	-	素地	-	-	-		

外部・内部仕上表注記			
●Rは各階基準仕上げ床高を表す。	●スラブ高は下地コンクリート天端レベルをRからの高さとして表す。	●壁下地「L65ボード」とは、壁種区分別に記載する「性能壁」及び「非性能壁」のうちL65下地の壁の総称。	●内部露出鉄骨や金属部は特記なき限りSP塗装とする
●天井高は床仕上げレベル(=仕上高)からの天井高を表す。	●構造図表記のスラブレベルとの差は、増打ちコンクリートにより対応する。	仕様については壁種区分参照のこと。箇所及び範囲については関係仕切図号のある図面を参照のこと。	スラブ高と仕上げ高との差から仕上げ材の厚さを除いた高さを増打ちコンクリートとする。
●仕上高は床仕上げレベルをRからの高さとして表す。仕上表に表記無き場合は平面図表記とする。	●ビニルシート、ビニル床シート、ビニル床シートなどの床下地コンクリート増打ちを行う場合は、	●特記なき場合、巾木下地は壁下地と同じものとする。	●特記なき場合、天井下地はLGSとする。

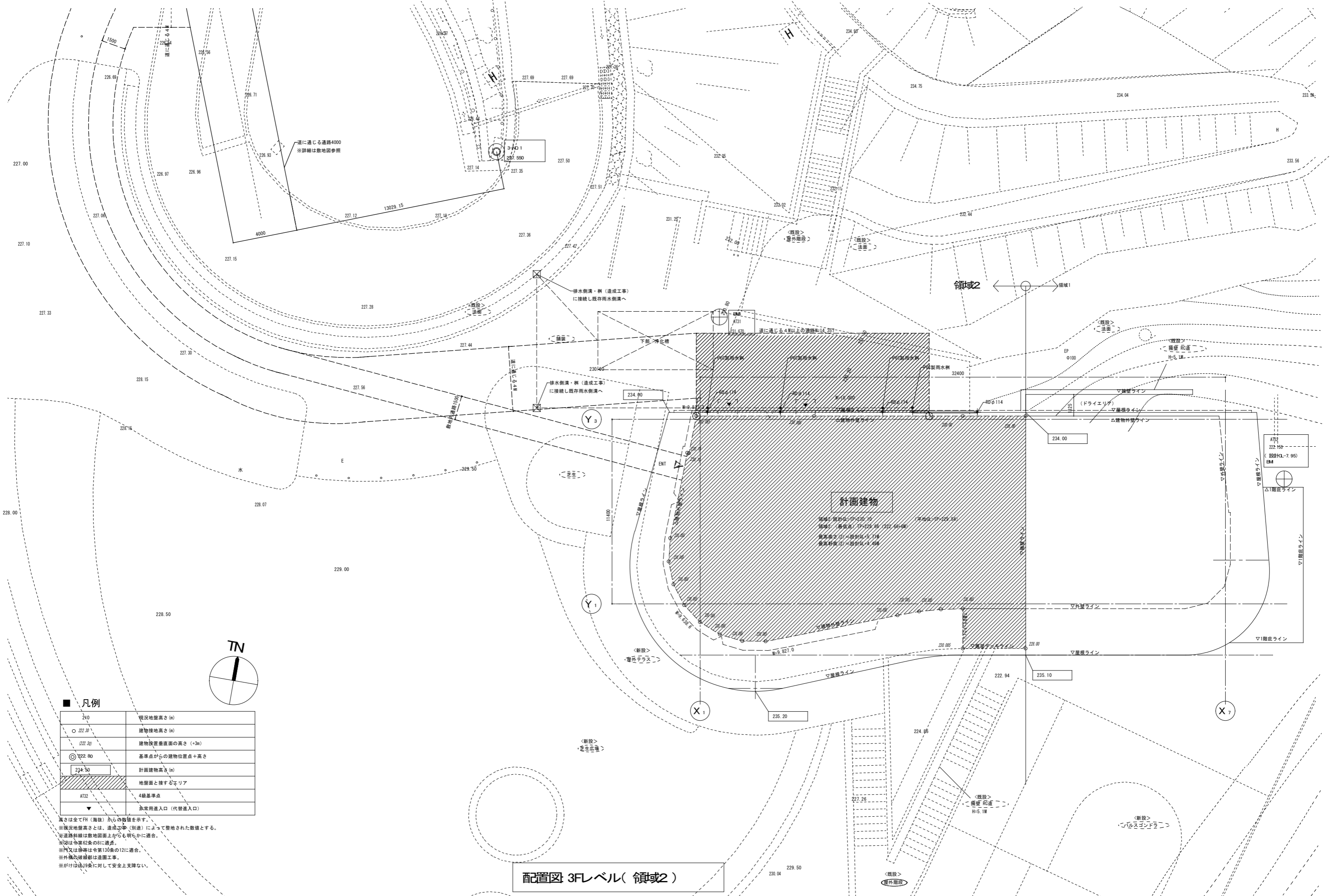


■ 凡例

210	現況地盤高さ (m)
○ 222.20	建物接地点高さ (m)
□ 222.30	建物設置直面の高さ (+3m)
◎ 222.80	基準点からの建物位置点+高さ
□ 234.50	計画建物高さ (m)
▨	地盤面と接するエリア
AT32	4級基準点
▼	非常用出入口 (代替出入口)

高さは全てFH (海抜) からの数値を示す。
 ※現況地盤高さは、造成工事 (別途) によって整地された数値とする。
 ※道路斜線は敷地面上からも明らかに適合。
 ※OBは令第62条の8に適合。
 ※門又は欄等は令第130条の12に適合。
 ※外構の破線部は造園工事。
 ※がけは法19条に対して安全上支障ない。

配置図: 1Fレベル (領域1)



凡例

△10	現況地盤高さ (m)
○22.30	建物接地高さ (m)
(22.20)	建物設置面高さ (+3m)
◎22.80	基準点からの建物位置点+高さ
234.50	計画建物高さ (m)
(斜線)	地盤面と接するエリア
AT32	4級基準点
▽	非常用出入口 (代替出入口)

高さは全てFH（海抜）からの数値を示す。
 ※現況地盤高さは、造成工事（別途）によって整地された数値とする。
 ※道路斜線は敷地面面上からも明らかに適合。
 ※ATは令第62条の8に適合。
 ※AT又は準等は令第130条の12に適合。
 ※外機及び機械は造園工事。
 ※がけは19条に対して安全上支障ない。

配置図 3Fレベル (領域2)

避難距離 (1F 避難階)

番号	距離 m	制限	避難距離	制限	判定
A	2.03 +5.03 +3.70 =10.76	<40	*	*	○
B	7.57 +2.76 =10.33	<30	*	*	○

建築基準法及び消防法による排煙設備設置 / 居室の採光及び換気

※上記については、ALV6 チェック図による。

排煙距離 (1F)

番号	室名	距離 m	制限	判定
A	待合ロビー	7.94	=7.94 <30	○

有効面積

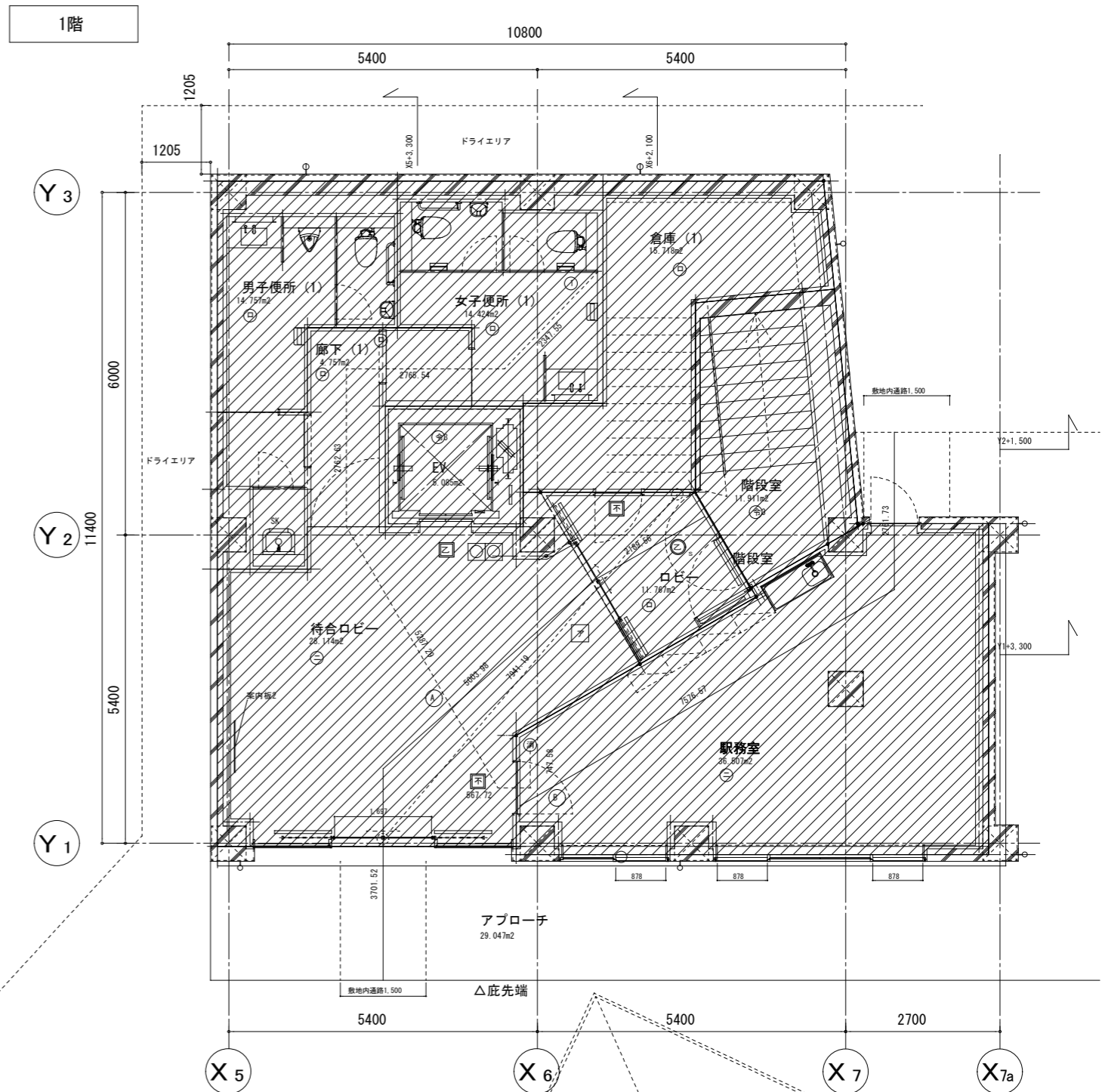
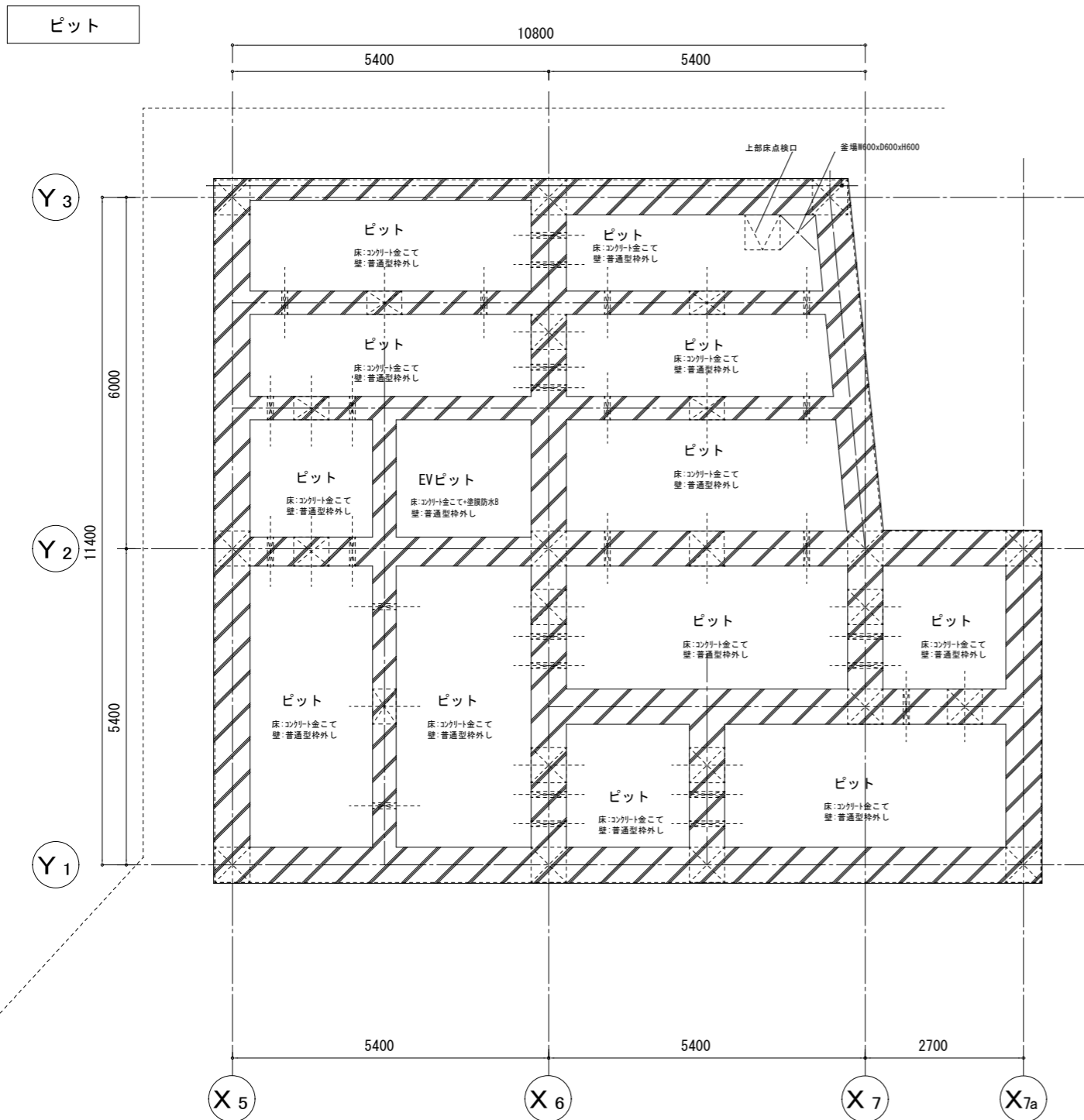
床面積	有効開口面積	有効開口面積率	直径50cm以上の円内	直径100cm以上の円内	有効開口面積	有効開口面積率	有効開口面積	有効開口面積率	有効開口面積	有効開口面積率
172.09 m ²	5.74 m ²	<30	○	○	7.7427 m ²	<30	○	○	7.7427 m ²	<30

窓ガラス用フィルムは PET 製 t100µm 以下、もしくは強化ガラス製 t400µm 以下とする。

自動ドアはニックオープンとし、避難時は常時開放とする。

床面は開口部下部まで1.2m以内とする。

道又は廊下を有効開口1m以上の通路、その他の空間に直したものとす。



凡例1

記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
	鉄筋コンクリート造壁		防火区画		自然排煙		異種用途区画 (告示250号 警報装置+圧区画)
	押出成型セメント板壁		防火区画 (間仕切壁) ※開口部上部は防煙垂れ壁H=500mm		建告1436号第4号へ(一)による排煙免除		代替出入口
	成型コンクリート板壁 (ALC)		防火区画 (垂れ壁H=500mm)		建告1436号第4号へ(二)による排煙免除		備考: PS, EPS, DSは全て水平区画 備考: 防火設備は表記無き場合は例示仕様
	LGS下地 硬質PB121+21 片面張 壁 FF06NP-0007		※特設防煙防火設備 (法定番号0200) (煙色検知器、自然排煙口、ストッパー、送風機等) 壁: 室内側サムターン		建告1436号第4号へ(四)による排煙免除		
	LGS下地壁		※特設防煙防火設備 (法定番号0200) (煙色検知器、自然排煙口、ストッパー、送風機等) 壁: 室内側サムターン		建告1436号第4号へ(五)による排煙免除		
	ピット入通口 φ600 基本型外周 ワンディンクパイプφ600型6ヶ所設置 具等		不燃性自然排煙 (垂れ壁H=200mm以上) 壁: 室内側サムターン		建令126の2-1-1による排煙の必要ない部分		
	ピット通気管・連通管 φ100・塩ビパイプ		消火器設備		建令126の2-1-3による排煙の必要ない部分		

1F 消火器設置位置

番号	距離 m	制限	判定
①	2.34 +2.76 +2.76 +5.28 +0.56 +0.74 =14.44	<20	○

収容人員

階数	防火対象物	床面積	実床面積	※少数点切り上げ		合計
				床面積 /3 m ²	有効幅	
1	事務所 (従業者以外の者の使用に供する部分) ※事務室を避く	135.58	4	46	=50	160
				0	=0	300

直通階段 (12階)

構造	階段室	段数	有効幅	路上	踏面
FC		22	1000		

PROJECT TITLE
(仮称) 火の山屋内展望施設新築建築主体工事
H2024.04.01
H2024.04.01
H2024.04.01

一級建築士事務所
東京建設士登録第32752号
一級建築士登録第359655号
坂本英史

DRAWING TITLE
平面図(ピット・1階)
SCALE
1/100
DRAWING NO.
A020

避難距離 (2F)

番号	距離 m	制限	接続距離	制限	判定
※居室が存在しない階					

2F 消火器設置位置

番号	距離 m	制限	判定		
①	5.75	+2.16	+1.82	≧9.73 <20	○

建築基準法及び消防法による排煙設備設置 / 居室の採光及び換気

※上記については、ALV チェック図による。

排煙距離 (2F)

番号	室名	距離 m	制限	判定
※居室が存在しない階				

有効開口

床面積 142.46 m² ÷30 = 4.75 m² < NG 0 m²

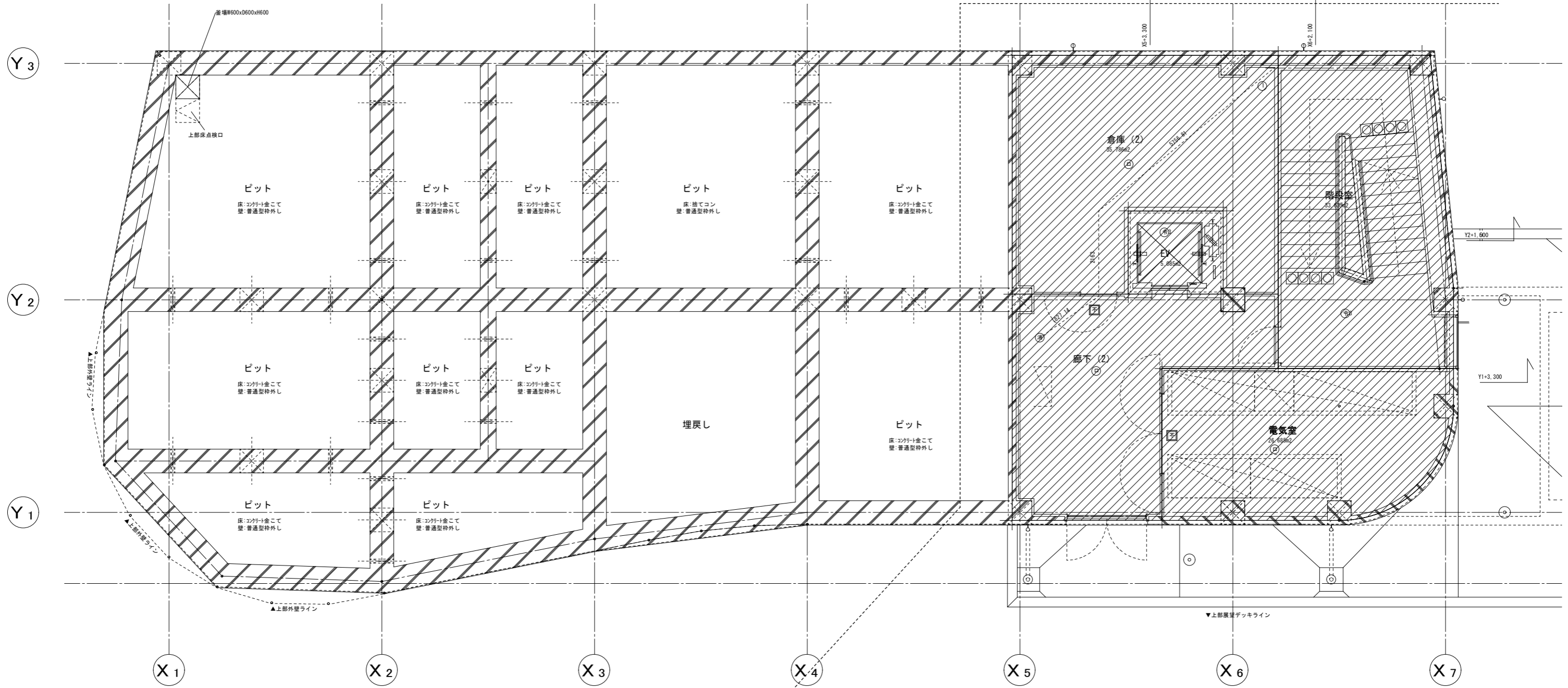
建具符号	有効開口面積計算式	有効開口面積	直径50 cm 以上の円形開口	直径 100cm 以上の円形開口	or W50xL120 以上の開口	個数	合計
x	=	0					0
							0

窓ガラス用フィルムは FET 製 t100μm 以下、もしくは塩化ビニル製 t400μm 以下とする。

自動ドアはニックオープンとし、遮断時は即時閉鎖とする。

床面積開口部下縁まで1.2m以内とする。

道又は道に通ずる有効幅員1m以上の通路、その他の空間に面したものとす。



凡例1

記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
	鉄筋コンクリート造壁		防火区画		自然排煙		異種用途区画 (告示250号 警報装置+床区画)
	押出成型セメント板壁		防火区画 (閉仕切壁) ※開口部上部は防煙垂れ壁H=500mm		建告1436号第4号へ(一)による排煙免除		代替出入口
	成型コンクリート板壁 (ALC)		防火区画 (垂れ壁H=500mm)		建告1436号第4号へ(二)による排煙免除	備考: PS, EPS, DSは全て水平区画 備考: 防火設備は表記無き場合は例示仕様	
	LGS下地 縦貫PB121+21 片面張 壁 FPO60NP-0007		非常用消火設備 (法定型号0200) (備品:非常用消火器、自衛消防用、ストッパー兼、避難機付)		建告1436号第4号へ(四)による排煙免除		
	LGS下地壁		非常用消火設備 (法定型号0200) (備品:非常用消火器、自衛消防用、ストッパー兼、避難機付)		建告1436号第4号へ(五)による排煙免除		
	ピット人通り φ600: 基本型仕様 ワンディンクパイプφ600型径メッキ鋼製 両等		非常用消火設備 (垂れ壁H=200mm以上)		建告126の2-1-1による排煙の必要ない部分		
	ピット通気管・連通管 φ100:塩ビパイプ		消火器設備		建告126の2-1-3による排煙の必要ない部分		

収容人員

※少数点切り上げ

階数	防火対象物	床面積	従業員	床面積 /3 m ²	合計
2	事務所 (従業者以外の者の使用に供する部分) ※階段室のみ	33.63	0	12	=12
		0	0	0	=0

有効幅 1600
廊上 160
階面 300

直通階段 (2F 階)

構造	階段室
FC	

図面情報

PROJECT TITLE: (仮称) 火の山屋内施設施設新築建築主体工事
 DRAWING TITLE: 平面図(2階)
 SCALE: 1/100
 DRAWING NO: A021

避難経路 (3F 避難階)

番号	距離 m	制限	経路	判定
A	0.62 +7.93 +19.83 +1.67 +2.67 +1.24	=33.96	<40	○
B	2.38 +0.67 +1.68 +3.88 +19.83 +1.67 +2.67 +1.24	=34.02	<30	○
C	31.87 +1.67 +2.67 +1.24	=37.45	<30	○

建築基準法及び消防法による排煙設備設置 / 居室の採光及び換気

※上記については、AMS チェック図による。

排煙設備 (3F)

番号	室名	距離 m	制限	判定
A	展望室	6.84	=6.84 <30	○
I	展望室	28.33	=28.33 <30	○

自動ドアはバニクオープンとし、避難時は常時開放とする。

床面は開口部下床まで1.2m以内とする。

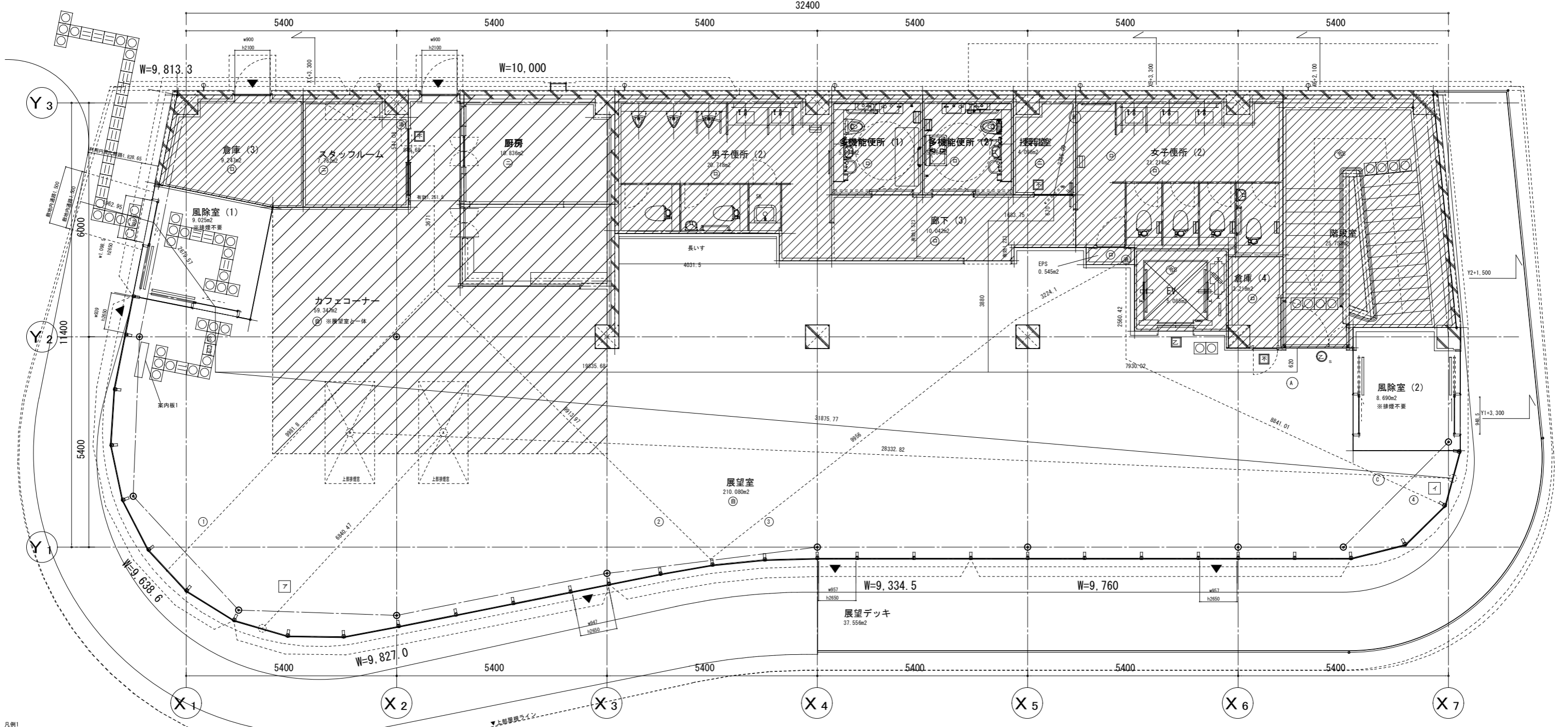
道又は廊に通ずる有効幅員1m以上の通路、その他の空間に面したものとす。

有効階

床面積	455.15 m ²	÷30 =	15.17 m ²	<	OK	15.4919 m ²		
建具符号	有効開口面積計算式	有効開口面積	直径50cm以上の円形開口	直径100cm以上の円形開口	or	W50xL120以上の開口	個数	合計
AW-1								2.4835
VB39	939 x 2650 =	2.4835	○	○			1	2.50655
VB47	947 x 2650 =	2.5065	○	○			1	2.53605
VB57	957 x 2650 =	2.53605	○	○			1	2.53605
VB57	957 x 2650 =	2.53605	○	○			1	2.53605
BSW-1-3-2	1098 x 2650 =	2.9097	○	○			1	2.9097
BSW-3-3-4	948 x 2650 =	2.5122	○	○			1	2.5122
								15.4919

窓ガラス用フィルムは、PET 製 t100µm 以下、もしくは強化ビニル製 t400µm 以下とする。

車寄せスペース



凡例1

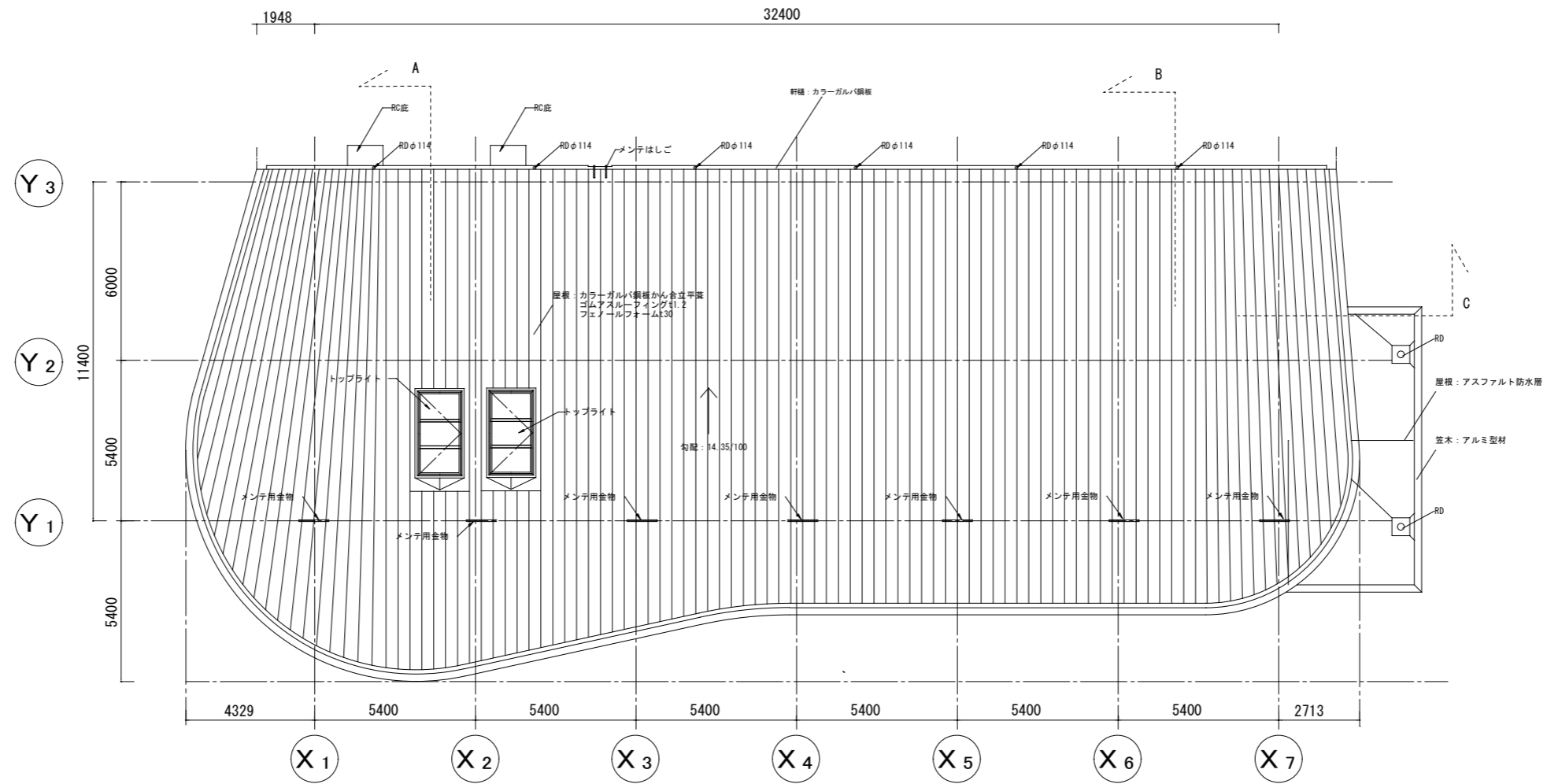
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
(線)	鉄筋コンクリート造壁	(B)	防火区画	(斜線)	自然排煙	(斜線)	異種用途区画 (告示250号 警報装置+床区画)
(線)	押出成型セメント板壁	(C)	防煙区画 (間仕切壁) ※開口部上部は防煙垂れ壁H=500mm	(D)	建告1436号第4号へ(一)による排煙免除	(▽)	代替出入口
(線)	成型コンクリート板壁 (ALC)	(E)	防煙区画 (垂れ壁≦500mm)	(H)	建告1436号第4号へ(二)による排煙免除	(■)	備考: PS, EPS, DSは全て水平区画 備考: 防火設備は表記無き場合は例外仕様
(線)	LGS下地 硬質PB121+21片面張壁 FP06NP-0007	(Z)	非常用脱出用設備 (法定製号0200) (構造用鋼材、自然換気、ストッパー兼、避難機材付)	(I)	建告1436号第4号へ(四)による排煙免除		
(線)	LGS下地壁	(Zs)	非常用脱出用設備 (法定製号0200) (構造用鋼材、自然換気、ストッパー兼、避難機材付)	(J)	建告1436号第4号へ(五)による排煙免除		
(線)	ピット人通り φ600 基本形状: ワンディングパイプφ600型鉄メッキ鋼管 両等	(不)	不燃材質防煙 (垂れ壁≦200mm以上)	(K)	建令126の2-1-1による排煙の必要ない部分		
(線)	ピット通気管・連通管 φ100:塩ビパイプ	(消)	消火器設備	(L)	建令126の2-1-3による排煙の必要ない部分		

収容人員

階数	防火対象物	床面積	従業員	床面積 /3m ²	合計
3	飲食店 (当該部分) ※カフェコーナー+厨房	70.18	3	24	=27
	事務所 (従業員以外の者の使用に供する部分) ※飲食店エリア+スタッフルームを除く	377.2	1	126	=127
					=154

直通階段 (2'3階)

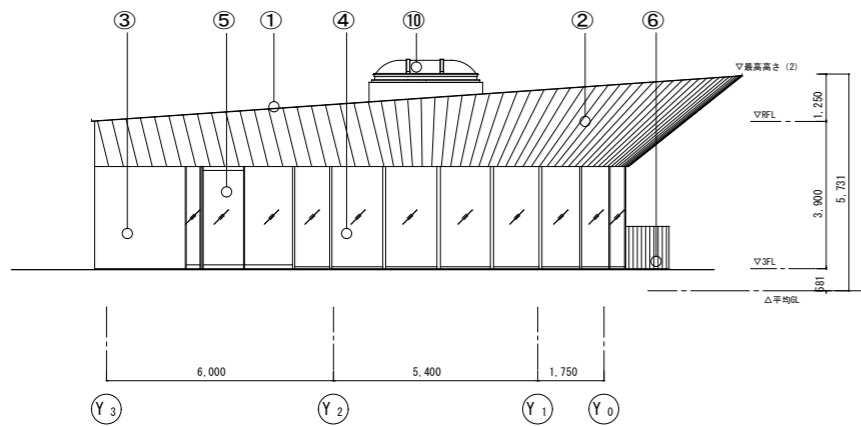
階数	階段室
	構造
	段数
	有効幅
	縦上
	踏面



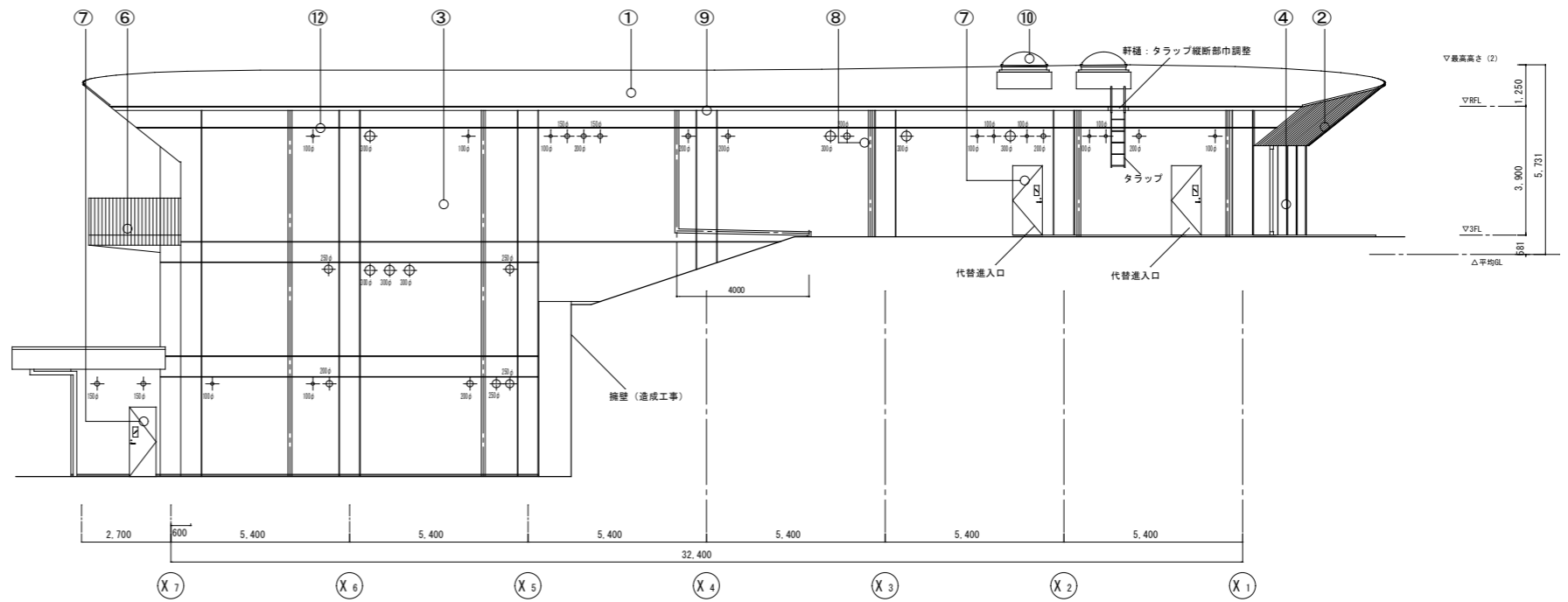
凡例1

記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
	鉄筋コンクリート造壁		防火区画		自然排煙		異種用途区画 (告示250号 警報装置+床区画)
	押出成型セメント板壁		防火区画 (閉仕切壁) ※開口部上部は防煙垂れ壁H=500mm		建告1436号第4号へ(一)による排煙免除		代替出入口
	成型コンクリート板壁 (ALC)		防火区画 (垂れ壁≧500mm)		建告1436号第4号へ(二)による排煙免除	備考: PS, EPS, DSは全て水平区画 備考: 防火設備は表記無き場合は例示仕様	
	LGS下地 縦貫PB121+21 片面張 壁 FPO60NP-0007		非常用脱出防火設備 (法定基準号0200) (煙巻効果運動、自然脱出付、ストッパー兼、避難機能付) 壁: 室内側サマラーン		建告1436号第4号へ(四)による排煙免除		
	LGS下地壁		非常用脱出防火設備 (法定基準号0200) (煙巻効果運動、自然脱出付、ストッパー兼、避難機能付) 壁: 室内側サマラーン		建告1436号第4号へ(五)による排煙免除		
	ピット人通り φ600: 家本製作所 ワインディングパイプφ600型径メッキ鋼板 両等		非常用脱出扉 (垂れ壁≧200mm以上) 壁: 室内側サマラーン		建令126の2-1-1による排煙の必要ない部分		
	ピット通気管・連通管 φ100:塩ビパイプ		消火器設備		建令126の2-1-3による排煙の必要ない部分		

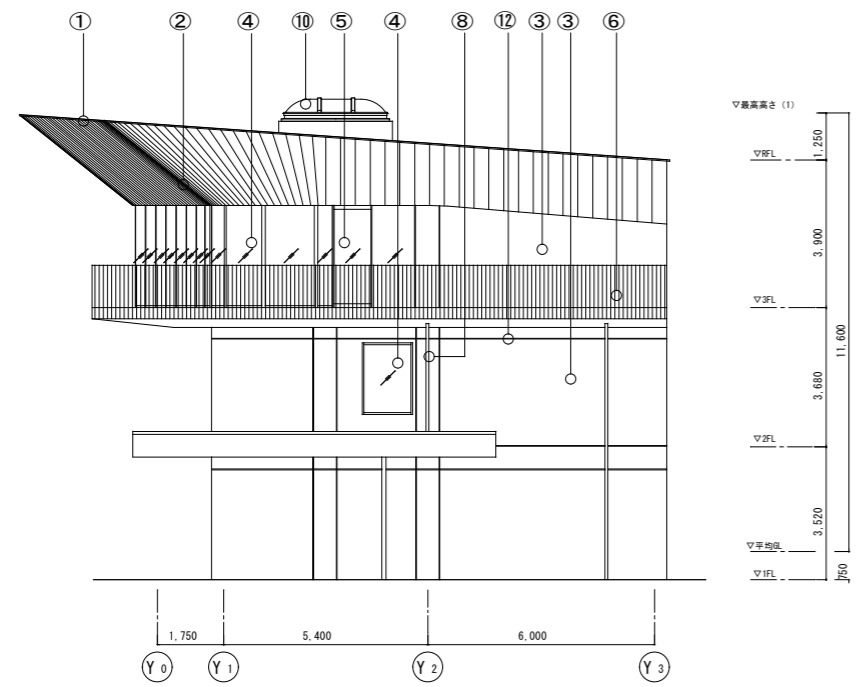
PROJECT TITLE (仮称) 火の山屋敷内廣量施設新築建築主体工事 HENKEI HABA & ASSOCIATES 有限責任建築設計事務所	一級建築士事務所 東京都建設局登録第32752号 一級建築士登録第259055号 坂本英史	DRAWING TITLE 屋根伏図 SCALE 1/200	DRAWING NO. A023
---	--	---	---------------------



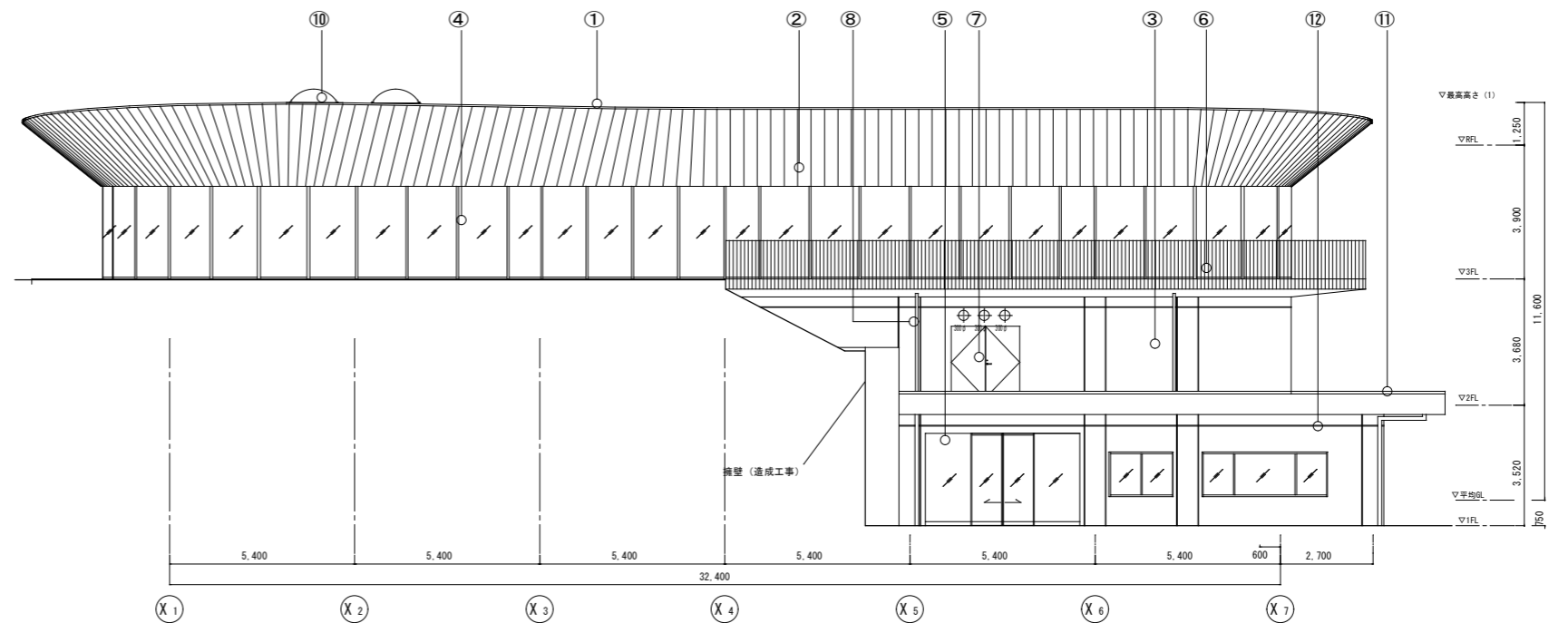
西立面図



北立面図

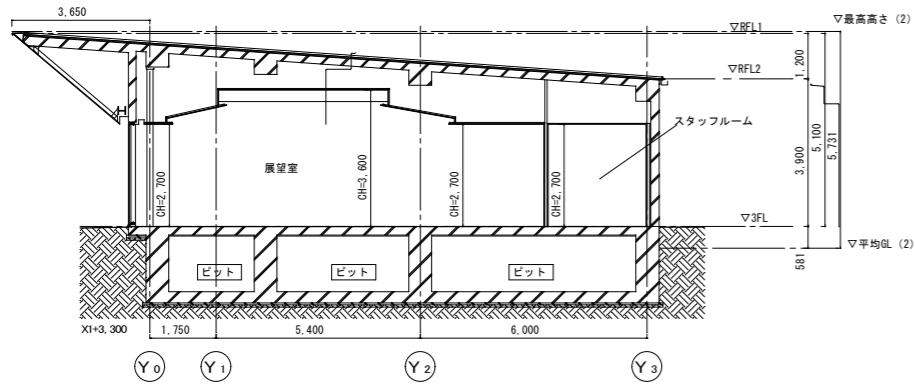


東立面図

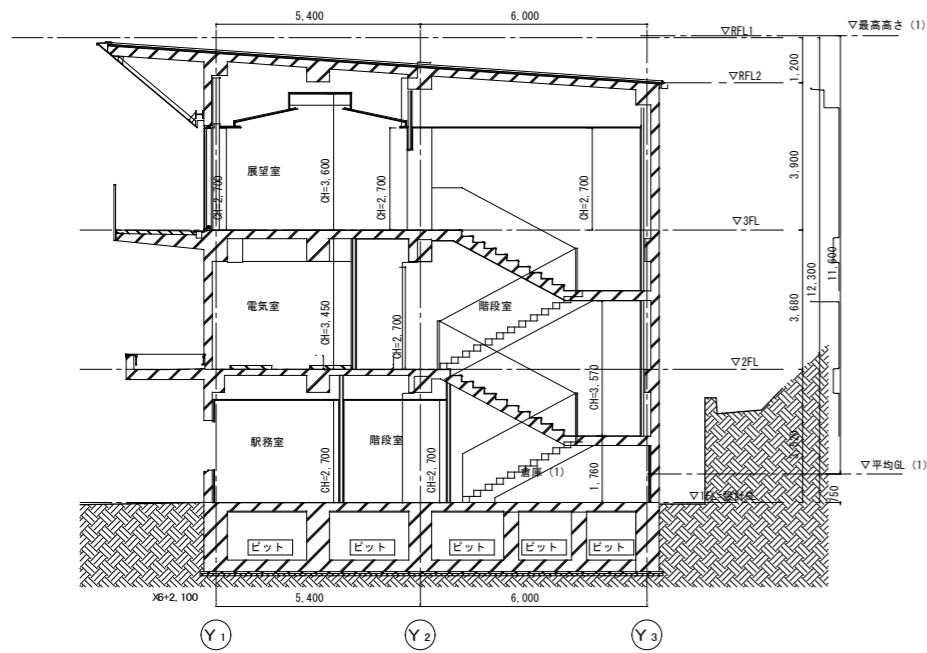


南立面図

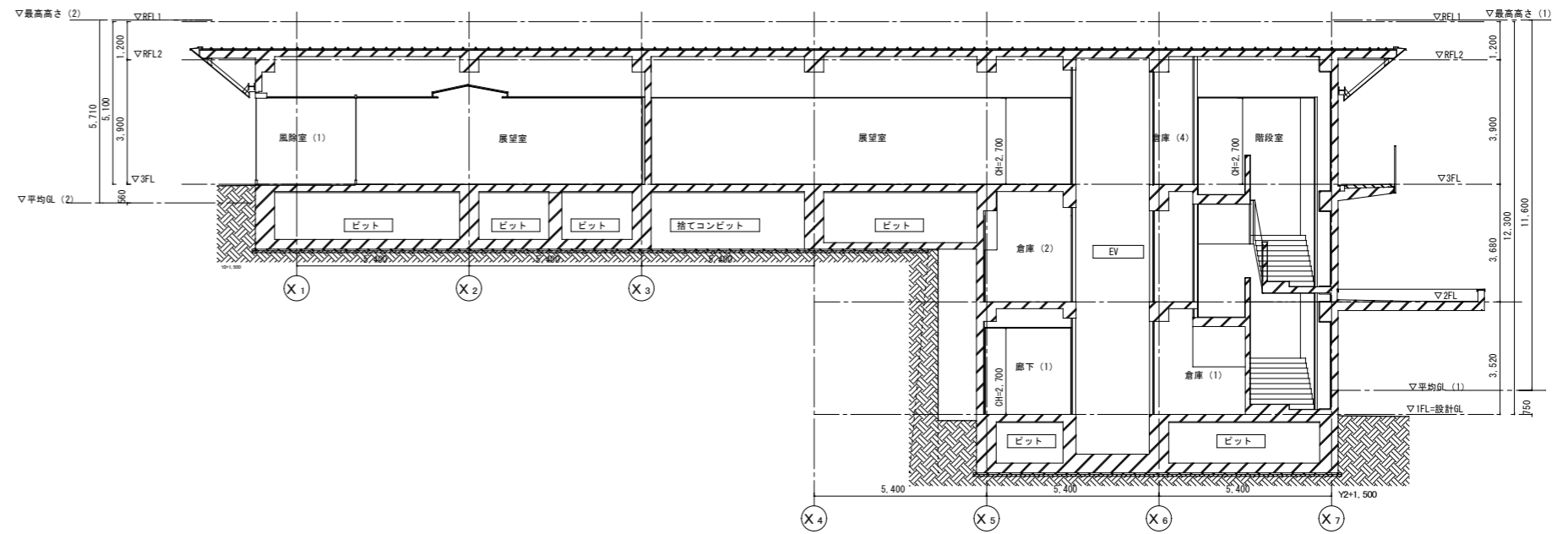
凡例	④	サッシ：アルミ高耐候電着	⑧	壁：アルミバンドレス	⑫	外壁：RC目地シール処理 (PU-2)	
①	屋根：ガルバ鋼板t0.5	⑤	サッシ：SUS PHL	⑨	軒種：ガルバ鋼板製	⊕	ベントキャップ 指定色焼付 (設備工事)
②	軒天：ガルバ鋼板t0.5	⑥	SI階段・手摺・柱：溶融亜鉛めっき	⑩	トップライト		
③	外壁：RC補修の上 サンドセラミック調装飾仕上塗材	⑦	SD：SI製 RO	⑪	笠木：アルミ型材 電解二次着色		



X1+3,300 断面図



X6+2,100 断面図



Y2+1,500 断面図

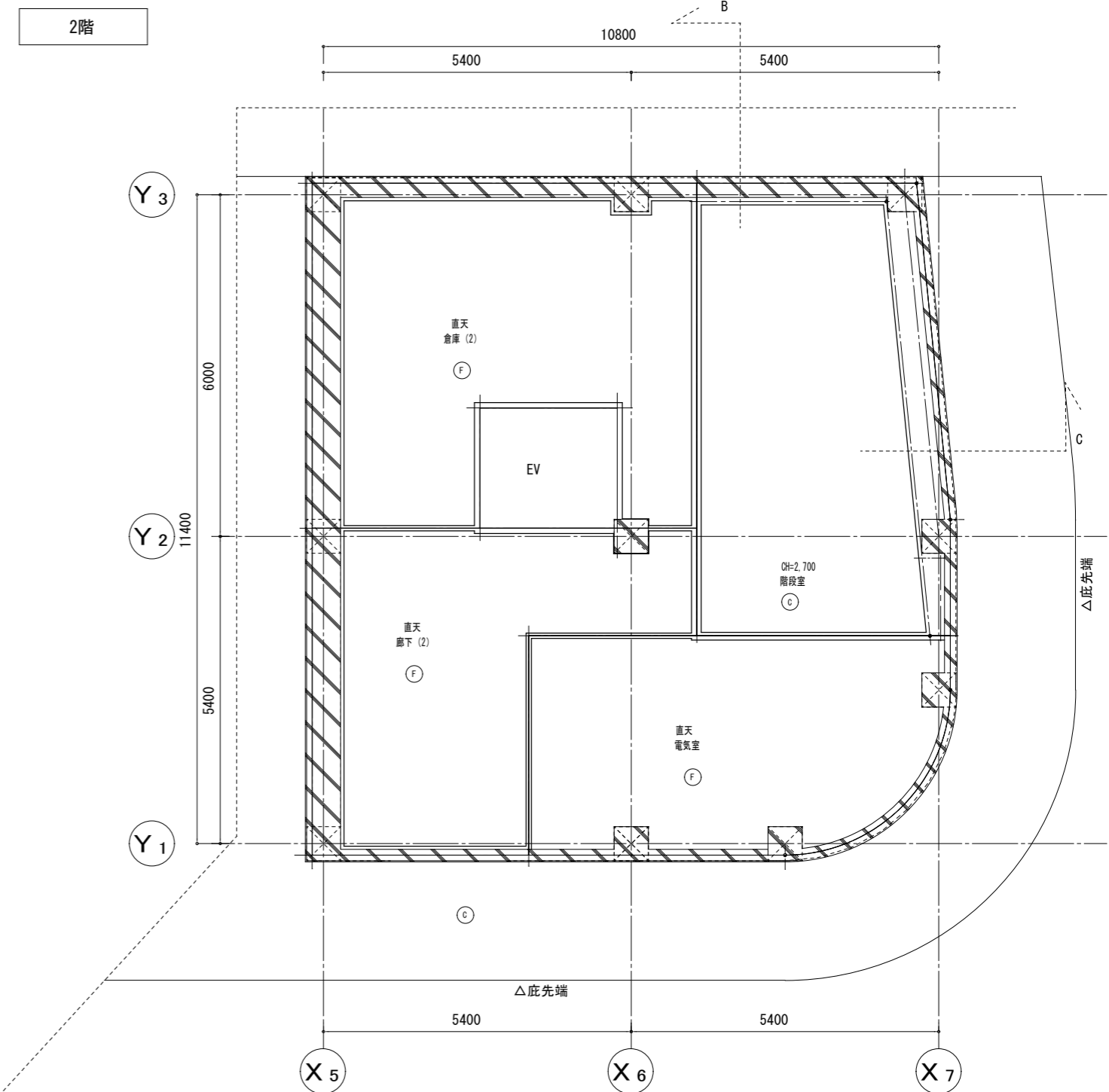
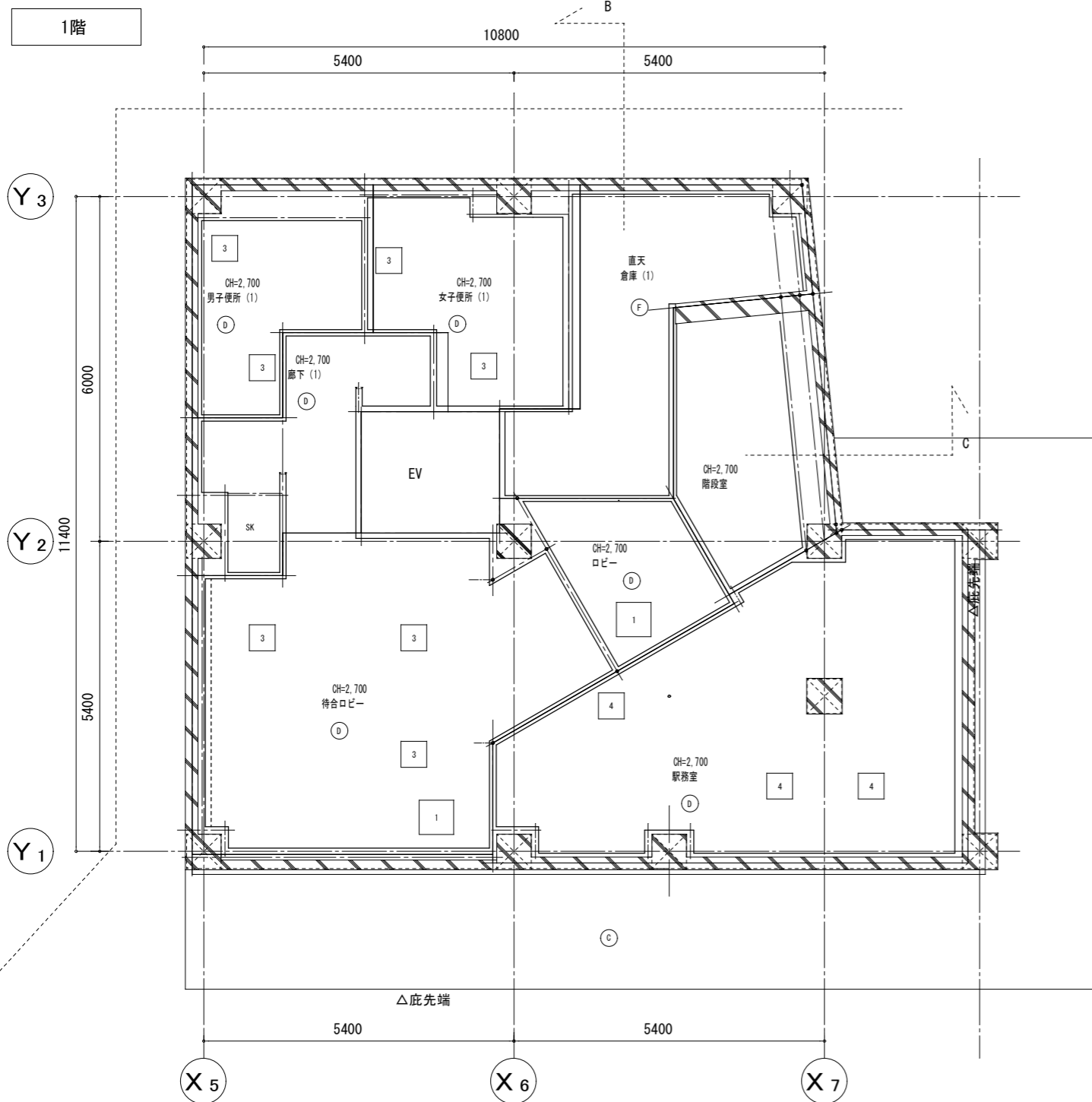
PROJECT TITLE (仮称) 火の山屋内展望施設新築建築主体工事 HAKEDAKABA, AIZEDD AREA 隈研習建築設計事務所	一級建築士事務所 東京府建設委員会登録第32752号 一級建築士登録第259055号 坂本英史	DRAWING TITLE 断面図	DRAWING NO. A025
		SCALE 1/200	

凡例	仕様
CH	天井高を示す
	LGS下地 硬質F8t21+21 片面張 壁
	FPO60NP-0007
	ビクチャレール: トソー T-3M 同等
	※T/T0フック306 30個見込む

凡例	仕様
1	天井点検口(目地無し) 600×600 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる
2	天井点検口(目地あり) 600×600 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる
3	天井点検口(目地無し) 450×450 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる
4	天井点検口(目地あり) 450×450 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる

天井下地については、標準詳細図 参照

凡例	仕様
A	差し込みジョイントカラーガルバ鋼板
B	GB-R9.5+9.5+ビニルクロス
C	EP塗装 (RC補修の上)
D	GB-Rt12.5+岩綿吸音板t12
E	GB-Dt12.5 (素地)
F	躯体表し
	ブラインドBOX: SPL-t1.6+SOP
	間接照明BOX: SPL-t1.6+SOP
	折り上げ天井部: 詳細図による

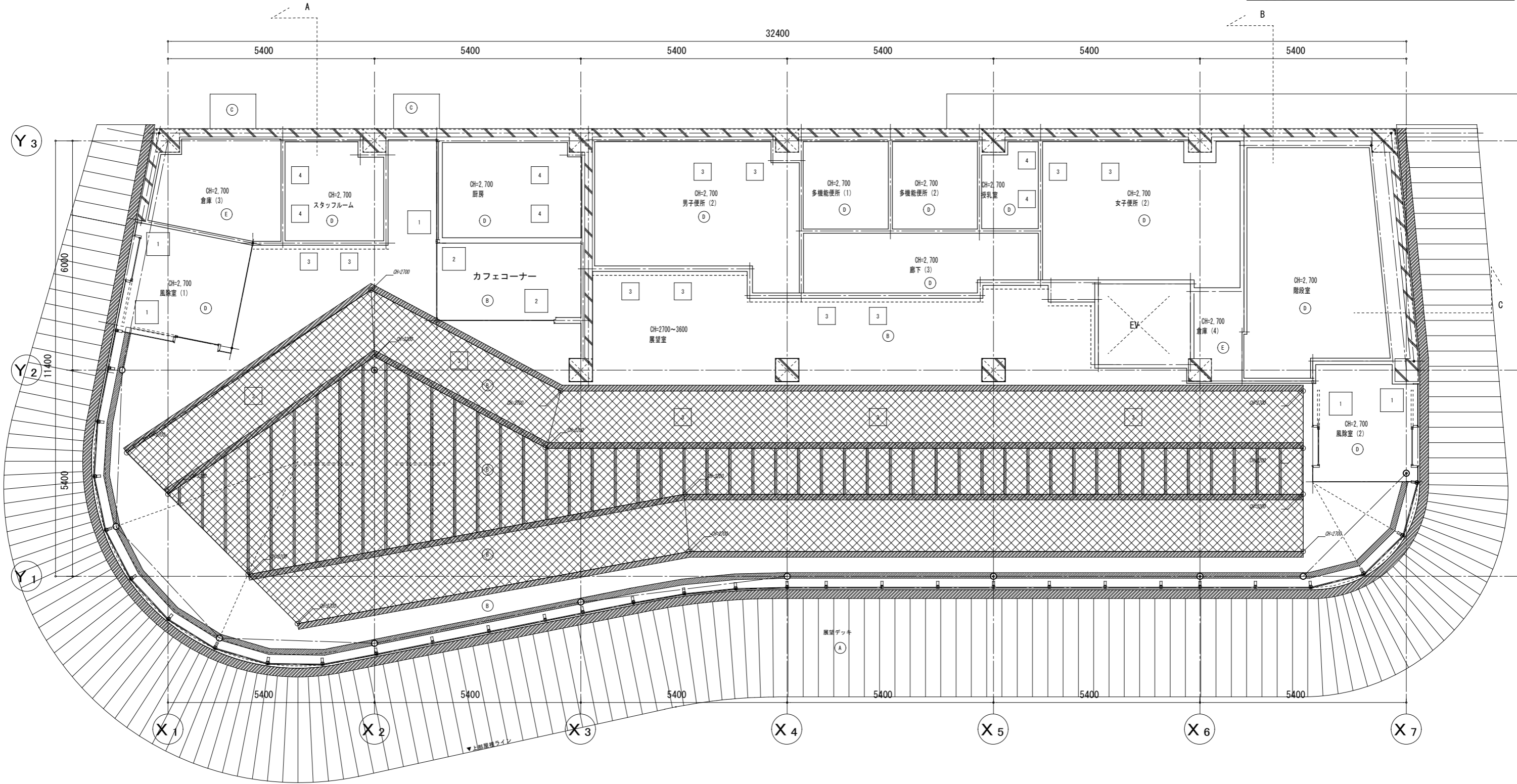


凡例	仕様
CH	天井高を示す
	L6S下地 硬質F8t21+21 片面張 壁
	FP060NP-0007
	ピクチャーレール: トソー T-3M 同等
	※1/10フック306 30個見込む

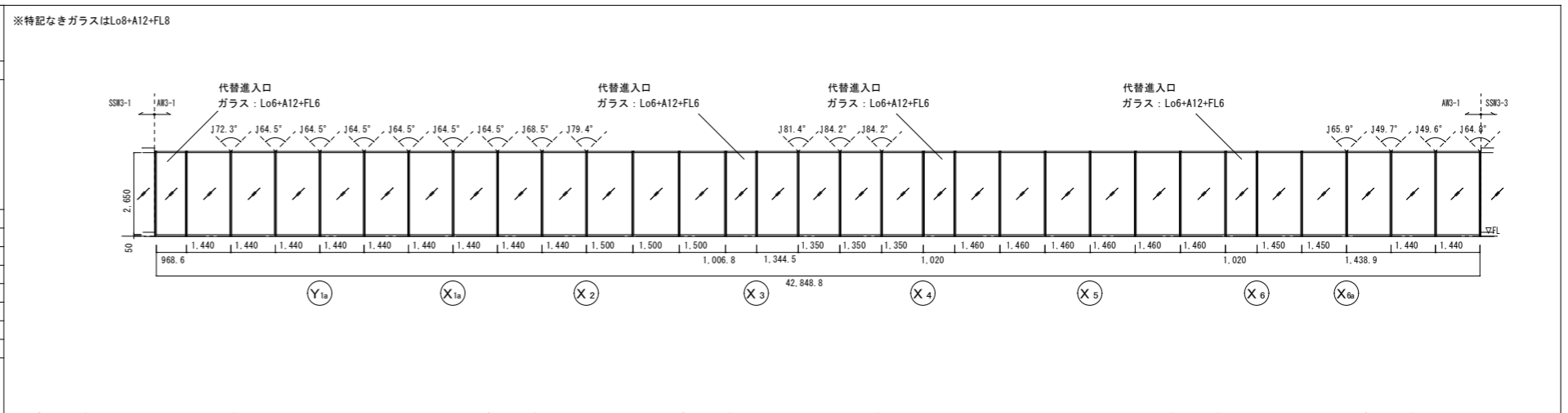
凡例	仕様
1	天井点検口(目地無し) 600×600 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる
2	天井点検口(目地あり) 600×600 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる
3	天井点検口(目地無し) 450×450 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる
4	天井点検口(目地あり) 450×450 AL製(内部詳細による) 点検口の位置は設備取り合いによる

天井下地については、標準詳細図 参照

凡例	仕様
A	差し込みジョイントカラーガルバ鋼板
B	GB-R9.5+9.5+ビニルクロス
C	EP塗装 (RC補修の上)
D	GB-Rt12.5+岩綿吸音板t12
E	GB-Dt9.5 (素地)
F	躯体表し
	ブラインドBOX: StPL-t1.6+SOP
	間接照明BOX: StPL-t1.6+SOP
	折り上げ天井部: 詳細図による



符号	室名	AW 1-1	1F 駅務室	AW 1-2	1F 駅務室	AW 2-1	2F 階段室	AW 3-1	3F 展望室					
数量	形式	法規制	1	片引き+FIX	-	1	両片引き+FIX	-	1	FIX	-	1	FIX	-
姿図										右欄				
内法寸法 (W×H)		1,800 × 1,200		3,600 × 1,200		1,235 × 1,800		42,848.8 × 2,650						
性能特記														
枠巾	材質・仕上	70	AL・高耐侯電着	70	AL・高耐侯電着	70	AL・高耐侯電着	70	AL・高耐侯電着					
水切巾	材質・仕上	-	-	-	-	-	-	-	-					
顔縁巾	材質・仕上	240	St・SOP	240	St・SOP	285 (下面のみ)	St・SOP	-	-					
ガラス種類	厚み	Lo+A+FL	6+6+6	Lo+A+FL	6+6+6	Lo+A+FL	6+12+6	Lo+A+FL	6+12+6+12+6					
がらり形状	材質・仕上	-	-	-	-	-	-	-	-					
金物特記		引手錠等標準品一式、開口制限ストッパー		引手錠等標準品一式、開口制限ストッパー		-		-						
備考		YKKAP製SYSTEM31シリーズ同等		YKKAP製SYSTEM31シリーズ同等		YKKAP製SYSTEM31シリーズ同等		YKKAP製SYSTEM31シリーズ同等		ガラス飛散防止フィルム貼 (室内側)				

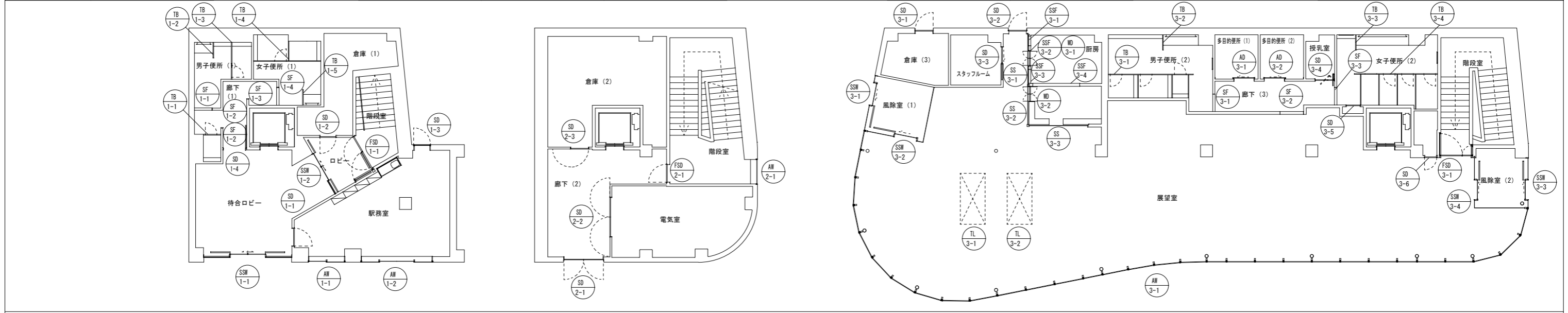


符号	室名	SSW 1-1	1F 待合ロビー		
数量	形式	法規制	1	自動両引+FIX	-
姿図					
内法寸法 (W×H)		4,500 × 2,700			
性能特記					
枠巾	材質・仕上	145	SUS304・PH		
水切巾	材質・仕上	-	-		
顔縁巾	材質・仕上	-	-		
ガラス種類	厚み	図示	図示		
がらり形状	材質・仕上	-	-		
金物特記		詳細別図参照			
備考		詳細別図参照 パニックオープン式			

符号	室名	SSW 1-2	1F 待合ロビー	SSW 3-1	3F 風除室 (1)	SSW 3-2	3F 風除室 (1)	
数量	形式	法規制	1	自動両引+FIX	-	1	自動片引+FIX	-
姿図								
内法寸法 (W×H)		2,330 × 2,100		2,725 × 2,700		5,630 × 2,700		
性能特記								
枠巾	材質・仕上	60	SUS304・PH	145	SUS304・PH	145	SUS304・PH	
水切巾	材質・仕上	-	-	-	-	-	-	
顔縁巾	材質・仕上	-	-	-	-	-	-	
ガラス種類	厚み	図示	図示	図示	図示	図示	図示	
がらり形状	材質・仕上	-	-	-	-	-	-	
金物特記		詳細別図参照		詳細別図参照		詳細別図参照		
備考		詳細別図参照 パニックオープン式		詳細別図参照		詳細別図参照 パニックオープン式		

符号	室名	SSW 3-3	3F 風除室 (2)	SSW 3-4	3F 風除室 (2)
数量	形式	法規制	1	自動片引+FIX	-
姿図					
内法寸法 (W×H)		2,555 × 2,700		5,320 × 2,700	
性能特記					
枠巾	材質・仕上	145	SUS304・PH	145	SUS304・PH
水切巾	材質・仕上	-	-	-	-
顔縁巾	材質・仕上	-	-	-	-
ガラス種類	厚み	図示	図示	図示	図示
がらり形状	材質・仕上	-	-	-	-
金物特記		詳細別図参照		詳細別図参照	
備考		詳細別図参照 パニックオープン式		詳細別図参照 パニックオープン式	

符号	室名	TL 3-1	3F 展望室	TL 3-2	3F 展望室
数量	形式	法規制	1	排煙トップライト	耐火
姿図					
内法寸法 (W×H)		1,510 × 2,860		1,510 × 2,860	
性能特記					
枠巾	材質・仕上	145	AL・アル	145	AL・アル
水切巾	材質・仕上	-	-	-	-
顔縁巾	材質・仕上	-	-	-	-
ガラス種類	厚み	図示	図示	図示	図示
がらり形状	材質・仕上	-	-	-	-
金物特記		詳細別図参照		詳細別図参照	
備考		詳細別図参照 鎌倉製作所LHL-13002AFP同等 排煙有効3.2平米 ハンドルH FL+1200		詳細別図参照 鎌倉製作所LHL-13002AFP同等 排煙有効3.2平米 ハンドルH FL+1200	



一般事項		本表は特記事項の他、出入口、窓枠及び建具の形状、開閉方法、材質、仕上、付属金物、標準詳細を一括して示す。															
建具の種類と記号	記号	種類	ガラスの種類と記号	記号	種類	建具塗装の種類と記号	記号	種類	支持金物リスト	旗丁番	シブタニ製	把手・押板リスト	レバーハンドル	UNION製 UL821-002	その他金物リスト	ドアチェック	シブタニ製
WD	WD	木製扉	FL	FL	透明フロート板ガラス	UC	UC	ウレタンクリア塗装	中心点ピボットヒンジ	ベスト製 No. 154	押棒・引手	UNION製 G500-01-090-L600 or L452	コンシールドドアチェック	シブタニ製			
SD	SD	鋼製扉 (1.6mm以上)	TP	TP	強化透明フロート板ガラス	AEP	AEP	アクリルエマルジョン塗装	ロングヒンジ	シブタニ製 サイクロンヒンジ (建具同色塗装)	ケースハンドル	UNION製 UCH2220-001	フランズ錠とし	シブタニ製 両開扉、扉片下方に設置、戸先操作			
AD	AD	アルミ製扉	Lo	Lo	Low-eガラス	SOP	SOP	合成樹脂調合塗装	隠し丁番	ジョープリンス製 B-160			A1種扉、グレンハンドル	シブタニ製 G55Gシリーズ			
AW	AW	アルミ製窓	PWG	PWG	透明網入り板ガラス	電着	電着	陽極酸化塗装複合皮膜 (JIS H8602-2010)	クリアランスロック	ジョープリンス製 L-587							
SSW	SSW	ステンレス製窓・扉	A	A	複層ガラス空気層	高耐侯電着	高耐侯電着	YKKAP高耐侯性塗装コート (SGコート) 同等 (JIS H8602:2010-A1)	ワイヤーストッパー	シブタニ製 EL-401							
			型強化	型強化	型強化ガラス (セントラス ガラスミストレックス同等)	HL	HL	ヘアライン	引き戸クローザー (SD)	リョービ製 ニュースター製 引き戸クローザーシリーズ							
			DC	DC	ドアチェック	PH	PH	パイレーション									
			CDC	CDC	コンシールドドアチェック	FUE	FUE	フッ素樹脂塗装	スライド丁番	スガツネ製 ソフトクローズ機能付き							
						OS	OS	オイルステイン	扉、ハンガーレール (開)	スガツネ製 ソフトクローズ機能付き							
						AL	AL	アルマイト									
						RO	RO	ローバル低光沢マットカバー塗装									

